新コースで開催!!

KYOTO MARATHON 2015

京都マラソン 2015

ランナー調査研究レポート

【調査研究の結果概要】

☑ サブ３のランナーの８割、サブ４の約４割が月間 151 ㎞以上の距離を走っている
☑ サブ３の約３割が月間 21-25 日、約２割が月間 26-31 日の頻度で走っている
☑ 大会全体では、スタッフ・ボランティアの対応、大会ホームページの満足度が高い
☑ スタートでは、スタートブロックの防寒着の着用、スタート時刻の満足度が高い
☑ コースでは、沿道の応援、沿道での盛り上げイベントの満足度が高い
☑ フィニッシュでは、フィニッシャータオル、完走メダルの満足度が高い
☑ およそ７割のランナーがコース変更は良かったと回答
☑ 京都には観光資源、文化、上質なサービスがあるイメージがもたれている
☑ 京都マラソン 2015 の評価は男性が 86.4 点、女性が 88.0 点
☑ ランナーの９割以上が京都マラソン 2016 に参加希望

平成 27 年８月

京都マラソン実行委員会事務局
（京都市文化市民局市民スポーツ振興室）

調査研究：京都マラソン 2015 マネジメント・リサーチ・チーム
同志社大学スポーツ健康科学部二宮研究室
龍谷大学経営学部松永研究室
立命館大学スポーツ健康科学部長積研究室

目次

Ⅰ．調査研究の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

Ⅱ．京都マラソン 2015 の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

Ⅲ．京都マラソン 2015 の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

Ⅳ．調査研究の分析結果

1．個人属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
　1)性別　2)年齢（年代）3)職業　4)世帯所得　5)最終学歴

2．ランニング活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
　1)エントリー種目　2)フルマラソン完走タイム　3)フルマラソン完走回数
　4)ランニング大会出場回数　5)ランニング歴　6)月間平均走行距離
　7)月間平均走行頻度　8)陸上競技協会登録の有無

3．イベント満足度・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
　1)大会全体　2)スタート　3)コース　4)フィニッシュ
　5)スタート会場
　　＜(1)交通手段　(2)応援　(3)更衣エリア　(4)衣類回収　(5)次回の衣類回収の利用予定＞
　6)コース設定
　　＜(1)走りにくいコース　(2)走りにくいと感じた理由＞
　7)河川敷について
　8)フィニッシュ会場
　　＜(1) 更衣エリアの利用　(2)おつかれさま広場の利用　(3)帰りのルート (4)待ち合わせ
　　(5) 最初の交通手段＞
　9)コース変更
　　＜(1)コース変更について　(2)コース変更の良かったところ＞
　10)京都マラソン 2015 の点数

4．マラソン参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３
　1)同伴者　2)同伴者人数　3)情報入手経路　4)マラソン参加理由
　5)京都マラソン 2016 の参加予定　6)京都シティハーフマラソン参加経験
　7)京都マラソンボランティア参加経験　8)都市型市民マラソンへの参加経験
　9)競技会場までの交通手段　10)自宅から競技場までの所要時間　11)宿泊の有無
5．ランニング関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５４
　1) ランニングへの取組　2)人生満足度
6．京都について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７
　1)京都への愛着　2)京都のイメージ　3)京都への思い
7．自由記述意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６３

Ⅰ　調査研究の概要

1．調査目的

本調査は、(京都マラソン 2015)参加ランナーを対象として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加、ランニング関与、個人属性などについて調査することにより、今後の大会運営の改善を図るとともに、スポーツ参加者の行動様式を明らかにすることを目的としている。

2．調査内容

(1) ランニング活動
エントリー種目、フルマラソン完走タイム、フルマラソン完走回数、ランニング大会出場回数、ランニング歴、月間平均走行距離、月間平均走行頻度、陸上競技協会登録の有無

(2) イベント満足度・評価
大会全体、スタート、コース、フィニッシュ、スタート会場、コース設定、河川敷について、フィニッシュ会場、コース変更、京都マラソン 2015 の点数

(3) マラソン参加
同伴者、同伴者の人数，情報入手経路、マラソン参加理由、京都マラソン 2016 の参加予定、京都シティハーフマラソン参加経験、京都マラソンボランティア参加経験、都市型市民マラソンへの参加経験、競技会場までの交通手段、自宅から競技場までの所要時間、宿泊の有無

(4) 京都について
京都への愛着、京都のイメージ、京都への思い

(5) ランニング関連
ランニングへの取組、人生満足度

(6) 個人属性
性別、年齢（年代)、職業、世帯所得、最終学歴

3．調査対象

京都マラソン 2015 の参加ランナー

4．調査期間

平成 27 年 2 月 18 日～3 月 10 日

5．調査方法

インターネットによる調査：京都マラソン 2015 公式サイトや参加案内パンフレットで告知するとともに、参加ランナーへのメール連絡において調査実施の案内を行った。承諾したランナーがリンク先の「京都マラソン 2015 ランナー調査」ウェブサイトにて回答を行う。

6．回収結果

有効標本数：3，087 票

7．調査研究の分析枠組み

本調査研究は、ランナータイプと性別によって類型化した京都マラソン参加者の行動様式を明らかに

することを目的としており、その研究成果を大会運営のための基礎資料として役立てることを目指している。

本調査研究の分析枠組みは、独立変数（説明変数）としてランナータイプと性別を設定した。ランナータイプは、自己ベストタイムが３時間未満のランナーを「サブ３」、４時間未満のランナーを「サブ４」、５時間未満のランナーを「サブ５」、５時間以上のランナーと完走したことがないランナーを「５時間以上・完走経験なし」というグループに分類した。従属変数（被説明変数）には、行動様式として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加、京都に関する意識、ランニングの関連を取り上げた。

Ⅱ　京都マラソン２０１５の概要

第４回大会「京都マラソン 2015」は、市民になお一層親しまれ、より魅力あふれる大会となるよう、現コースを基盤としながら、コース後半部分でコース変更を行った。

京都の「まちなか」を象徴する場所として、丸太町通、河原町通、市役所前広場をコースに組み込むことにより、古都のシンボルである「京都御苑」、自治のシンボルである「京都市役所」を眺めながら走れるコースとなった。

また，メインコンセプトである「DO YOU KYOTO?マラソン ― 環境先進都市・京都にふさわしい大会―」の趣旨をコースに反映させるため、文化・環境のシンボル的存在である「京都府立植物園」の園路を取り入れるなど、都市型マラソンとして更に魅力的な特色あるコースとなった。

開催に当たっては、新たな取組として，家族や仲間と一緒に参加しやすい「グループエントリー」の新設や、スタートの号砲までの寒さ対策として「スタート会場における衣類回収」を行うなど、より多くのランナーに満足いただける大会運営を目指した。

当日の出走者は、過去最高となる１６，２３６人となり、女性と京都市民の割合が増加し、ランナーのおおよそ４人に１人は女性ランナーもしくは、京都市民であった。

また、完走者は１５，４５２人、完走率は９５．２％と、昨年の９４．０％より更に高い完走率となり、コース変更により狐坂がなくなったこと、「まちなか」での応援が増えたことなどが完走率アップにつながったと考えられる。

		前回大会
日　　時	平成２７年2月１５日（日）※2月第３日曜日 8:55 車いす競技　スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝　スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝　終了	※同左 （2月１６日（日））
天　　気	スタート　　くもり、4.5℃、湿度 70%　（所により時折小雨） フィニッシュ　くもり、 11℃、湿度 54%	晴れ、8℃、50% 晴れ、9℃、43%
定　　員	マラソン　　15，900 名 ペア駅伝　　100 組 200 名 車いす競技　　20 名	同左
競技コース	１　マラソン・ペア駅伝 西京極総合運動公園～平安神宮前（42.195 ㎞） （日本陸上競技連盟、国際陸上競技連盟及び国際マラソン・ロードレース協会公認） ２　車いす競技 西京極総合運動公園～嵐山（6.1 ㎞）	１について 一部変更
ランナー数	出走者　16，236 名 完走者　15，452 名 完走率　　95.2%	15，532 名 14，596 名 94.0%
スタッフ数	約 14，700 名	約 14，400 名
応援人数	約 500，000 名	約 478，000 名
おこしやす広場 入場者数	約 27，400 名	約 26，000 名

Ⅲ. 京都マラソン 2015の総括（●は新規、〇は大幅拡充）

⑴ 競技運営

・幅広い層のランナーが参加しやすく、自然・歴史的景観に加え都市型マラソンとして更に魅力的なコースに変更するとともに、安心・安全かつ円滑に競技運営を行うための各種対策を充実強化した結果、大きな事故や重い救護案件もなく大会を終えることができた。

・ランナー評価もさらに高まり、民間調査(※)で過去最高の 92.4 点(前回 89.4 点)を獲得した。

(※) 国内最大級のランニングポータルサイト「ランネット」に寄せられたランナー評価の集計

取組	概要・実施結果
ア　コースの一部変更	●狐坂ルートを廃止し、新たに河原町通や丸太町通などの「まちなか」や京都府立植物園園路を設定 →ランナー完走率の向上（＋1.2%）や応援人数の増（＋2.2 万人）が図られた。
イ　走路対策	・資材の設置や人員の配置に加え、雨天時の除水・排水、積雪・凍結時の除雪・融雪に備えた実施体制を準備（結果、不実施）
ウ　ランナー対策	・給水・給食の提供 〇スタート会場・コース沿道のトイレ増設（906 基→1，049 基） ●本人が不要とする防寒衣類のスタート直前までの着用を認め、スタート後に回収、リユース・リサイクルを実施 →2，310 ㎏をリユース・リサイクル
エ　医療救護対策	・京都府医師会等、医療関係者の協力の下、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築（AED123 台配備） ・医師・看護師等の資格を有するランナーに、傷病者の早期発見・対応に当たる「メディカルランナー」を要請→152 名が登録 ・救護 314 件（前回 339 件）、救急搬送 8 件（前回同数）※AED 不使用 ●大会前日、ランナー・ボランティアを対象に、心肺蘇生や AED 使用に関する「ファーストエイド講習」を実施　→32 名参加
オ　警備対策	・京都府警察との連携の下、警告サインの設置、会場等巡回の強化、応援者手荷物検査等を実施

⑵ 交通総量抑制対策等

大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、全庁を挙げて様々な媒体を通して市民の皆様や事業者、観光客への広報・周知に努めるとともに、緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行の確保に努めた結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生しなかった。

取組	概要・実施結果
ア　交通総量抑制対策	〇コースの一部変更に伴い、市民しんぶん・チラシ・ポスター・啓発グッズ・歩道橋横断幕など多様な媒体を活用した周知を大幅に拡充（地下鉄駅でのポスターの集中的掲出 1→5 駅、地下鉄車内での中吊り広告 800 枚・つり革間広告約 3 千枚の実施等） →市民・事業者・観光客等の御協力の下、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生しなかった。
イ　公共交通対策	・路線バス運行を極力確保、利用促進を広報 〇市バス無料乗車券の配布・周知を充実 →14，749 枚に利用拡大（前回 8，449 枚）

	※当日、市バス＋7.8%、地下鉄＋4.9%の利用者増（前年同曜日比） 〇無料シャトルタクシーを運行（まちなかルートを新設） →1，212 人が利用（前回 1，191 人）
ウ　緊急車両対策	・京都府警察その他関係機関との緊密な連携の下、消防局特設部隊、コース上の交差点でのランナーストップ体制の配備、車両流入を抑制する広域迂回・直近誘導対策等を実施

⑶　沿道住民合意形成

コース沿道等の住民・事業者に対し、アンケートやチラシ等の各戸配布を実施し、きめ細やかに情報を提供するほか、聴取した御意見・御要望を踏まえ、可能な限りコース横断対策や交通規制の早期解除化に反映させた。

取組	概要・実施結果
ア　説明・周知	〇コース一部変更に伴い増加した沿道周辺の住民・事業者（1 万 8 千世帯増の 11 万 3 千世帯）への第３回大会後アンケート調査を実施、同結果を踏まえ地域別に対応したチラシ等を配布 ・沿道周辺以外の住民への交通規制マップを配布（市民しんぶん挟み込み）、交通規制等チラシを全戸回覧
イ　通行・コース横断	〇ランナーの走行を妨げることなく、歩行者を安全に横断させるための「固定式島方式」を拡充（9→11 箇所、前回比約 5 千人増の約 17，700 人が横断） ・ランナーの切れ目での横断誘導を実施
ウ　交通規制開始・解除	・速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置（8 箇所） ・大会ホームページを通じた規制解除情報を逐次発表

⑷　その他

大会のメインコンセプトの具現化に努めるとともに、地域各団体・市民の皆様の御協力の下、京都ならではの温かいおもてなしや応援等を行うことにより、大会を盛り上げることができた。

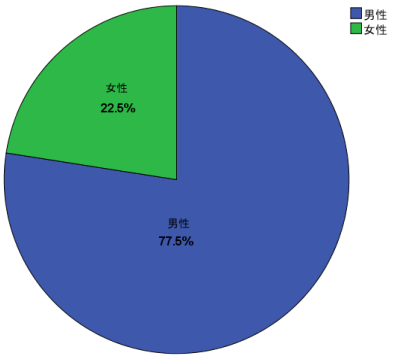
取組		概要・実施結果
ア メインコンセプトの具現化		
	㋐ 「DO YOU KYOTO?マラソン」	・水道水を利用した給水、マイボトル給水、印刷物のペーパーレス化等を実施 ・大会当日をノーマイカーデーに設定 ●スタート会場で回収した衣類をリユース・リサイクル（(1)ウの再掲）
	㋑東日本大震災復興支援	・「被災者枠」の設定（→210 人が参加）、復興支援メッセージを印字したランナーゼッケンを作成 ・ランナー等から義援金を募集→10，328，470 円を寄付 ・おこしやす広場での震災復興写真展や物産・飲食屋台販売等を実施
イ　ランナーサービス		
	㋐エントリー（申込み）等	●家族や友人と一緒に走ることができる「グループエントリー」制度を導入 →3，867 組 9，961 人（マラソンエントリー人数の約 17%）が利用 〇外国語エントリーサイトの多言語対応（英語に加え、中国語繁体字・中国語簡体字・ハングル）、広報を充実

	㈠応援者とランナーをつなぐ取組	・沿道から名前で声援できる「ニックネームゼッケン」を導入 ・ランナーの通過記録をインターネットでリアルタイムに調べられる「ランナーズアップデート」を実施
	㈡大会後のサービス	・フィニッシュ会場で足湯・マッサージ・みそ汁を提供 ・「完走者新聞」（京都新聞、有料）、「お風呂屋さんマップ」を配布
	㈢京都ならではのおもてなし	・コース周辺の観光名所案内サインを設置 ・給食に京都名物の生ハツ橋を提供 ・フィニッシュでの舞妓さんと写真撮影（有料）
ウ　応援、大会の盛り上げ		
	㈠市民ぐるみの盛り上げ	・京都マラソン沿道盛り上げ隊（15 箇所、51 団体）、市内商店街による沿道応援（24 商店街）を実施 ・大会 100 日前から一般公募者を含むメッセージ写真をホームページ等に掲載する「みんなでカウントダウン」を実施 ●大会前後に京都マラソン特別サービスを提供する市内飲食店 28 店舗による「グルメ de 盛り上げ隊」を組織
	㈡おこしやす広場	・ランナー受付会場（みやこめっせ）で、京の名店による飲食ブース、お茶席、ランニングトークショー等を開催
	㈢応援大使	○京都ゆかりの著名人 12 名を応援大使に任命 〈新〉山田幸代氏（京都産業大学出身、プロラクロス選手） ・京都大学 iPS 細胞研究所の山中所長など 6 名が出走

Ⅳ. 調査研究の分析結果

1. 個人属性

1-1）性別

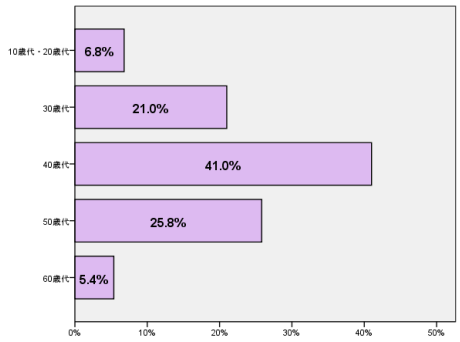


性別

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男性	2391	77.5	77.5	77.5
	女性	696	22.5	22.5	100.0
	合計	3087	100.0	100.0	

図 1-1)、表 1-1)は、回答者の男女比を示している。男性が 77.5%、女性が 22.5%となっており、男性がおよそ 8 割を占めていた。これは昨年と同様の傾向である（昨年度：男性 77.9%、女性 22.1%)。

1-2)年齢(年代)

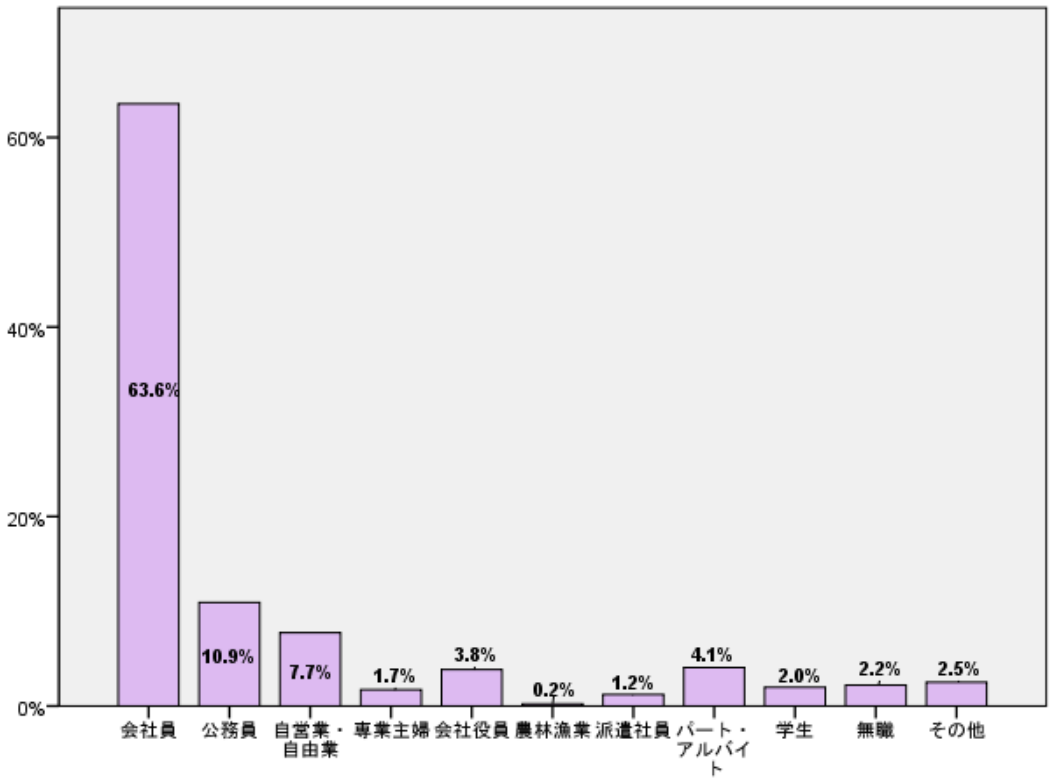


年齢

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	10歳代・20歳代	210	6.8	6.8	6.8
	30歳代	648	21.0	21.0	27.8
	40歳代	1266	41.0	41.0	68.8
	50歳代	797	25.8	25.8	94.6
	60歳代	166	5.4	5.4	100.0
	合計	3087	100.0	100.0	

図 1-2)、表 1-2)は、回答者の年齢層を示している。40 歳代の参加者が 41.0%で最も多く、次いで 50 歳代が 25.8%、30 歳代が 21.0%であった。また、60 歳代の参加者は 5.4%みられた。

1-3)職業

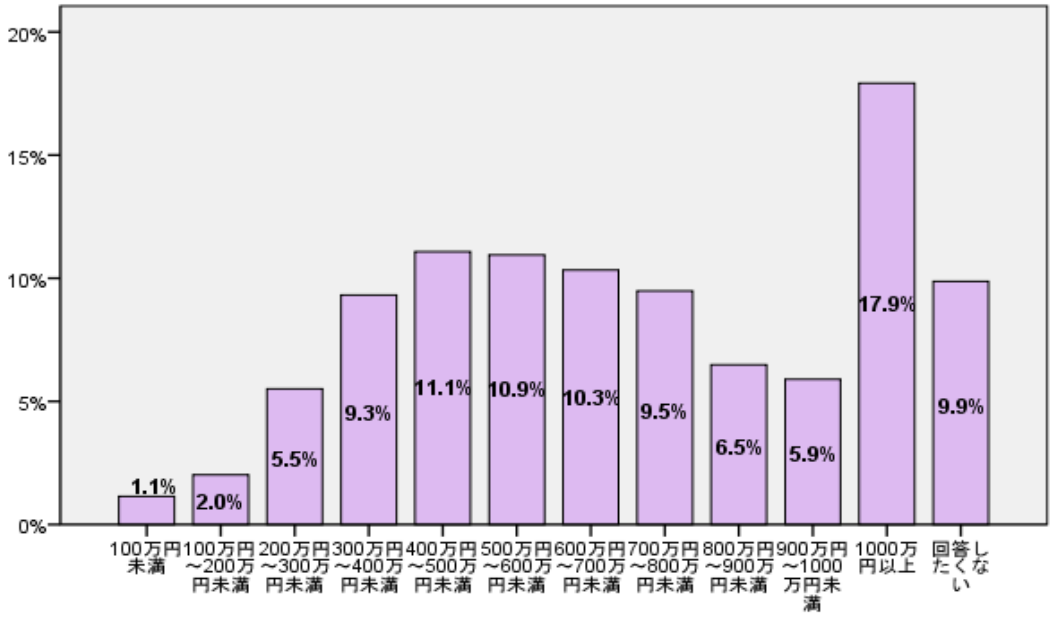


職業

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	会社員	1953	63.3	63.6	66.1
	公務員	336	10.9	10.9	77.0
	自営業・自由業	238	7.7	7.7	84.7
	専業主婦	53	1.7	1.7	86.5
	会社役員	118	3.8	3.8	90.3
	農林漁業	7	.2	.2	90.5
	派遣社員	37	1.2	1.2	91.7
	パート・アルバイト	125	4.0	4.1	95.8
	学生	61	2.0	2.0	97.8
	無職	68	2.2	2.2	100.0
	その他	77	2.5	2.5	2.5
	合計	3073	99.5	100.0	
欠損値	99	11	.4		
	システム欠損値	3	.1		
	合計	14	.5		
合計		3087	100.0		

図 1-3)、表 1-3)は、回答者の職業を示している。会社員が 63.6%と最も多く、次いで公務員、自営業・自由業であった。他の職業の割合は 5.0%未満であった。

1-4)世帯所得

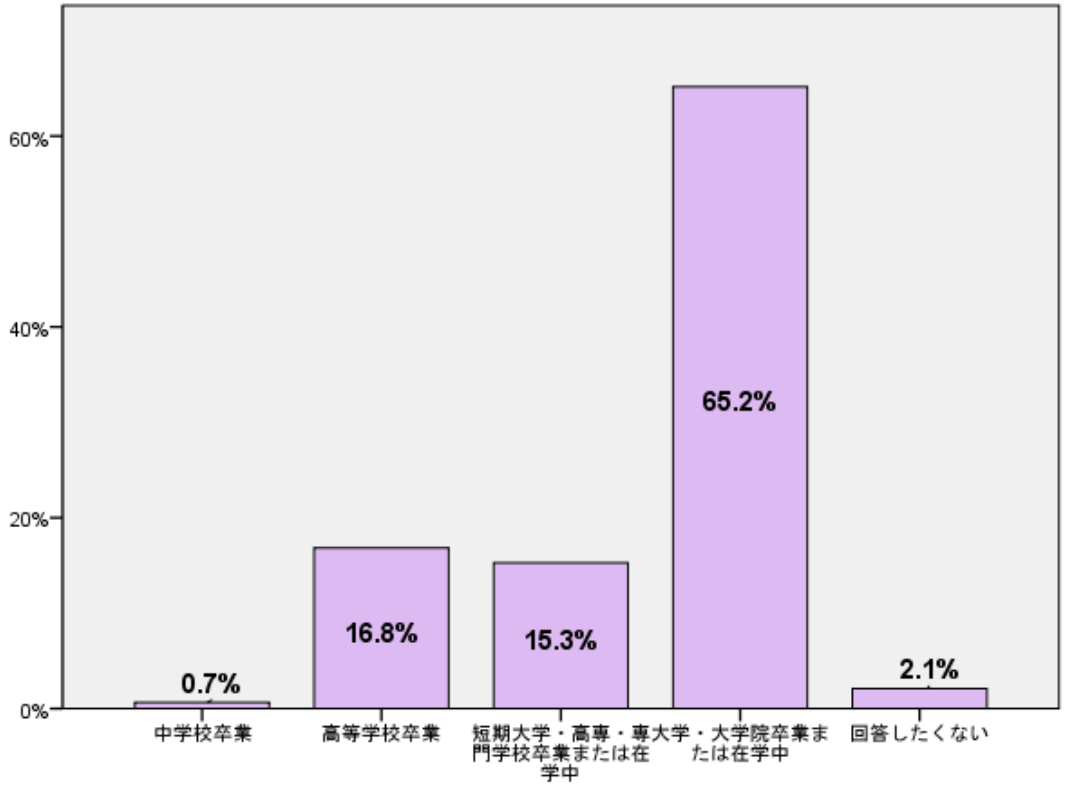


世帯の所得

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	100万円未満	35	1.1	1.1	1.1
	100万円～200万円未満	62	2.0	2.0	3.2
	200万円～300万円未満	169	5.5	5.5	8.7
	300万円～400万円未満	286	9.3	9.3	18.0
	400万円～500万円未満	340	11.0	11.1	29.1
	500万円～600万円未満	336	10.9	10.9	40.0
	600万円～700万円未満	317	10.3	10.3	50.3
	700万円～800万円未満	291	9.4	9.5	59.8
	800万円～900万円未満	199	6.4	6.5	66.3
	900万円～1000万円未満	181	5.9	5.9	72.2
	1000万円以上	550	17.8	17.9	90.1
	回答したくない	303	9.8	9.9	100.0
	合計	3069	99.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	18	.6		
合計		3087	100.0		

図 1-4)、表 1-4)は、回答者の世帯所得を示している。1000 万円以上が 17.9%と最も多く、次いで 400～500 万円前後が多くなっている。

1-5)最終学歴



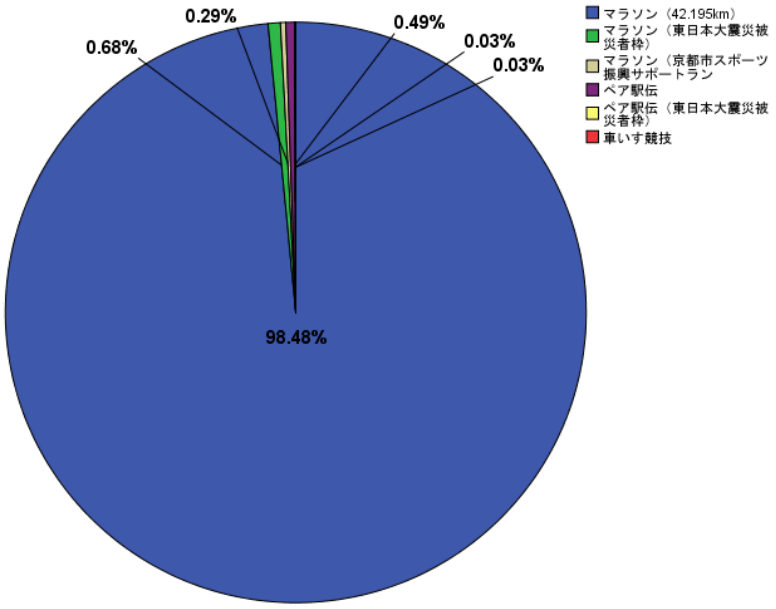
最終学歴

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	中学校卒業	20	.6	.7	.7
	高等学校卒業	517	16.7	16.8	17.5
	短期大学・高専・専門学校卒業または在学中	469	15.2	15.3	32.7
	大学・大学院卒業または在学中	2002	64.9	65.2	97.9
	回答したくない	64	2.1	2.1	100.0
	合計	3072	99.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	15	.5		
合計		3087	100.0		

図 1-5)、表 1-5)は、回答者の最終学歴を示している。大学・大学院卒業または在学中が65.2%と最も高い結果であった。

2. ランニング活動

2-1)エントリー種目

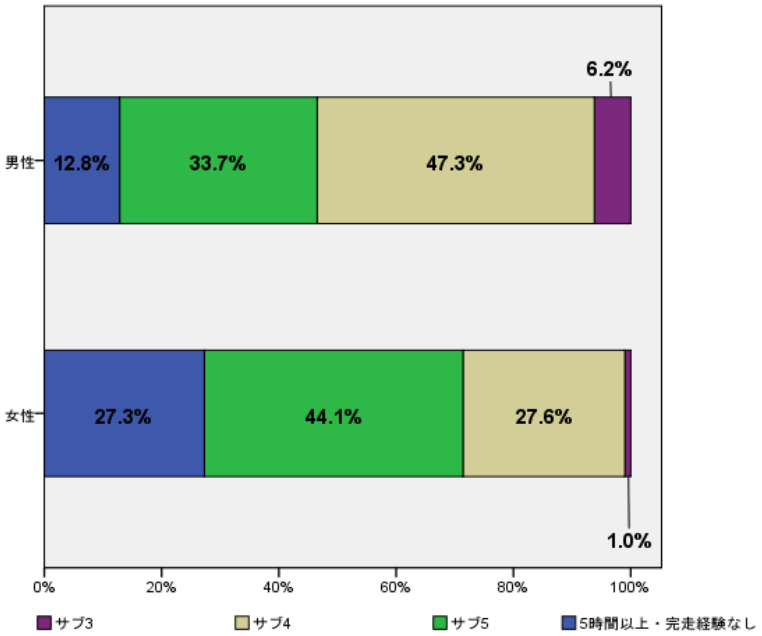


京都マラソン2015のエントリー種目

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数	マラソン（42.195km）	3035	98.3	98.5	98.5
	マラソン（東日本大震災被災者枠）	21	.7	.7	99.2
	マラソン（京都市スポーツ振興サポートラン	9	.3	.3	99.4
	ペア駅伝	15	.5	.5	99.9
	ペア駅伝（東日本大震災被災者枠）	1	.0	.0	100.0
	車いす競技	1	.0	.0	100.0
	合計	3082	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	5	.2		
合計		3087	100.0		

表 2-1)、図 2-1)は、回答者のエントリー種目別の割合である。マラソン（42.195km）へのエントリーが 98.48%と回答者の大部分を占めていた。

2-2)フルマラソン完走タイム〈自己ベスト〉(京都マラソン 2015 の記録を含む)

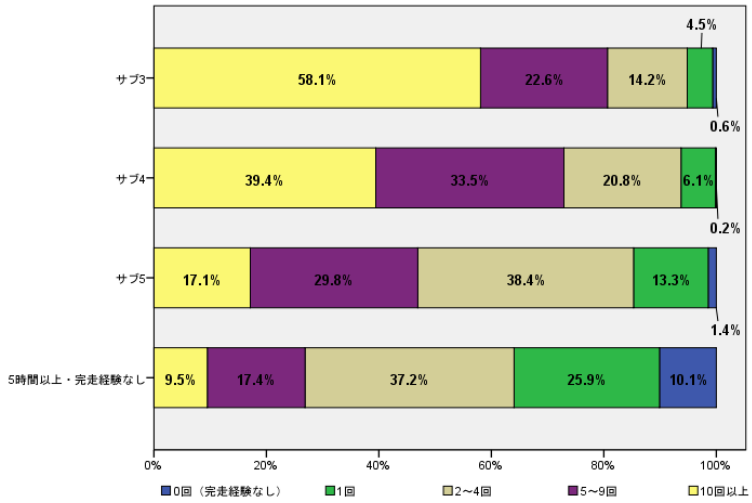


性別 と ランナータイプ のクロス表

			ランナータイプ				
			サブ3	サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計
性別	男性	度数	148	1130	806	307	2391
		性別 の %	6.2%	47.3%	33.7%	12.8%	100.0%
	女性	度数	7	192	307	190	696
		性別 の %	1.0%	27.6%	44.1%	27.3%	100.0%
合計		度数	155	1322	1113	497	3087
		性別 の %	5.0%	42.8%	36.1%	16.1%	100.0%

表 2-2)、図 2-2)は、男女別の自己ベスト記録別の分布状況である。本調査では、フルマラソンの完走タイムが 3 時間未満のランナーをサブ 3、4 時間未満のランナーをサブ 4、5 時間未満のランナーをサブ 5、5 時間以上・完走経験なしのランナーを 5 時間以上・完走経験なしとグループ分けしている。男性では、サブ 3 のランナーが 6.2%、サブ 4 のランナーが 47.3%、サブ 5 のランナーが 33.7%、5 時間以上・完走経験なしのランナーが 12.8%となった。女性では、サブ 3 のランナーが 1.0%、サブ 4 のランナーが 27.6%、サブ 5 のランナーが 44.1%、5 時間以上・完走経験なしのランナーが 27.3%となった。

2-3)フルマラソン完走回数



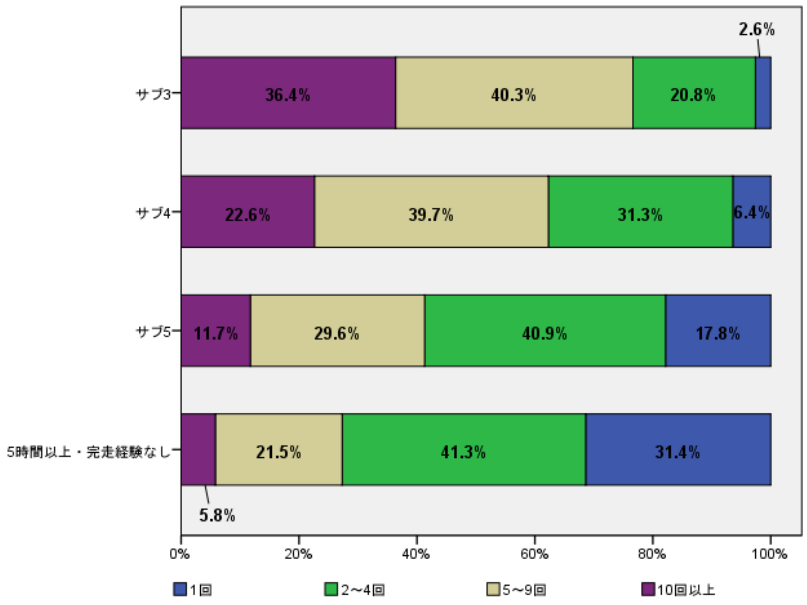
ランナータイプ と フルマラソン完走回数

<京都マラソン2015を含めて過去に完走した総回数） のクロス表

			フルマラソン完走回数（京都マラソン2015を含めて過去に完走した総回数）					
			0回（完走経験なし）	1回	2～4回	5～9回	10回以上	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	1	7	22	35	90	155
		ランナータイプ の %	0.6%	4.5%	14.2%	22.6%	58.1%	100.0%
	サブ4	度数	2	81	275	442	521	1321
		ランナータイプ の %	0.2%	6.1%	20.8%	33.5%	39.4%	100.0%
	サブ5	度数	16	147	425	330	190	1108
		ランナータイプ の %	1.4%	13.3%	38.4%	29.8%	17.1%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	50	128	184	86	47	495
		ランナータイプ の %	10.1%	25.9%	37.2%	17.4%	9.5%	100.0%
合計		度数	69	363	906	893	848	3079
		ランナータイプ の %	2.2%	11.8%	29.4%	29.0%	27.5%	100.0%

表 2-3)、図 2-3)は、フルマラソン完走回数の特徴をランナータイプ別にまとめたものである。合計で 2～4 回というランナーが最も多く、29.4%であった。サブ 3 のランナーの 58.1%が 10 回以上完走していることがわかった。また、完走回数が 0 回、1 回のランナーでは、サブ 3、サブ 4 よりもサブ 5、5 時間以上・完走経験なしの方が多くみられるが、5～9 回、10 回以上になるとサブ 5、5 時間以上・完走経験なしよりもサブ 3、サブ 4 の方が多くみられた。これらの結果から、自己ベストが速いほど、完走回数が多いという関係があると考えられる。

2-4)ランニング大会出場回数（1 年間（2014 年 1 月～12 月）の 5km 以上の大会）

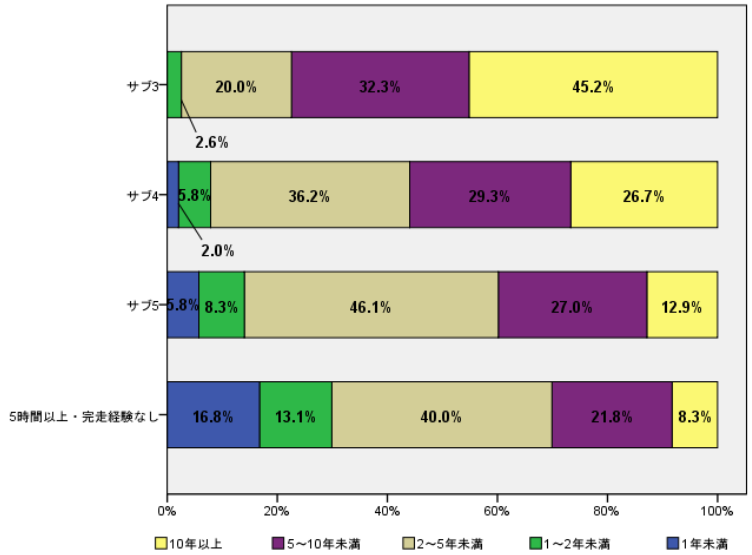


ランナータイプ と 1年間（2014年1月～12月）のランニング大会（5km以上）出場回数 のクロス表

			1年間（2014年1月～12月）のランニング大会（5km以上）出場回数				
			1回	2～4回	5～9回	10回以上	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	4	32	62	56	154
		ランナータイプ の %	2.6%	20.8%	40.3%	36.4%	100.0%
	サブ4	度数	84	408	518	295	1305
		ランナータイプ の %	6.4%	31.3%	39.7%	22.6%	100.0%
	サブ5	度数	193	442	320	127	1082
		ランナータイプ の %	17.8%	40.9%	29.6%	11.7%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	146	192	100	27	465
		ランナータイプ の %	31.4%	41.3%	21.5%	5.8%	100.0%
合計		度数	427	1074	1000	505	3006
		ランナータイプ の %	14.2%	35.7%	33.3%	16.8%	100.0%

表 2-4)、図 2-4)は、ランニング大会年間出場回数の特徴をランナータイプ別にまとめたものである。合計では 2～4 回と答えたランナーが 35.7%で最も多く、5～9 回と答えたランナーも 33.3%と同じく多かった。参加回数の特徴として、自己ベストタイムが速くなるほど、5 回以上参加したと答える割合が増えており、自己ベストが速いランナーほどランニング大会への参加回数が多いという傾向がみられた。

2-5)ランニング歴（継続年数）



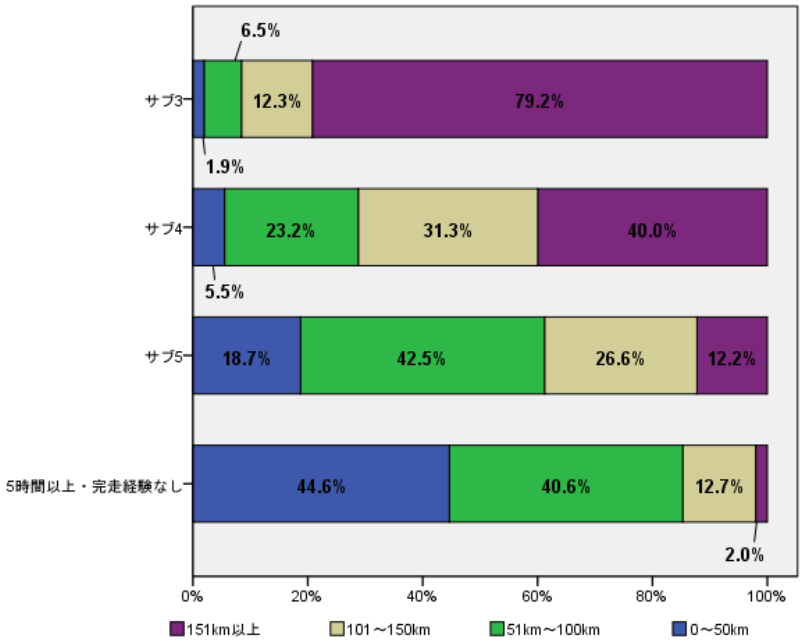
ランナータイプ と ランニング歴（継続年数） のクロス表

			ランニング歴（継続年数）					
			1年未満	1～2年未満	2～5年未満	5～10年未満	10年以上	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	0	4	31	50	70	155
		ランナータイプ の %	0.0%	2.6%	20.0%	32.3%	45.2%	100.0%
	サブ4	度数	27	77	477	386	352	1319
		ランナータイプ の %	2.0%	5.8%	36.2%	29.3%	26.7%	100.0%
	サブ5	度数	64	92	513	300	143	1112
		ランナータイプ の %	5.8%	8.3%	46.1%	27.0%	12.9%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	83	65	198	108	41	495
		ランナータイプ の %	16.8%	13.1%	40.0%	21.8%	8.3%	100.0%
合計		度数	174	238	1219	844	606	3081
		ランナータイプ の %	5.6%	7.7%	39.6%	27.4%	19.7%	100.0%

表 2-5)、図 2-5)は、参加者のランニング歴の特徴をランナータイプ別にまとめたものである。合計では 2～5 年未満と答えたランナーが最も多かった。また、自己ベストが速いランナーほど、ランニング歴が長いという傾向がみられた。特に、サブ 3 のランナーの 45.2%がランニング歴 10 年以上と答えていることから、ランニング歴が多くなるほど、自己ベストの記録も速くなっていることが考えられる。

加えて、サブ 5・5 時間以上・完走経験なしの参加者のうちランニング歴 2～5 年未満と答えたランナーは 4 割で、サブ 3・サブ 4 のランナーと比べても割合が高いことがわかった。

2-6)月間平均走行距離（1ヶ月あたりに走る距離）

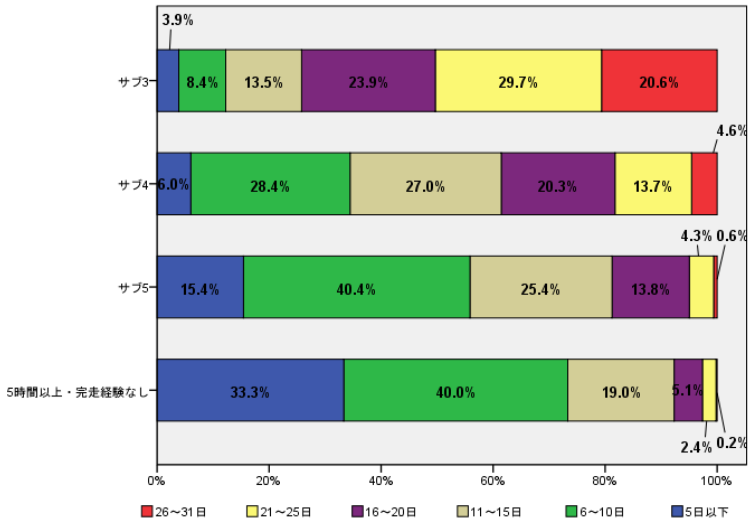


ランナータイプ と 月間平均走行距離（1ヶ月あたりに走る距離） のクロス表

			月間平均走行距離（1ヶ月あたりに走る距離）				
			0～50km	51km～100km	101～150km	151km以上	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	3	10	19	122	154
		ランナータイプ の %	1.9%	6.5%	12.3%	79.2%	100.0%
	サブ4	度数	73	307	413	528	1321
		ランナータイプ の %	5.5%	23.2%	31.3%	40.0%	100.0%
	サブ5	度数	208	472	295	136	1111
		ランナータイプ の %	18.7%	42.5%	26.6%	12.2%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	221	201	63	10	495
		ランナータイプ の %	44.6%	40.6%	12.7%	2.0%	100.0%
合計		度数	505	990	790	796	3081
		ランナータイプ の %	16.4%	32.1%	25.6%	25.8%	100.0%

表 2-6)、図 2-6)は、参加者の 1 か月あたりの走行距離の特徴をランナータイプ別にまとめたものである。合計では 51～100km と答えたランナーが最も多く、全体の 3 分の 1 を占めていた。また、101～150km と答えたランナー、151km 以上と答えたランナーがそれぞれ 4 分の 1 を占めており、101km 以上走っているランナーが全体の半数を占める結果となった。加えて、サブ 3 のランナーの約 8 割が 151km 以上と答えていることから、自己ベストの速いランナーほどよく走っているということが考えられる。

2-7)月間平均走行頻度（1ヶ月あたりに走る日数）

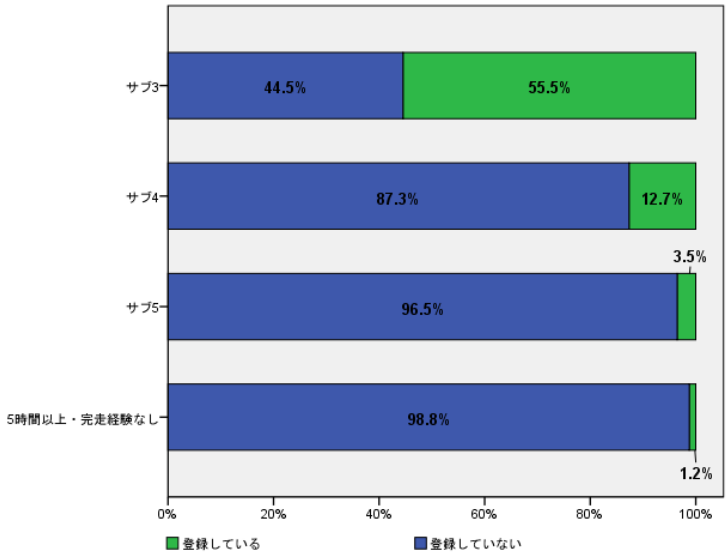


ランナータイプ と 月間平均走行頻度（1ヶ月あたりに走る日数） のクロス表

			月間平均走行頻度（1ヶ月あたりに走る日数）						合計
			5日以下	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26～31日	
ランナータイプ	サブ3	度数	6	13	21	37	46	32	155
		ランナータイプ の %	3.9%	8.4%	13.5%	23.9%	29.7%	20.6%	100.0%
	サブ4	度数	79	374	355	267	180	60	1315
		ランナータイプ の %	6.0%	28.4%	27.0%	20.3%	13.7%	4.6%	100.0%
	サブ5	度数	171	448	281	153	48	7	1108
		ランナータイプ の %	15.4%	40.4%	25.4%	13.8%	4.3%	0.6%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	165	198	94	25	12	1	495
		ランナータイプ の %	33.3%	40.0%	19.0%	5.1%	2.4%	0.2%	100.0%
合計		度数	421	1033	751	482	286	100	3073
		ランナータイプ の %	13.7%	33.6%	24.4%	15.7%	9.3%	3.3%	100.0%

表 2-7)、図 2-7)は、参加者の 1 か月あたりの走行日数の特徴をランナータイプ別にまとめたものである。合計で最も多く回答されたのは 6～10 日であり、33.6%という結果であった。また、自己ベストが速くなるほどランニングの頻度も多くなるという傾向がみられた。特に、サブ 3 の 7 割以上、サブ 4 の約 4 割が 16 日以上、すなわち 2 日に 1 回以上の割合でランニングを行っているということがいえる。

2-8)陸上競技協会登録の有無



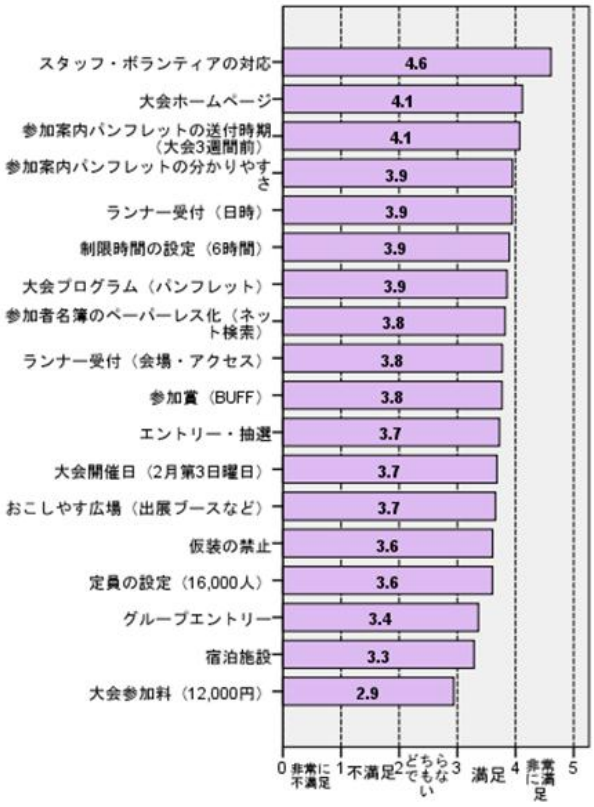
ランナータイプ と 陸上競技協会への登録 のクロス表

			陸上競技協会への登録		
			登録していない	登録している	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	69	86	155
		ランナータイプ の %	44.5%	55.5%	100.0%
	サブ4	度数	1153	167	1320
		ランナータイプ の %	87.3%	12.7%	100.0%
	サブ5	度数	1072	39	1111
		ランナータイプ の %	96.5%	3.5%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	489	6	495
		ランナータイプ の %	98.8%	1.2%	100.0%
合計		度数	2783	298	3081
		ランナータイプ の %	90.3%	9.7%	100.0%

表 2-8)、図 2-8)は、参加者の陸上競技協会への登録の有無についてランナータイプ別にまとめたものである。合計では登録していないランナーが 9 割となっている。また、サブ 3 のランナーの半数以上、サブ 4 のランナーの 1 割以上が登録している。

3. イベント満足度・評価

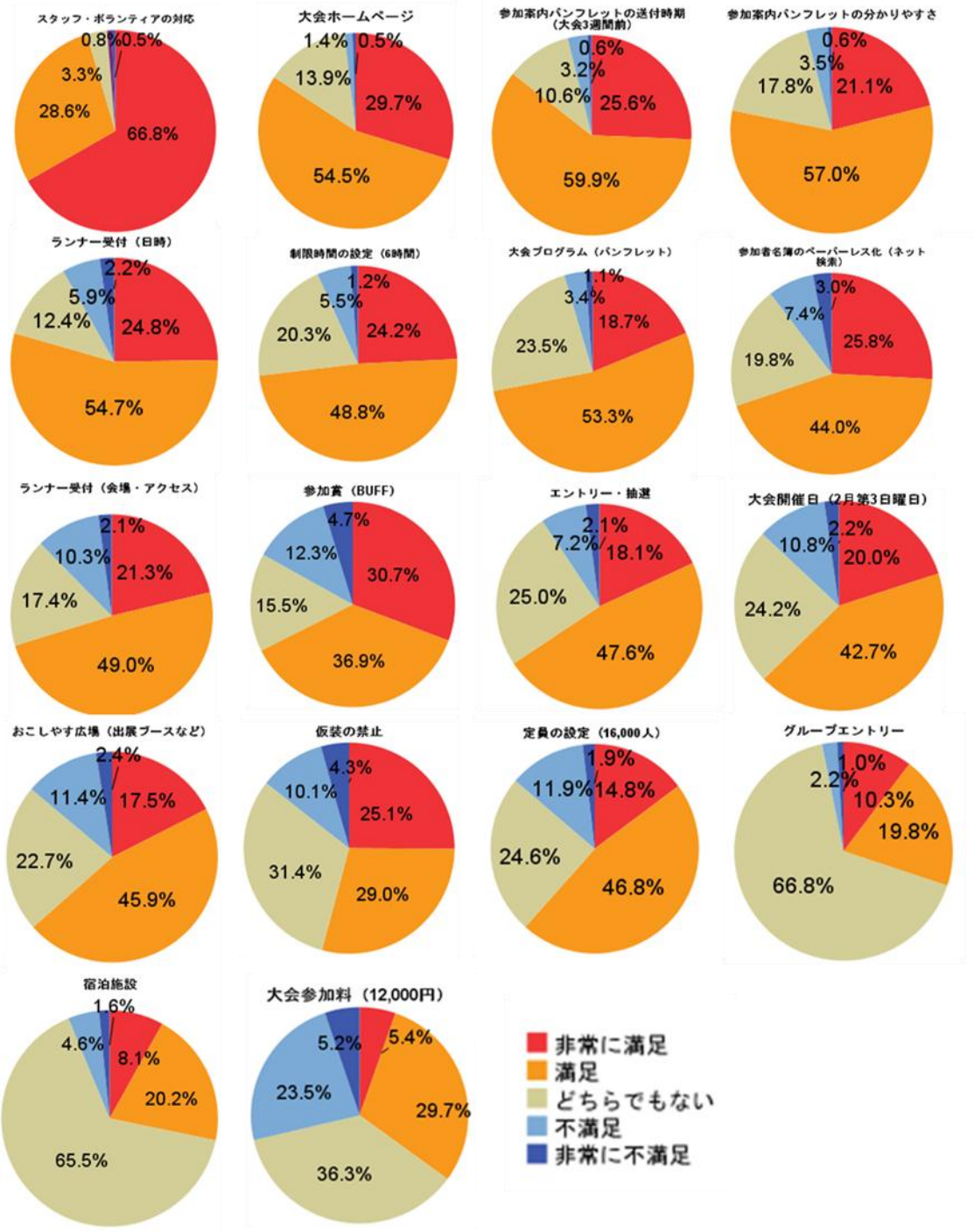
3-1)大会全体



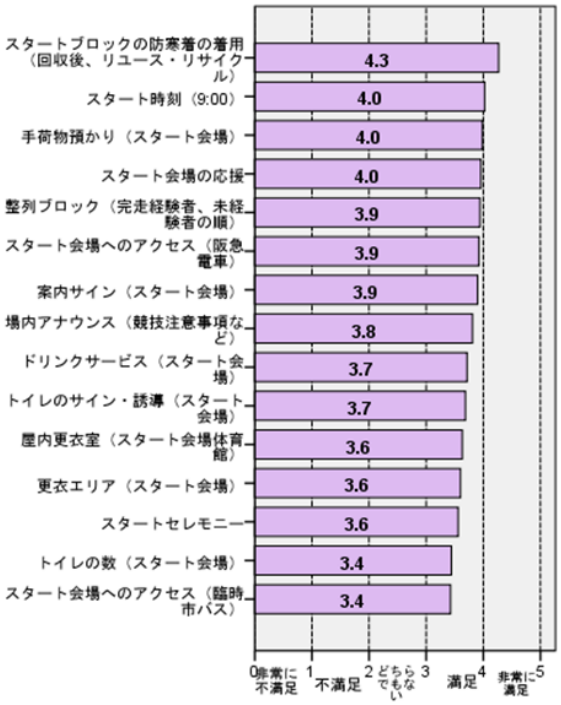
全体の満足度の平均値

	度数	平均値	標準偏差
スタッフ・ボランティアの対応	3079	4.6	.644
大会ホームページ	3081	4.1	.724
参加案内パンフレットの送付時期（大会3週間前）	3082	4.1	.737
参加案内パンフレットの分かりやすさ	3077	3.9	.762
ランナー受付（日時）	3081	3.9	.898
制限時間の設定（6時間）	3074	3.9	.871
大会プログラム（パンフレット）	3079	3.8	.799
参加者名簿のペーパーレス化（ネット検索）	3076	3.8	.995
ランナー受付（会場・アクセス）	3082	3.8	.967
参加賞（BUFF）	3080	3.8	1.149
エントリー・抽選	3084	3.7	.914
大会開催日（2月第3日曜日）	3079	3.7	.985
おこしやす広場（出展ブースなど）	3076	3.6	.976
定員の設定（16,000人）	3081	3.6	.940
仮装の禁止	3078	3.6	1.097
グループエントリー	3041	3.4	.734
宿泊施設	3043	3.3	.744
大会参加料（12,000円）	3081	2.9	.974

表 3-1)は、大会全体に関する満足度についてまとめたものである。スタッフ・ボランティアの対応、大会ホームページ、参加案内パンフレットの送付時期などの評価が高かった一方、宿泊施設や大会参加料などについては、相対的に評価が低かった。


スタッフ・ボランティアの対応
0.8%
0.5%
3.3%
28.6%
66.8%
大会ホームページ
1.4%
0.5%
13.9%
29.7%
54.5%
参加案内パンフレットの送付時期（大会3週間前）
0.6%
3.2%
10.6%
25.6%
59.9%
参加案内パンフレットの分かりやすさ
0.6%
3.5%
17.8%
21.1%
57.0%
ランナー受付（日時）
2.2%
5.9%
12.4%
24.8%
54.7%
制限時間の設定（6時間）
1.2%
5.5%
20.3%
24.2%
48.8%
大会プログラム（パンフレット）
1.1%
3.4%
18.7%
23.5%
53.3%
参加者名簿のペーパーレス化（ネット検索）
3.0%
7.4%
19.8%
25.8%
44.0%
ランナー受付（会場・アクセス）
2.1%
10.3%
21.3%
17.4%
49.0%
参加賞（BUFF）
4.7%
12.3%
30.7%
15.5%
36.9%
エントリー・抽選
2.1%
7.2%
18.1%
25.0%
47.6%
大会開催日（2月第3日曜日）
2.2%
10.8%
20.0%
24.2%
42.7%
おこしやす広場（出展ブースなど）
2.4%
11.4%
17.5%
22.7%
45.9%
仮装の禁止
4.3%
10.1%
25.1%
31.4%
29.0%
定員の設定（16,000人）
1.9%
11.9%
14.8%
24.6%
46.8%
グループエントリー
1.0%
2.2%
10.3%
19.8%
66.8%
宿泊施設
1.6%
4.6%
8.1%
20.2%
65.5%
大会参加料（12,000円）
5.2%
5.4%
23.5%
29.7%
36.3%
非常に満足
満足
どちらでもない
不満足
非常に不満足

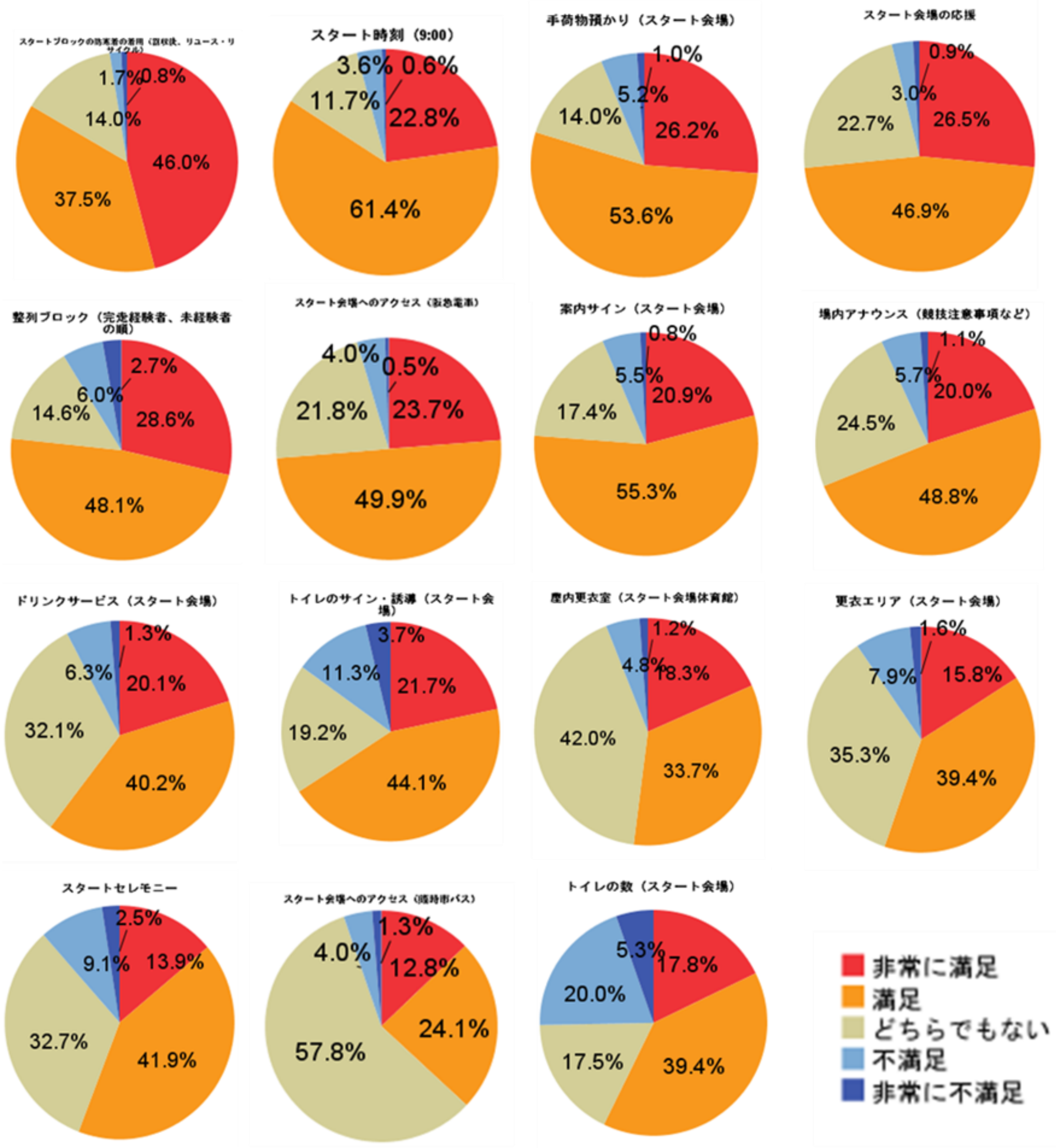
3-2)スタート



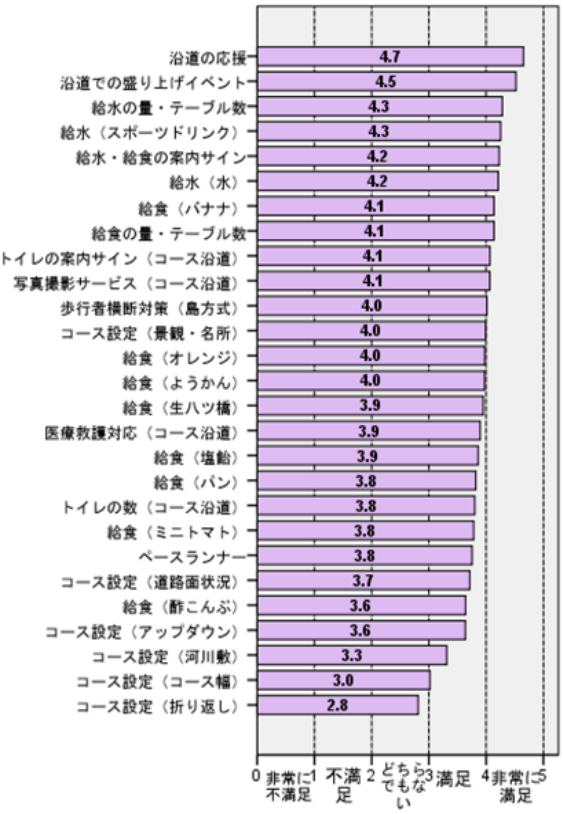
スタートの満足度の平均値

	度数	平均値	標準偏差
スタートブロックの防寒着の着用（回収後、リユース・リサイクル）	3080	4.3	.821
スタート時刻（9:00）	3076	4.0	.734
手荷物預かり（スタート会場）	3076	4.0	.838
スタート会場の応援	3084	4.0	.830
整列ブロック（完走経験者、未経験者の順）	3077	3.9	.956
スタート会場へのアクセス（阪急電車）	3050	3.9	.811
案内サイン（スタート会場）	3068	3.9	.818
場内アナウンス（競技注意事項など）	3079	3.8	.856
ドリンクサービス（スタート会場）	3065	3.7	.899
トイレのサイン・誘導（スタート会場）	3077	3.7	1.047
屋内更衣室（スタート会場体育館）	3044	3.6	.875
更衣エリア（スタート会場）	3064	3.6	.900
スタートセレモニー	3080	3.6	.924
トイレの数（スタート会場）	3079	3.4	1.150
スタート会場へのアクセス（臨時市バス）	3015	3.4	.810

表3-2)は、スタートに関する満足度についてまとめたものである。スタートブロックの防寒着の着用やスタート時刻、手荷物預かりなどの評価が高かった一方、トイレの数、スタート会場へのアクセス（臨時市バス）などについては、相対的に評価が低かった。


1.7%
0.8%
14.0%
46.0%
37.5%
スタート時刻（9:00）
3.6%
0.6%
11.7%
22.8%
61.4%
手荷物預かり（スタート会場）
1.0%
5.2%
14.0%
26.2%
53.6%
スタート会場の応援
0.9%
3.0%
22.7%
26.5%
46.9%
整列ブロック（完走経験者、未経験者の順）
2.7%
6.0%
14.6%
28.6%
48.1%
スタート会場へのアクセス（阪急電車）
4.0%
0.5%
21.8%
23.7%
49.9%
案内サイン（スタート会場）
0.8%
5.5%
20.9%
17.4%
55.3%
場内アナウンス（競技注意事項など）
1.1%
5.7%
20.0%
24.5%
48.8%
ドリンクサービス（スタート会場）
1.3%
6.3%
20.1%
32.1%
40.2%
トイレのサイン・誘導（スタート会場）
3.7%
11.3%
21.7%
19.2%
44.1%
屋内更衣室（スタート会場体育館）
1.2%
4.8%
18.3%
42.0%
33.7%
更衣エリア（スタート会場）
1.6%
7.9%
15.8%
35.3%
39.4%
スタートセレモニー
2.5%
9.1%
13.9%
32.7%
41.9%
スタート会場へのアクセス（臨時市バス）
1.3%
4.0%
12.8%
24.1%
57.8%
トイレの数（スタート会場）
5.3%
17.8%
20.0%
17.5%
39.4%
非常に満足
満足
どちらでもない
不満足
非常に不満足

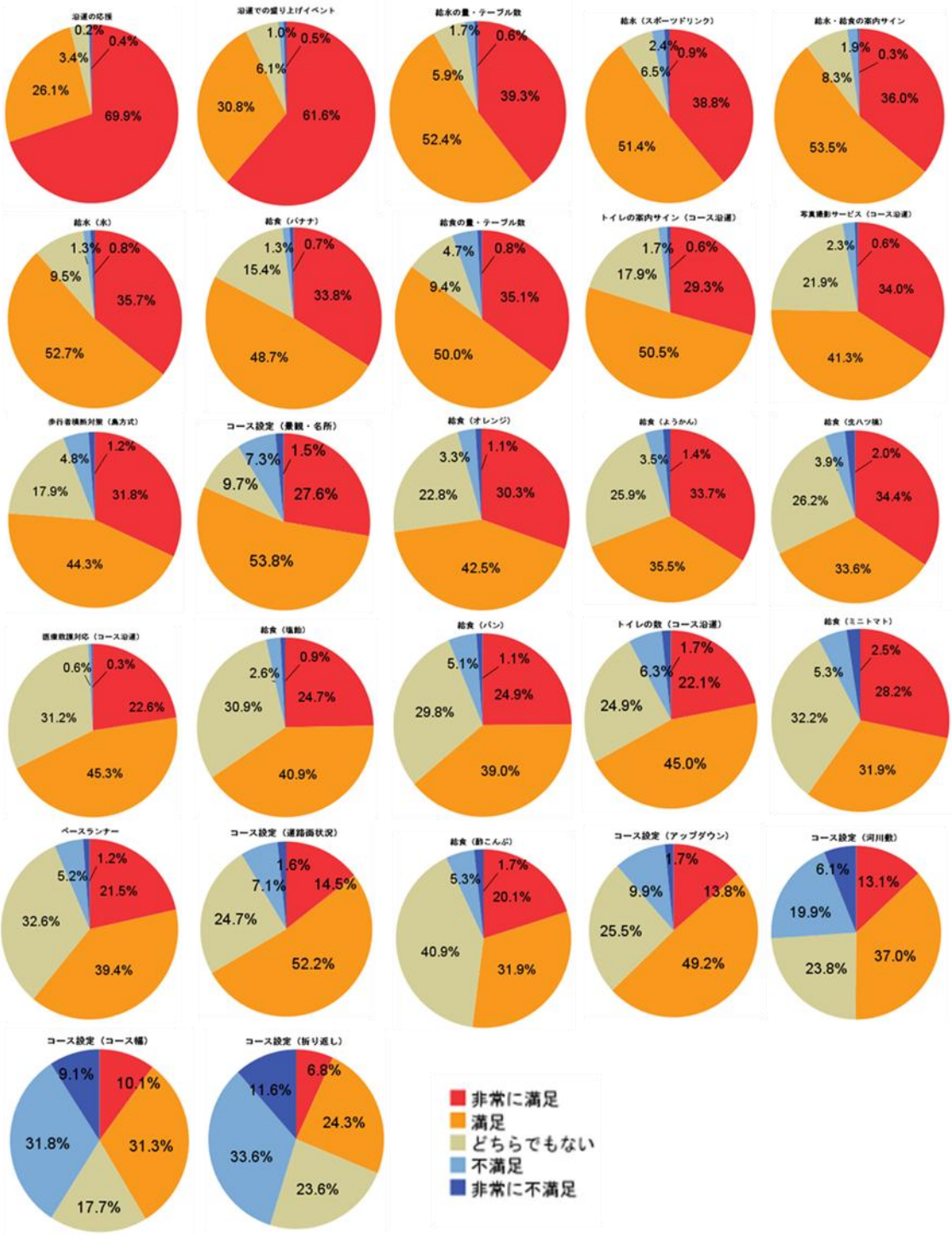
3-3) コース



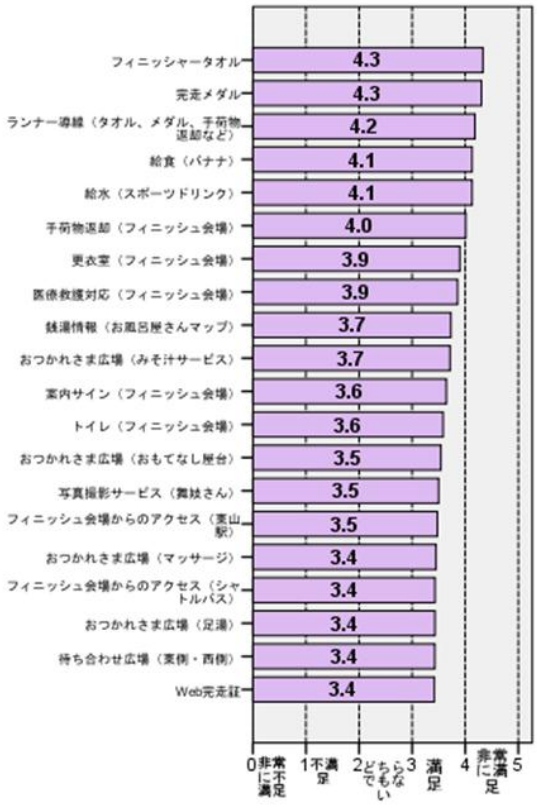
コースの満足度の平均値

	度数	平均値	標準偏差
沿道の応援	3078	4.6	.599
沿道での盛り上げイベント	3073	4.5	.698
給水の量・テーブル数	3079	4.3	.708
給水（スポーツドリンク）	3084	4.2	.757
給水・給食の案内サイン	3084	4.2	.706
給水（水）	3078	4.2	.729
給食の量・テーブル数	3081	4.1	.831
給食（バナナ）	3077	4.1	.769
トイレの案内サイン（コース沿道）	3077	4.1	.768
写真撮影サービス（コース沿道）	3069	4.1	.835
歩行者横断対策（島方式）	3078	4.0	.891
コース設定（景観・名所）	3080	4.0	.896
給食（オレンジ）	3075	4.0	.873
給食（ようかん）	3068	4.0	.927
給食（生八ツ橋）	3067	3.9	.966
医療救護対応（コース沿道）	3072	3.9	.760
給食（塩飴）	3074	3.9	.850
給食（パン）	3064	3.8	.905
トイレの数（コース沿道）	3081	3.8	.913
給食（ミニトマト）	3055	3.8	.995
ペースランナー	3070	3.7	.891
コース設定（道路面状況）	3074	3.7	.857
コース設定（アップダウン）	3066	3.6	.898
給食（酢こんぶ）	3059	3.6	.919
コース設定（河川敷）	3080	3.3	1.115
コース設定（コース幅）	3076	3.0	1.184
コース設定（折り返し）	3082	2.8	1.132

表3-3)は、コースに関する満足度についてまとめたものである。沿道の応援、沿道での盛り上げイベントなどの評価が高かった一方、コース幅や折り返しなどについては、相対的に評価が低かった。


沿道の応援
0.2%
0.4%
3.4%
26.1%
69.9%
沿道での盛り上げイベント
1.0%
0.5%
6.1%
30.8%
61.6%
給水の量・テーブル数
1.7%
0.6%
5.9%
39.3%
52.4%
給水（スポーツドリンク）
2.4%
0.9%
6.5%
38.8%
51.4%
給水・給食の案内サイン
1.9%
0.3%
8.3%
36.0%
53.5%
給水（水）
1.3%
0.8%
9.5%
35.7%
52.7%
給食（バナナ）
1.3%
0.7%
15.4%
33.8%
48.7%
給食の量・テーブル数
4.7%
0.8%
9.4%
35.1%
50.0%
トイレの案内サイン（コース沿道）
1.7%
0.6%
17.9%
29.3%
50.5%
写真撮影サービス（コース沿道）
2.3%
0.6%
21.9%
34.0%
41.3%
歩行者横断対策（高方式）
4.8%
1.2%
17.9%
31.8%
44.3%
コース設定（景観・名所）
7.3%
1.5%
9.7%
27.6%
53.8%
給食（オレンジ）
3.3%
1.1%
22.8%
30.3%
42.5%
給食（ようかん）
3.5%
1.4%
25.9%
33.7%
35.5%
給食（生ハツ橋）
3.9%
2.0%
26.2%
34.4%
33.6%
医療救護対応（コース沿道）
0.6%
0.3%
31.2%
22.6%
45.3%
給食（塩飴）
2.6%
0.9%
30.9%
24.7%
40.9%
給食（パン）
5.1%
1.1%
29.8%
24.9%
39.0%
トイレの数（コース沿道）
6.3%
1.7%
24.9%
22.1%
45.0%
給食（ミニトマト）
5.3%
2.5%
32.2%
28.2%
31.9%
ペースランナー
5.2%
1.2%
32.6%
21.5%
39.4%
コース設定（道路面状況）
7.1%
1.6%
24.7%
14.5%
52.2%
給食（酢こんぶ）
5.3%
1.7%
40.9%
20.1%
31.9%
コース設定（アップダウン）
9.9%
1.7%
25.5%
13.8%
49.2%
コース設定（河川敷）
6.1%
19.9%
13.1%
23.8%
37.0%
コース設定（コース幅）
9.1%
10.1%
31.8%
31.3%
17.7%
コース設定（折り返し）
11.6%
6.8%
33.6%
24.3%
23.6%
非常に満足
満足
どちらでもない
不満足
非常に不満足

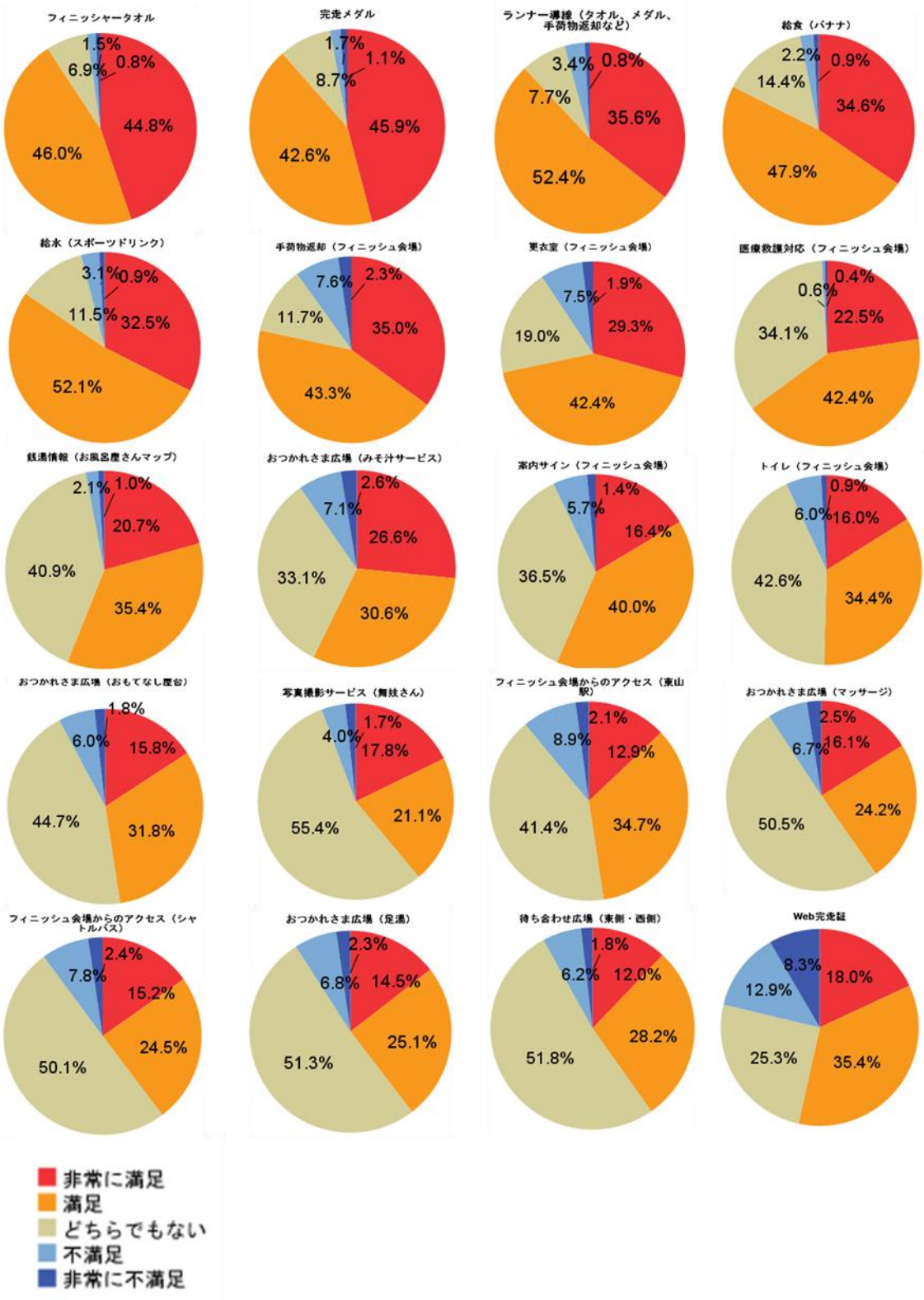
3-4)フィニッシュ



フィニッシュ会場の満足度の平均値

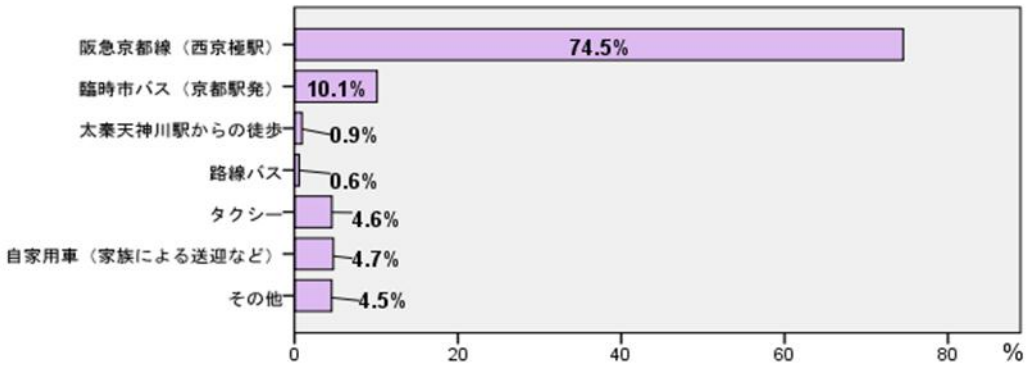
	度数	平均値	標準偏差
フィニッシャータオル	3083	4.3	.737
完走メダル	3080	4.3	.788
ランナー導線（タオル、メダル、手荷物返却など）	3083	4.2	.782
給食（バナナ）	3075	4.1	.801
給水（スポーツドリンク）	3074	4.1	.793
手荷物返却（フィニッシュ会場）	3082	4.0	.989
更衣室（フィニッシュ会場）	3072	3.9	.970
医療救護対応（フィニッシュ会場）	3068	3.9	.777
銭湯情報（お風呂屋さんマップ）	3058	3.7	.844
おつかれさま広場（みそ汁サービス）	3067	3.7	1.017
案内サイン（フィニッシュ会場）	3062	3.6	.870
トイレ（フィニッシュ会場）	3072	3.6	.860
おつかれさま広場（おもてなし屋台）	3048	3.5	.889
写真撮影サービス（舞妓さん）	3060	3.5	.888
フィニッシュ会場からのアクセス（東山駅）	3047	3.5	.902
おつかれさま広場（マッサージ）	3052	3.4	.923
おつかれさま広場（足湯）	3050	3.4	.898
待ち合わせ広場（東側・西側）	3056	3.4	.847
フィニッシュ会場からのアクセス（シャトルバス）	3049	3.4	.920
Web完走証	3056	3.4	1.168

表3-4)は、フィニッシュに関する満足度についてまとめたものである。フィニッシャータオルや完走メダル、ランナー導線などの評価が高かった一方、おつかれさま広場（足湯）や待ち合わせ広場（東側・西側）、web完走証などについては、相対的に評価が低かった。


フィニッシャータオル
1.5%
0.8%
6.9%
44.8%
46.0%
完走メダル
1.7%
1.1%
8.7%
45.9%
42.6%
ランナー導線（タオル、メダル、手荷物返却など）
3.4%
0.8%
7.7%
35.6%
52.4%
給食（バナナ）
2.2%
0.9%
14.4%
34.6%
47.9%
給水（スポーツドリンク）
3.1%
0.9%
11.5%
32.5%
52.1%
手荷物返却（フィニッシュ会場）
7.6%
2.3%
11.7%
35.0%
43.3%
更衣室（フィニッシュ会場）
7.5%
1.9%
19.0%
29.3%
42.4%
医療救護対応（フィニッシュ会場）
0.6%
0.4%
34.1%
22.5%
42.4%
銭湯情報（お風呂屋さんマップ）
2.1%
1.0%
20.7%
40.9%
35.4%
おつかれさま広場（みそ汁サービス）
7.1%
2.6%
26.6%
33.1%
30.6%
案内サイン（フィニッシュ会場）
5.7%
1.4%
16.4%
36.5%
40.0%
トイレ（フィニッシュ会場）
6.0%
0.9%
16.0%
42.6%
34.4%
おつかれさま広場（おもてなし屋台）
1.8%
6.0%
15.8%
44.7%
31.8%
写真撮影サービス（舞妓さん）
4.0%
1.7%
17.8%
55.4%
21.1%
フィニッシュ会場からのアクセス（東山駅）
8.9%
2.1%
12.9%
41.4%
34.7%
おつかれさま広場（マッサージ）
6.7%
2.5%
16.1%
50.5%
24.2%
フィニッシュ会場からのアクセス（シャトルバス）
7.8%
2.4%
15.2%
50.1%
24.5%
おつかれさま広場（足湯）
6.8%
2.3%
14.5%
51.3%
25.1%
待ち合わせ広場（東側・西側）
6.2%
1.8%
12.0%
51.8%
28.2%
Web完走証
12.9%
8.3%
18.0%
25.3%
35.4%
非常に満足
満足
どちらでもない
不満足
非常に不満足

3-5)スタート会場

(1)交通手段

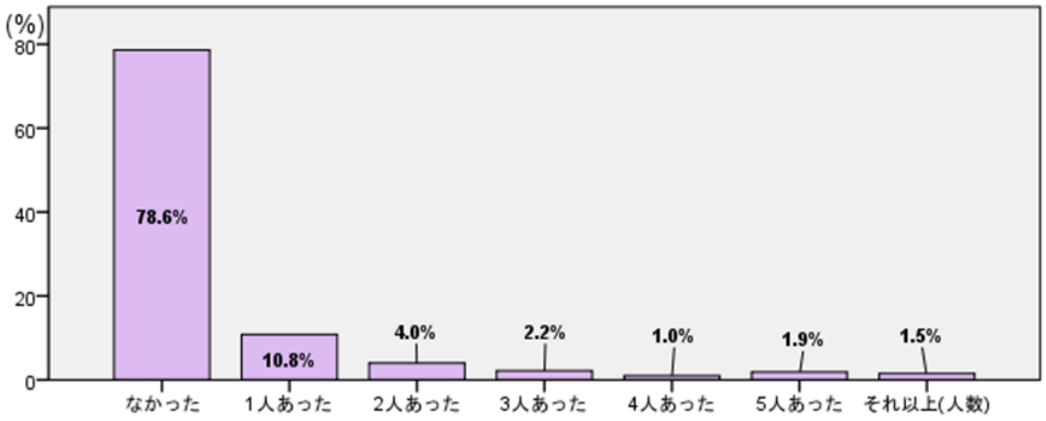


スタート会場への最終の交通手段

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	阪急京都線（西京極駅）	2293	74.3	74.5	74.5
	臨時市バス（京都駅発）	311	10.1	10.1	84.6
	太秦天神川駅からの徒歩	28	.9	.9	85.5
	路線バス	18	.6	.6	86.1
	タクシー	141	4.6	4.6	90.7
	自家用車（家族による送迎など）	146	4.7	4.7	95.5
	その他	140	4.5	4.5	100.0
	合計	3077	99.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	10	.3		
合計		3087	100.0		

表 3-5)-(1)は、スタート会場への最終手段の度数分布表である。阪急京都線（西京極駅）の利用が 74.5%を占め、臨時市バス（京都駅発）が 10.1%という結果であった。

⑵応援

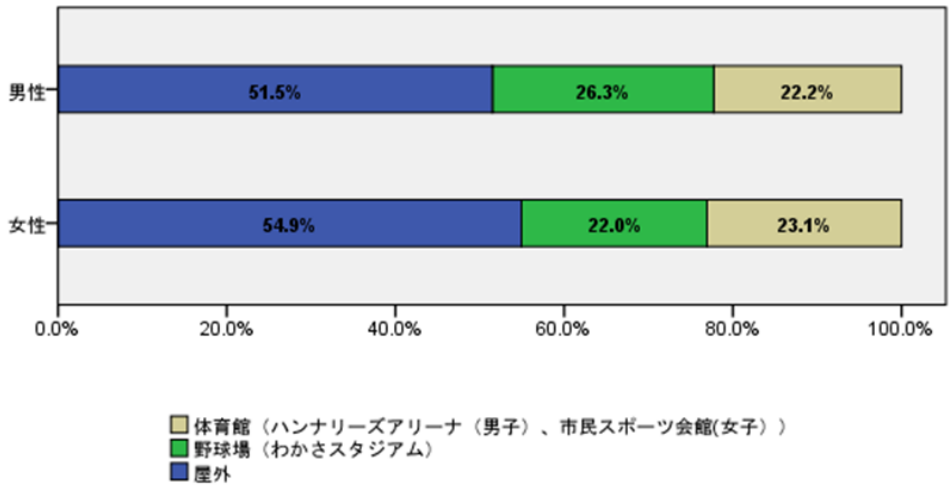


スタート会場への応援者

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	それ以上(人数)	46	1.5	1.5	1.5
	なかった	2419	78.4	78.6	80.1
	1人あった	333	10.8	10.8	90.9
	2人あった	124	4.0	4.0	95.0
	3人あった	67	2.2	2.2	97.1
	4人あった	30	1.0	1.0	98.1
	5人あった	58	1.9	1.9	100.0
	合計	3077	99.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	10	.3		
合計		3087	100.0		

表 3-5)-(2)は、スタート会場への応援の度数分布表である。78.6%のランナーが、応援がなかったと回答し、1 人あったが 10.8%、2 人あったが 4.0%という結果であった。

(3)更衣エリア

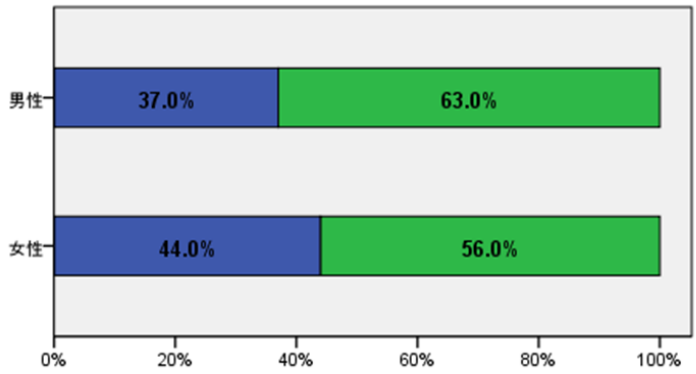


性別 と スタート会場の更衣エリア利用 のクロス表

			スタート会場の更衣エリアの利用			
			屋外	野球場（わかさスタジアム）	体育館（ハンナリーズアリーナ（男子）、市民スポーツ会館(女子)）	合計
性別	男性	度数	1206	615	521	2342
		性別 の %	51.5%	26.3%	22.2%	100.0%
	女性	度数	367	147	154	668
		性別 の %	54.9%	22.0%	23.1%	100.0%
合計		度数	1573	762	675	3010
		性別 の %	52.3%	25.3%	22.4%	100.0%

表 3-5)-(3)は、スタート会場の更衣エリア利用の度数分布表である。屋外で更衣したランナーはランナー全体の 5 割以上を占めた。

⑷衣類回収

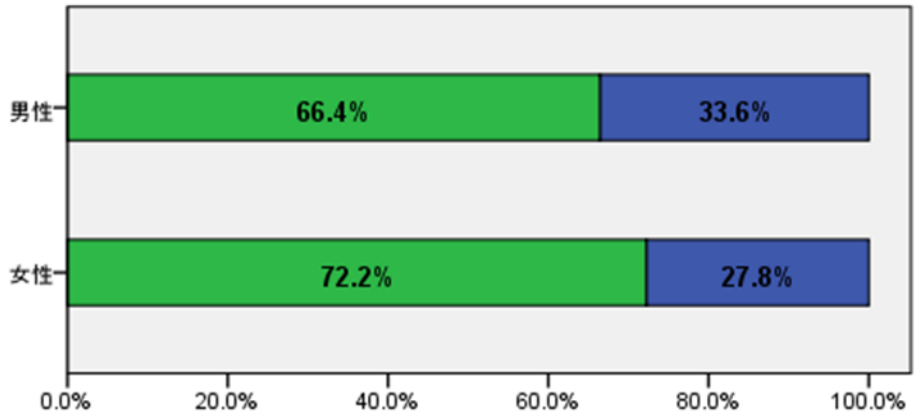


性別 と スタート会場の衣類回収の利用 のクロス表

			スタート会場の衣類回収の利用		
			利用した	利用しなかった	合計
性別	男性	度数	110	187	297
		性別 の %	37.0%	63.0%	100.0%
	女性	度数	40	51	91
		性別 の %	44.0%	56.0%	100.0%
合計		度数	150	238	388
		性別 の %	38.7%	61.3%	100.0%

表 3-5)-(4)は、スタート会場の衣類回収利用の度数分布表である。スタート会場の衣類回収利用したランナーは、男性は 37.0%であったのに対し、女性は 44.0%であった。

(5)次回の衣類回収の利用予定



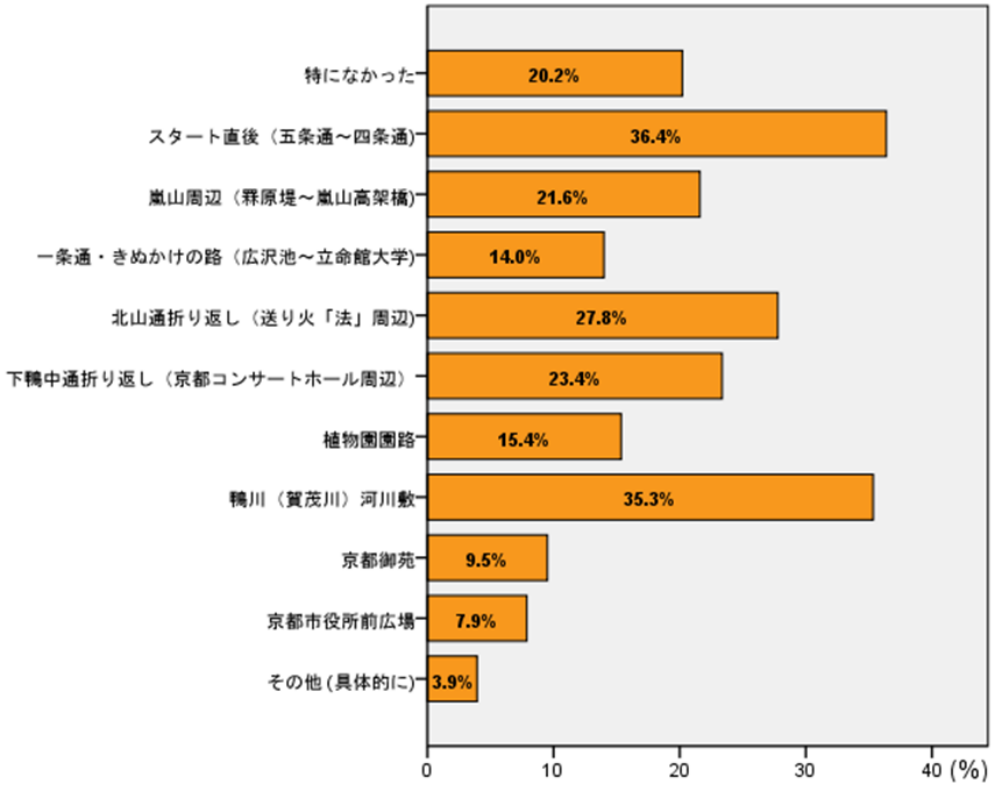
性別 と 次回スタート会場の衣類回収を利用 のクロス表

			次回スタート会場の衣類回収の利用		
			次回は利用したい	次回も利用しない	合計
性別	男性	度数	196	99	295
		性別 の %	66.4%	33.6%	100.0%
	女性	度数	65	25	90
		性別 の %	72.2%	27.8%	100.0%
合計		度数	261	124	385
		性別 の %	67.8%	32.2%	100.0%

表 3-5)-(5)は、性別と次回にスタート会場の衣類回収を利用の度数分布表である。次回ではスタート会場の衣類回収を利用したいランナーは、男性は 66.4%であったのに対し、女性は 72.2%と回答した。

3-6)コース設定

(1)走りにくいコース（複数回答）



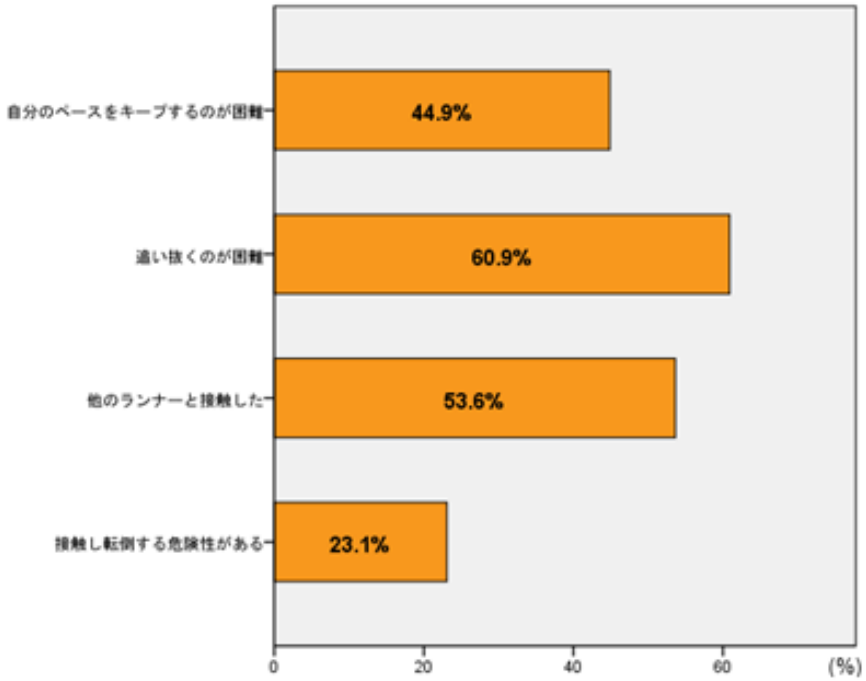
ランナータイプとランナー密度が高く、走りにくいと感じたところはありましたか。

当てはまるものを全てにチェックしてください。のクロス表

			特になかった	スタート直後（五条通～四条通）	嵐山周辺（葬原堤～嵐山高架橋）	一条通・きぬかけの路（広沢池～立命館大学）	北山通折り返し（送り火「法」周辺）	下鴨中通折り返し（京都コンサートホール周辺）	植物園園路	鴨川（賀茂川）河川敷	京都御苑	京都市役所前広場	その他（具体的に）
ランナータイプ	サブ3	度数	50	74	11	7	12	12	21	29	8	7	2
		総和の %	8.1%	6.6%	1.7%	1.6%	1.4%	1.7%	4.4%	2.7%	2.7%	2.9%	1.7%
	サブ4	度数	272	506	253	149	339	297	234	514	114	106	44
		総和の %	43.8%	45.3%	38.1%	34.7%	39.7%	41.4%	49.6%	47.3%	39.0%	43.8%	36.4%
	サブ5	度数	190	395	274	188	368	298	161	406	123	95	49
		総和の %	30.6%	35.3%	41.3%	43.7%	43.1%	41.5%	34.1%	37.4%	42.1%	39.3%	40.5%
	5時間以上・完走経験なし	度数	109	143	126	86	135	111	56	137	47	34	26
		総和の %	17.6%	12.8%	19.0%	20.0%	15.8%	15.5%	11.9%	12.6%	16.1%	14.0%	21.5%
合計		度数	621	1118	664	430	854	718	472	1086	292	242	121
		総和の %	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表 3-6)-(1)、図 3-6)-(1)は、コースの中で、走りにくい感じた箇所があったかについて、まとめたものである。約 2 割のランナーが、特に走りにくいところはなかったと回答しているが、これは、それ以外の約 8 割のランナーは走りにくいところがあったと感じたことを意味している。特に指摘が多かったのは、スタート直後と鴨川（賀茂川）河川敷であった。

(2)走りにくいと感じた理由（複数回答）

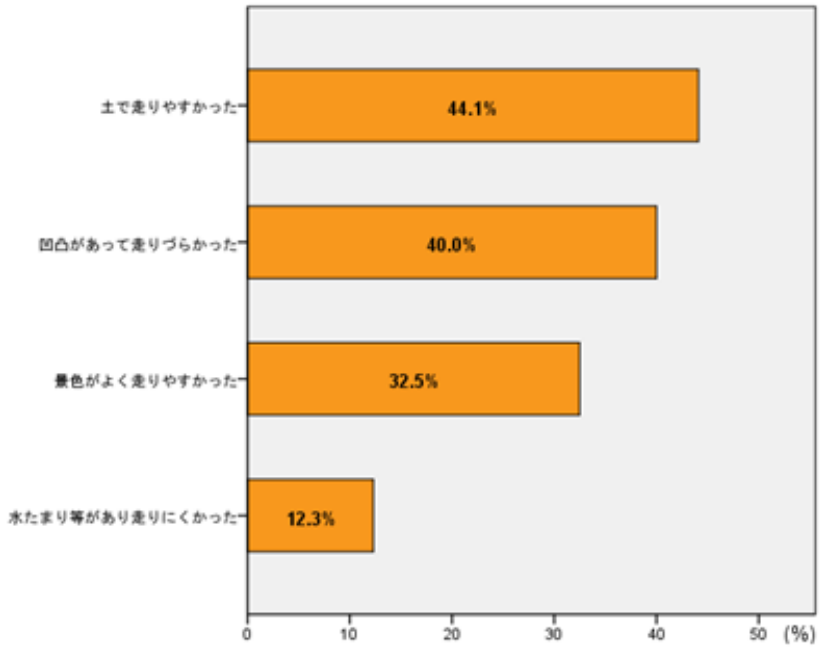


ランナータイプ と 走りにくいと感じた理由を教えてください。（複数回答可） のクロス表

			自分のペースをキープするのが困難	追い抜くのが困難	他のランナーと接触した	接触し転倒する危険性がある
ランナータイプ	サブ3	度数	46	59	37	21
		総和の %	4.0%	3.8%	2.7%	3.6%
	サブ4	度数	470	700	541	271
		総和の %	41.3%	45.4%	39.8%	46.3%
	サブ5	度数	445	568	541	194
		総和の %	39.1%	36.8%	39.8%	33.2%
	5時間以上・完走経験なし	度数	176	216	240	99
		総和の %	15.5%	14.0%	17.7%	16.9%
合計		度数	1137	1543	1359	585
		総和の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 3-6)-(2)、図 3-6)-(2)は、コースの中で走りにくいと感じた理由について、まとめたものである。約 6 割のランナーが追い抜くことが困難であり走りにくいと回答しており、次いで他のランナーと接触したと回答したランナーが 5 割を超える回答があった。

3-7)河川敷について



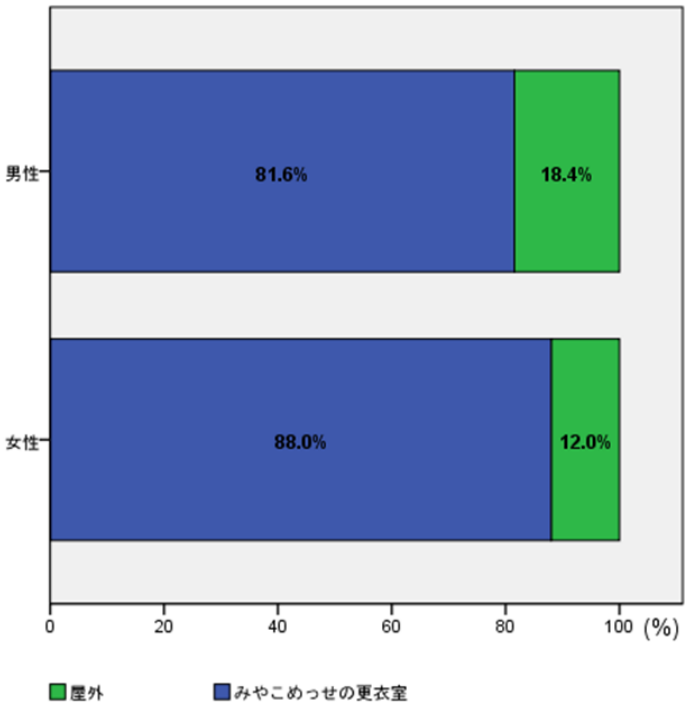
ランナータイプ と 河川敷についておたずねします。（複数回答可） のクロス表

			土で走りやすかった	凹凸があって走りづらかった	景色がよく走りやすかった	水たまり等があり走りにくかった
ランナータイプ	サブ3	度数	61	79	35	14
		総和の %	4.7%	6.7%	3.7%	3.9%
	サブ4	度数	511	533	360	186
		総和の %	39.5%	45.4%	37.8%	51.5%
	サブ5	度数	501	392	381	107
		総和の %	38.7%	33.4%	40.0%	29.6%
	5時間以上・完走経験なし	度数	221	170	177	54
		総和の %	17.1%	14.5%	18.6%	15.0%
合計		度数	1294	1174	953	361
		総和の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 3-7)、図 3-7)は、河川敷コースについてまとめたものである。約 45%のランナーが土で走りやすかったと回答している反面、約 4 割のランナーは凹凸があって走りづらかったと回答している。

3-8)フィニッシュ会場

(1)更衣エリアの利用

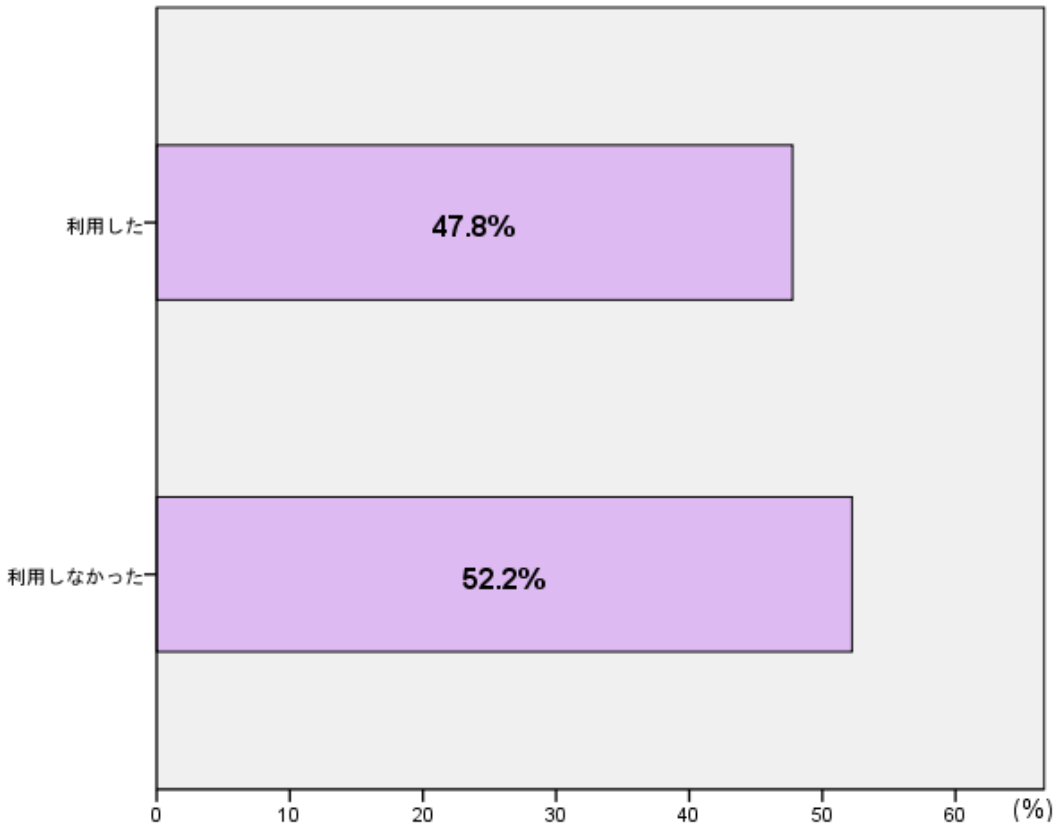


性別 と フィニッシュ会場のどこで更衣しましたか？ のクロス表

			フィニッシュ会場のどこで更衣しましたか？		
			みやこめっせの更衣室	屋外	合計
性別	男性	度数	1928	436	2364
		総和の %	63.3%	14.3%	77.6%
	女性	度数	601	82	683
		総和の %	19.7%	2.7%	22.4%
合計		度数	2529	518	3047
		総和の %	83.0%	17.0%	100.0%

表 3-8)-(1)、図 3-8)-(1)は、フィニッシュ会場の更衣エリア利用の度数分布表である。みやこめっせの更衣室で更衣したランナーは、男性は 81.6%であったのに対し、女性は 88.0%であった。

(2)おつかれさま広場（みやこめっせ 3 階）の利用

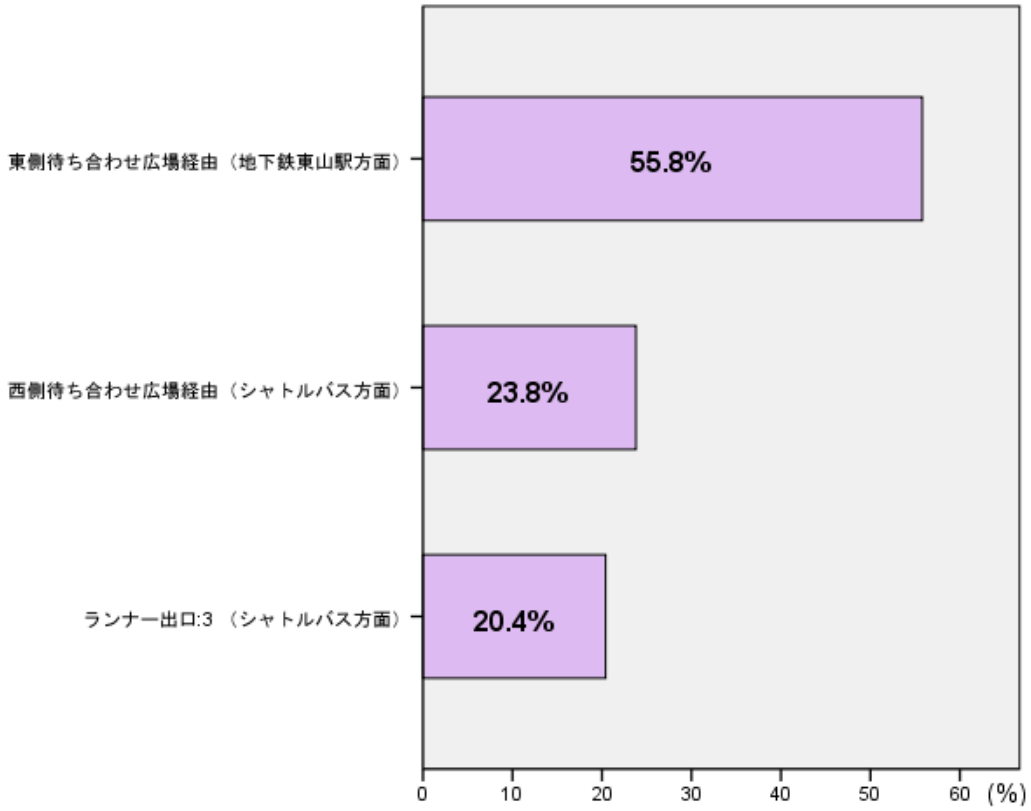


おつかれさま広場（みやこめっせ３階）を利用しましたか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用した	1464	47.4	47.8	47.8
	利用しなかった	1601	51.9	52.2	100.0
	合計	3065	99.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	22	.7		
合計		3087	100.0		

表 3-8)-(2)、図 3-8)-(2)は、おつかれさま広場（みやこめっせ 3 階）の利用に関する度数分布表である。広場を利用したランナーは 47.8%という結果であった。

(3)帰りのルート

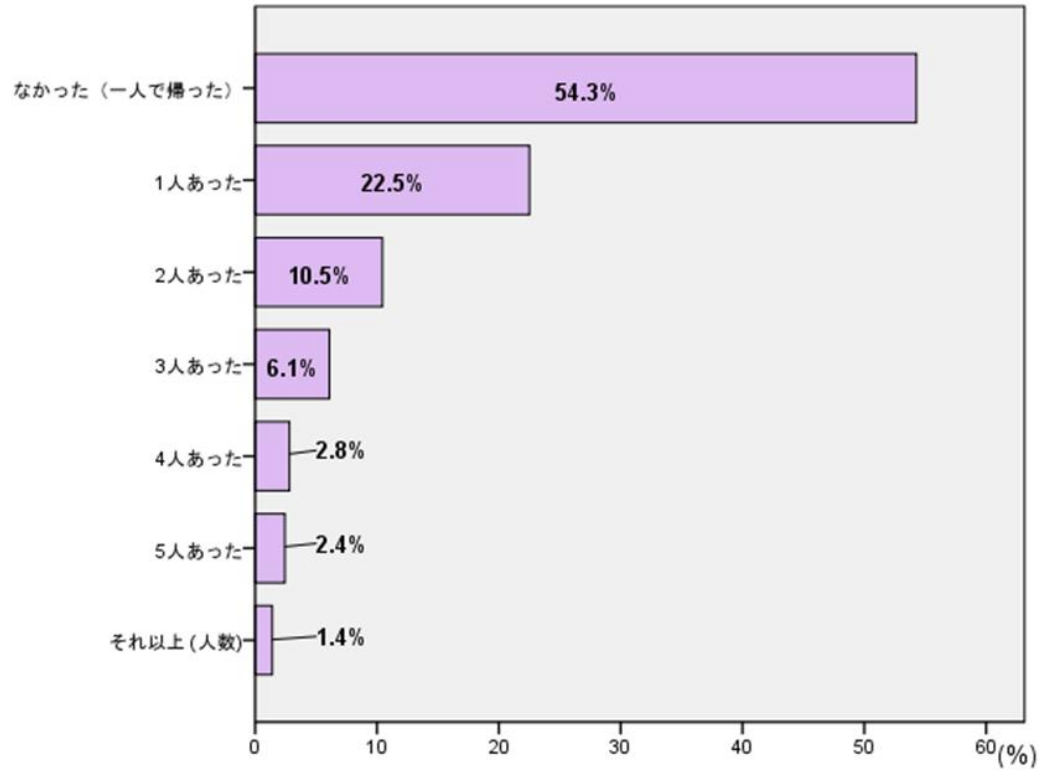


フィニッシュ会場では、どのルートで帰りましたか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	東側待ち合わせ広場経由（地下鉄東山駅方面）	1697	55.0	55.8	55.8
	西側待ち合わせ広場経由（シャトルバス方面）	724	23.5	23.8	79.6
	ランナー出口:3 （シャトルバス方面）	621	20.1	20.4	100.0
	合計	3042	98.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	45	1.5		
合計		3087	100.0		

表 3-8)-(3)、図 3-8)-(3)は、フィニッシュ会場からの帰りルートの度数分布表である。東側待ち合わせ広場経由（地下鉄東山駅方面）が最も多く 55.8%を占め、西側待ち合わせ広場経由（シャトルバス方面）は 23.8%、ランナー出口 3（シャトルバス方面）は 20.4%であった。

(4)待ち合わせ

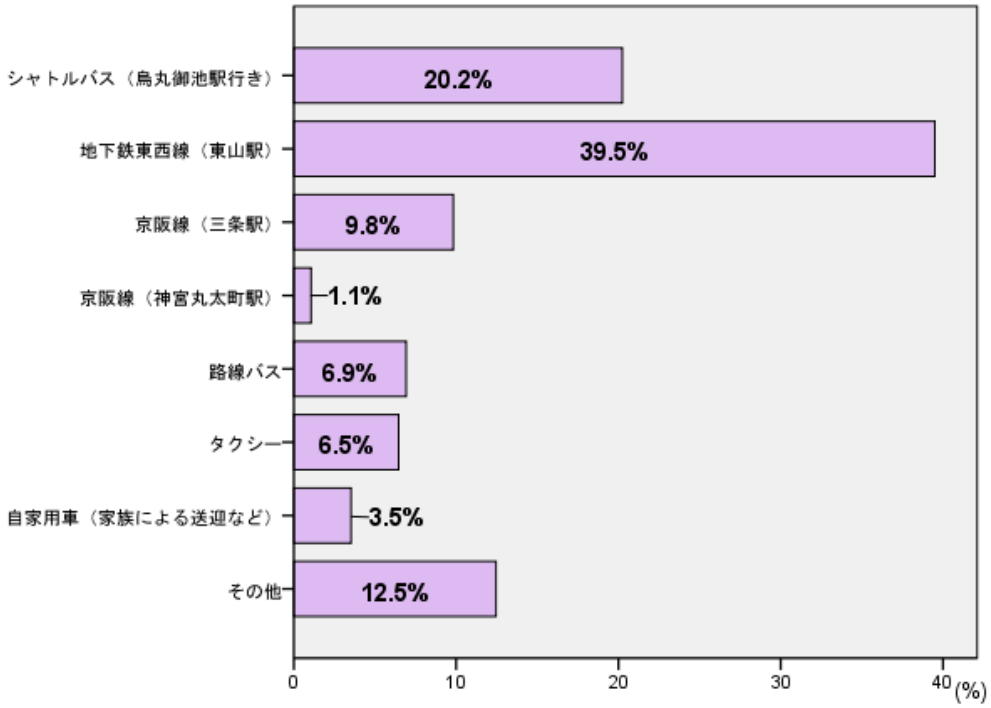


フィニッシュ会場で待ち合わせ（家族・友人等）はありましたか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	それ以上 (人数)	43	1.4	1.4	1.4
	なかった（一人で帰った）	1672	54.2	54.3	55.7
	1人あった	694	22.5	22.5	78.2
	2人あった	322	10.4	10.5	88.6
	3人あった	188	6.1	6.1	94.7
	4人あった	87	2.8	2.8	97.6
	5人あった	75	2.4	2.4	100.0
	合計	3081	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	6	.2		
合計		3087	100.0		

表 3-8)-(4)、図 3-8-(4)は、フィニッシュ会場での待ち合わせの度数分布表である。54.3%のランナーが、待ち合わせなく 1 人で帰ったと回答し、1 人あったが 22.5%、2 人あったが 10.5%という結果であった。

(5)フィニッシュ会場（平安神宮前）からの最初の交通手段



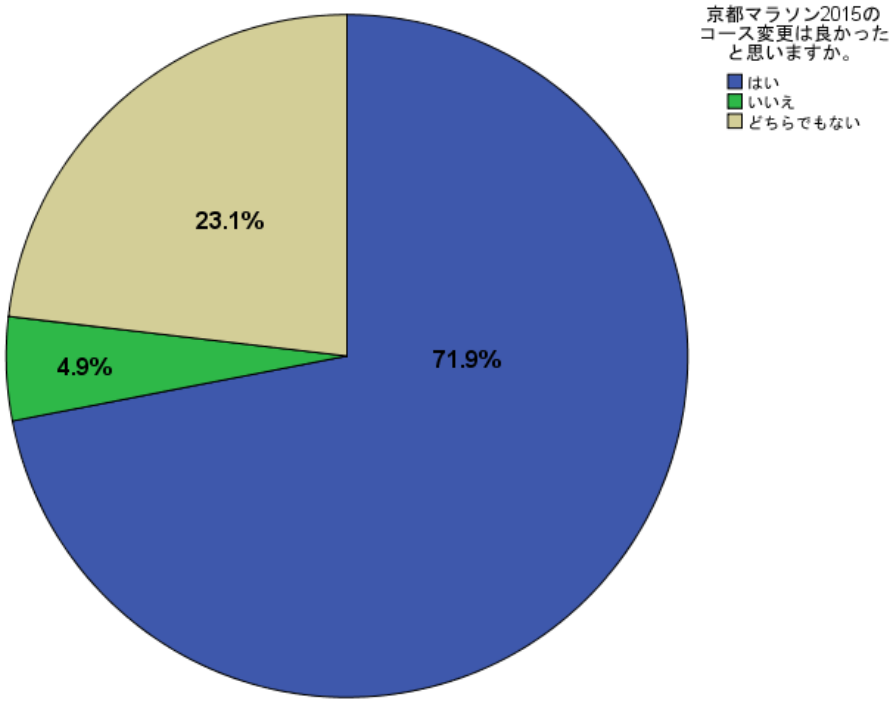
フィニッシュ会場（平安神宮前）からの最初の交通手段についてお聞かせください。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	シャトルバス（烏丸御池駅行き）	614	19.9	20.2	20.2
	地下鉄東西線（東山駅）	1198	38.8	39.5	59.7
	京阪線（三条駅）	298	9.7	9.8	69.6
	京阪線（神宮丸太町駅）	32	1.0	1.1	70.6
	路線バス	210	6.8	6.9	77.5
	タクシー	196	6.3	6.5	84.0
	自家用車（家族による送迎など）	107	3.5	3.5	87.5
	その他	378	12.2	12.5	100.0
	合計	3033	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	54	1.7		
合計		3087	100.0		

表 3-8)-(5)、図 3-8)-(5)は、フィニッシュ会場からの最初の交通手段の度数分布表である。地下鉄東西線（東山駅）が最も多く 39.5%を占め、シャトルバス（烏丸御池駅行き）が 20.2%と次に多かった。

3-9)コース変更

(1)コース変更について

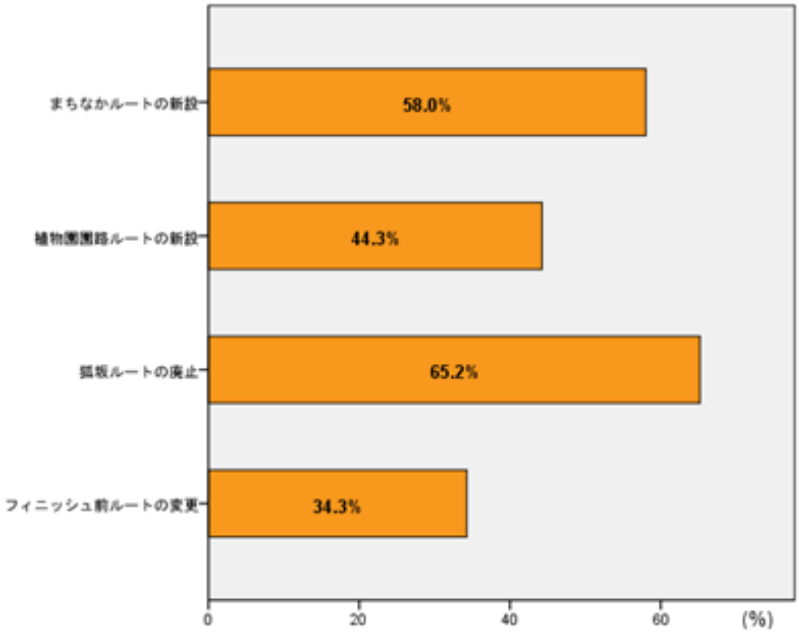


京都マラソン2015のコース変更は良かったと思いますか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	2216	71.8	71.9	71.9
	いいえ	151	4.9	4.9	76.9
	どちらでもない	713	23.1	23.1	100.0
	合計	3080	99.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	7	.2		
合計		3087	100.0		

表 3-9)-(1)、図 3-9)-(1)は、京都マラソン 2015 のコース変更の是非についてまとめたものである。71.9%のランナーが良かったと思うと回答している。

(2)コース変更の良かったところ

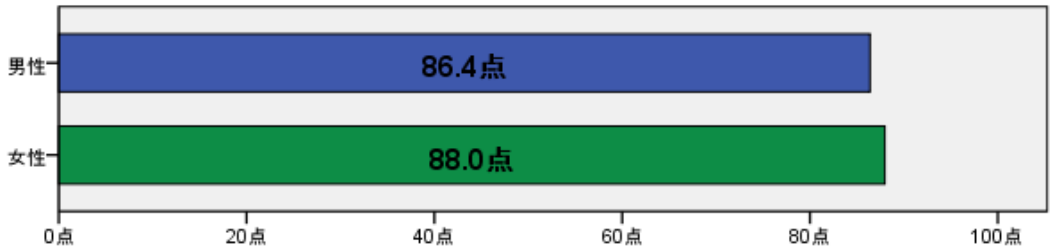


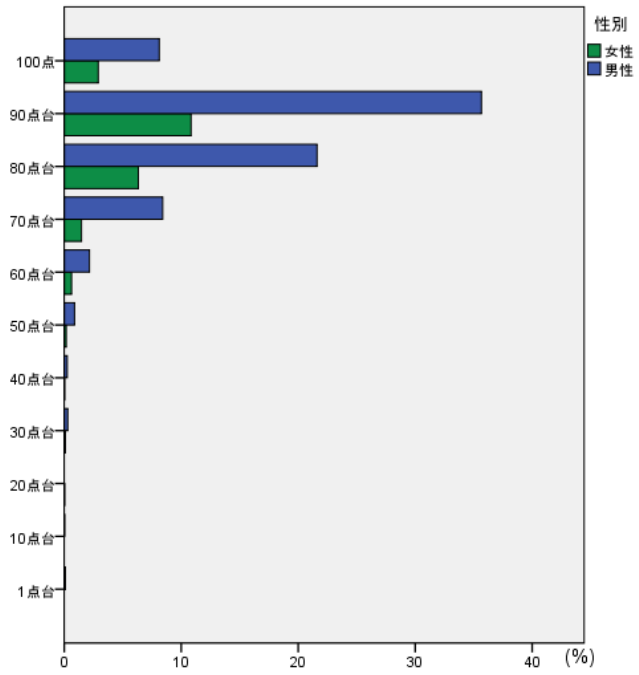
ランナータイプ と コース変更の良かったところはどこですか。（複数回答可） のクロス表

			まちなかルートの新設（丸太町通、河原町通	植物園園路ルートの新設	狐坂ルートの廃止	フィニッシュ前ルートの変更
ランナータイプ	サブ3	度数	64	45	79	40
		総和の %	5.0%	4.6%	5.5%	5.3%
	サブ4	度数	538	382	560	339
		総和の %	42.1%	39.2%	39.0%	45.0%
	サブ5	度数	481	372	527	259
		総和の %	37.7%	38.2%	36.7%	34.4%
	5時間以上・完走経験なし	度数	194	175	269	116
		総和の %	15.2%	18.0%	18.7%	15.4%
合計		度数	1277	974	1435	754
		総和の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 3-9)-(2)、図 3-9)-(2)は、京都マラソン 2015 のコース変更の良かった点についてまとめたものである。65.2%のランナーが狐坂ルートの廃止が良かったと回答している。

3-10)京都マラソン 2015 の点数（100 点満点）





性別 と 点 のクロス表

			京都マラソン2015の点数										
			1点台	10点台	20点台	30点台	40点台	50点台	60点台	70点台	80点台	90点台	100点
性別	男性	度数	3	1	0	9	8	27	66	258	662	1093	249
		総和の %	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	0.9%	2.1%	8.4%	21.4%	35.4%	8.1%
	女性	度数	0	0	1	3	1	5	19	45	194	332	89
		総和の %	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.6%	1.5%	6.3%	10.8%	2.9%
合計		度数	3	1	1	12	9	32	85	303	856	1425	338
		総和の %	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%	1.0%	2.8%	9.8%	27.7%	46.2%	10.9%

表 3-10)、図 3-10)は、京都マラソン 2015 の点数評価の度数分布表である。約 8 割のランナーが 80 点以上の評価をし、平均点は 86.7 点となった。男女別では、若干ではあるが、女性の方が高い評価となった。

4. マラソン参加

4-1)同伴者

ランナータイプと同伴者のクロス表

			なし（一人で参加）	ランニングクラブのメンバー	家族	友人・知人	恋人	その他	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	73	14	48	36	0	1	172
		% 合計	2.2%	0.4%	1.5%	1.1%	0.0%	0.0%	5.3%
	サブ4	度数	688	107	336	253	0	9	1393
		% 合計	21.0%	3.3%	10.3%	7.7%	0.0%	0.3%	42.6%
	サブ5	度数	550	72	301	244	0	9	1176
		% 合計	16.8%	2.2%	9.2%	7.5%	0.0%	0.3%	36.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	208	24	141	148	0	8	529
		% 合計	6.4%	0.7%	4.3%	4.5%	0.0%	0.2%	16.2%
合計		度数	1519	217	826	681	0	27	3270
		% 合計	46.5%	6.6%	25.3%	20.8%	0.0%	0.8%	100%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

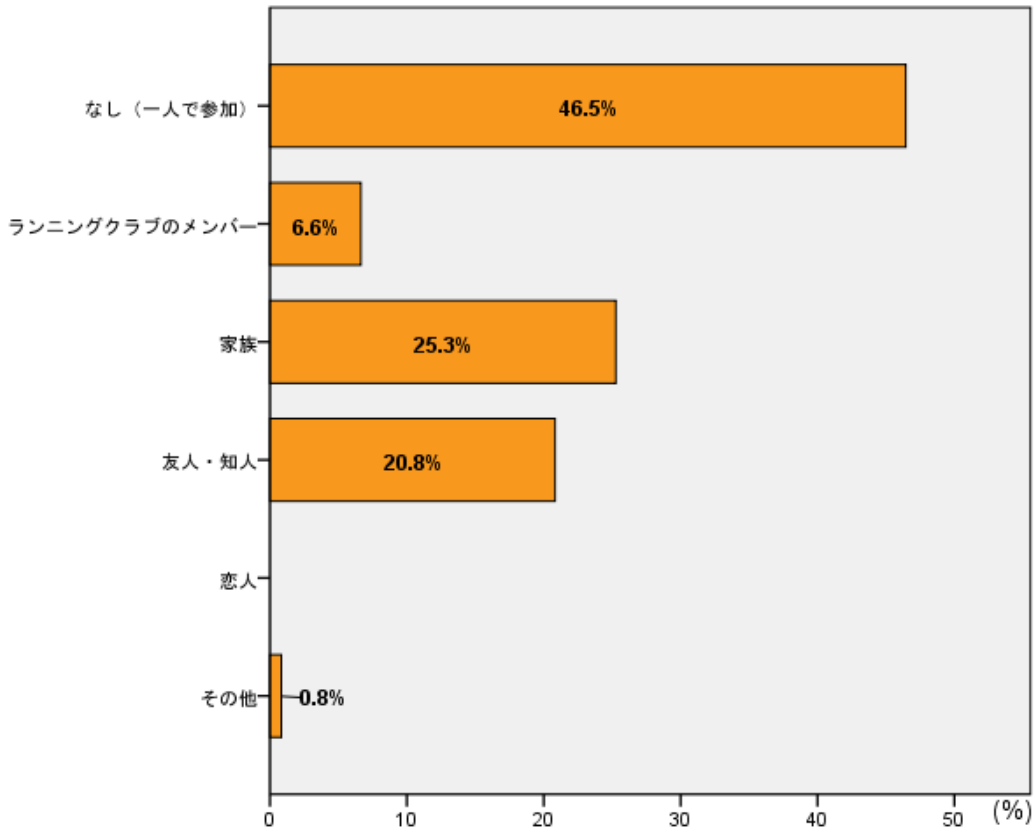


表 4-1)、図 4-1)は、ランナータイプと同伴者の分布である。1 人で参加したランナーが46.5%とおよそ半数を占め、次いで家族、友人・知人との参加が多くみられる結果となった。

4-2)ランナー以外の同伴者の人数

ランナータイプとランナー以外の同伴者のクロス表

			0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	24	33	9	9	3	3	1	82
		総和の %	1.5%	2.1%	0.6%	0.6%	0.2%	0.2%	0.1%	5.3%
	サブ4	度数	203	204	97	56	28	21	19	628
		総和の %	13.0%	13.1%	6.2%	3.6%	1.8%	1.3%	1.2%	40.3%
	サブ5	度数	217	176	73	43	25	15	12	561
		総和の %	13.9%	11.3%	4.7%	2.8%	1.6%	1.0%	0.8%	36.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	108	78	45	29	11	11	7	289
		総和の %	6.9%	5.0%	2.9%	1.9%	0.7%	0.7%	0.4%	18.5%
合計		度数	552	491	224	137	67	50	39	1560
		総和の %	35.4%	31.5%	14.4%	8.8%	4.3%	3.2%	2.5%	100.0%

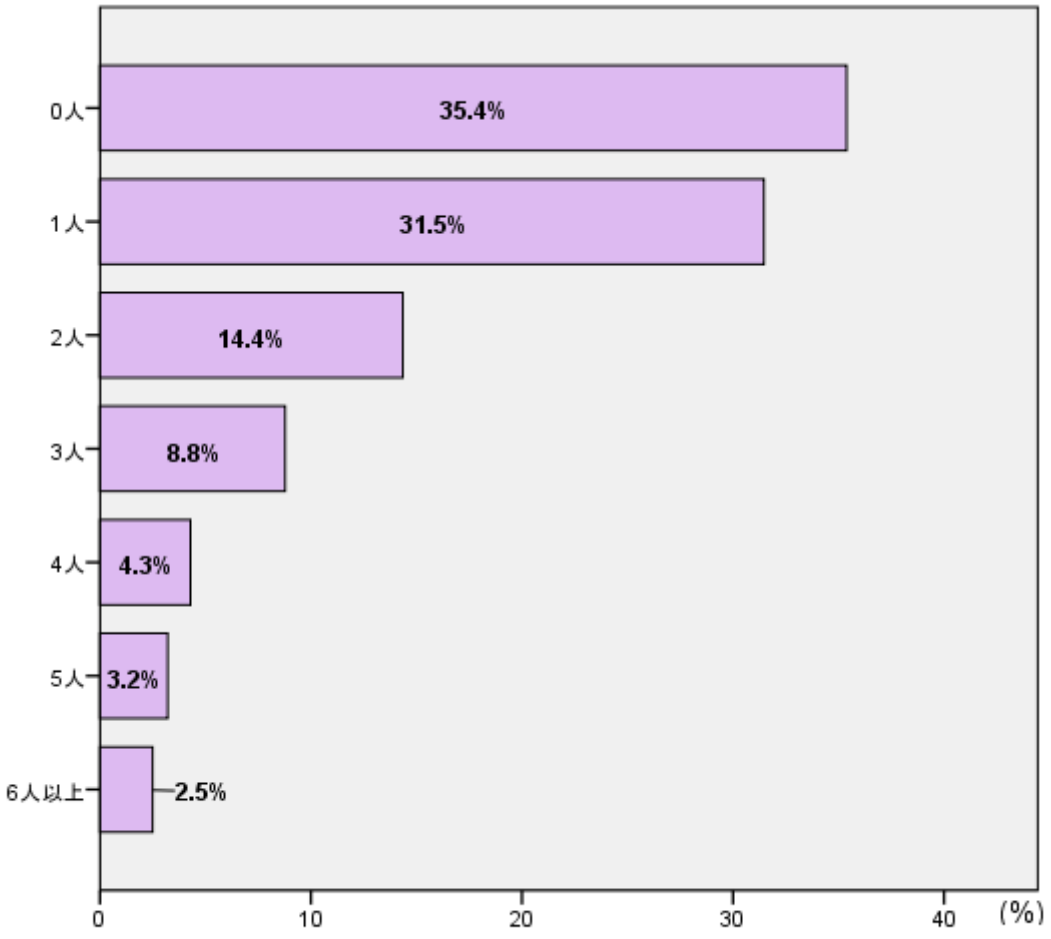


表 4-2)、図 4-2)は、ランナータイプとランナー以外の同伴者の人数についての結果を示している。ランナー以外の同伴者を伴わずに参加したランナーが 35.4%と最も多く、続いて１人と回答したランナーが 31.5%という結果となった。

4-3)情報入手経路

ランナータイプと情報入手経路のクロス表

			広報誌（市民しんぶん）	新聞	テレビ番組	一般の雑誌	ランニング雑誌	ランニング書籍	ポスター・広告	チラシ
ランナータイプ	サブ3	度数	12	15	6	3	53	1	28	15
		% 合計	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%	0.2%
	サブ4	度数	94	118	65	22	499	33	163	79
		% 合計	1.5%	1.8%	1.0%	0.3%	7.8%	0.5%	2.6%	1.2%
	サブ5	度数	119	139	72	27	317	24	167	103
		% 合計	1.9%	2.2%	1.1%	0.4%	5.0%	0.4%	2.6%	1.6%
	5時間以上・完走経験なし	度数	69	69	39	10	104	8	107	54
		% 合計	1.1%	1.1%	0.6%	0.2%	1.6%	0.1%	1.7%	0.8%
合計		度数	294	341	182	62	973	66	465	251
		% 合計	4.6%	5.3%	2.9%	1.0%	15.3%	1.0%	7.3%	3.9%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

ランナータイプと情報入手経路のクロス表

			友人・知人・家族	指導者・コーチ	スポーツショップの店員	フィットネスクラブのスタッフ	ウェブサイト（PC・タブレット・スマートフォン）	SNS（facebook・twitter・mixi）	その他
ランナータイプ	サブ3	度数	19	1	5	1	123	24	2
		% 合計	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	1.9%	0.4%	0.0%
	サブ4	度数	185	8	12	3	1054	301	19
		% 合計	2.9%	0.1%	0.2%	0.0%	16.5%	4.7%	0.3%
	サブ5	度数	222	5	21	5	879	245	8
		% 合計	3.5%	0.1%	0.3%	0.1%	13.8%	3.8%	0.1%
	5時間以上・完走経験なし	度数	112	4	15	7	345	110	11
		% 合計	1.8%	0.1%	0.2%	0.1%	5.4%	1.7%	0.2%
合計		度数	538	18	53	16	2401	680	40
		% 合計	8.4%	0.3%	0.8%	0.3%	37.6%	10.7%	0.6%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

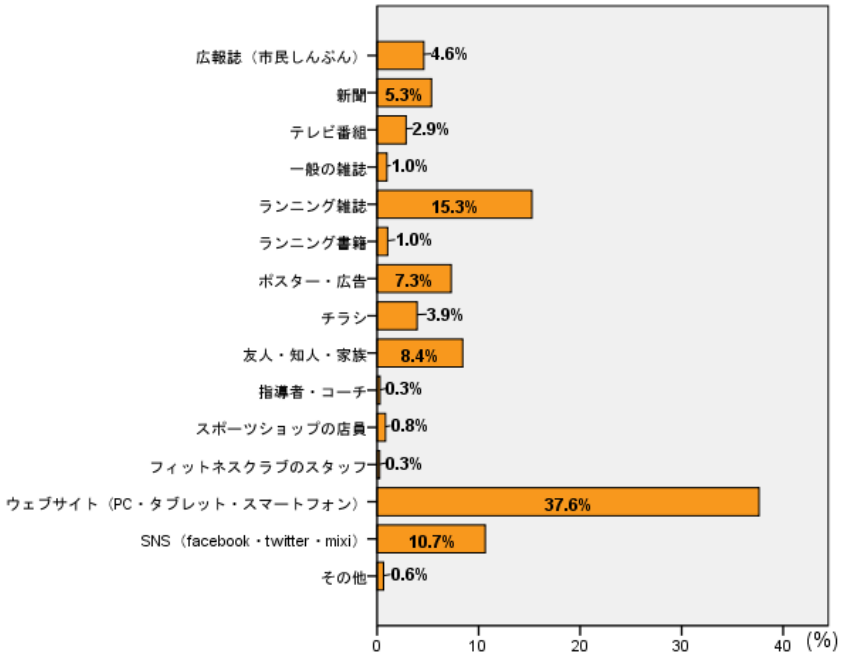


表 4-3)、図 4-3)は、ランナータイプと情報入手経路の分布を示している。ウェブサイトでの情報入手が 37.6%と最も多く、次いでランニング雑誌、SNS による情報入手が多くみられた。

4-4)マラソン参加理由

ランナータイプとマラソン参加理由のクロス表

			観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	京都で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから
ランナータイプ	サブ3	度数	71	48	68	111	42
		% 合計	0.8%	0.5%	0.8%	1.3%	0.5%
	サブ4	度数	748	393	596	1011	408
		% 合計	8.5%	4.5%	6.8%	11.5%	4.6%
	サブ5	度数	667	307	485	853	380
		% 合計	7.6%	3.5%	5.5%	9.7%	4.3%
	5時間以上・完走経験なし	度数	261	120	185	401	163
		% 合計	3.0%	1.4%	2.1%	4.6%	1.9%
合計		度数	1747	868	1334	2376	993
		% 合計	19.8%	9.9%	15.1%	27.0%	11.3%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

ランナータイプとマラソン参加理由のクロス表

			記録が出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
ランナータイプ	サブ3	度数	9	26	6	27	18
		% 合計	0.1%	0.3%	0.1%	0.3%	0.2%
	サブ4	度数	63	158	60	260	96
		% 合計	0.7%	1.8%	0.7%	3.0%	1.1%
	サブ5	度数	41	156	56	210	84
		% 合計	0.5%	1.8%	0.6%	2.4%	1.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	11	58	30	69	54
		% 合計	0.1%	0.7%	0.3%	0.8%	0.6%
合計		度数	124	398	152	566	252
		% 合計	1.4%	4.5%	1.7%	6.4%	2.9%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

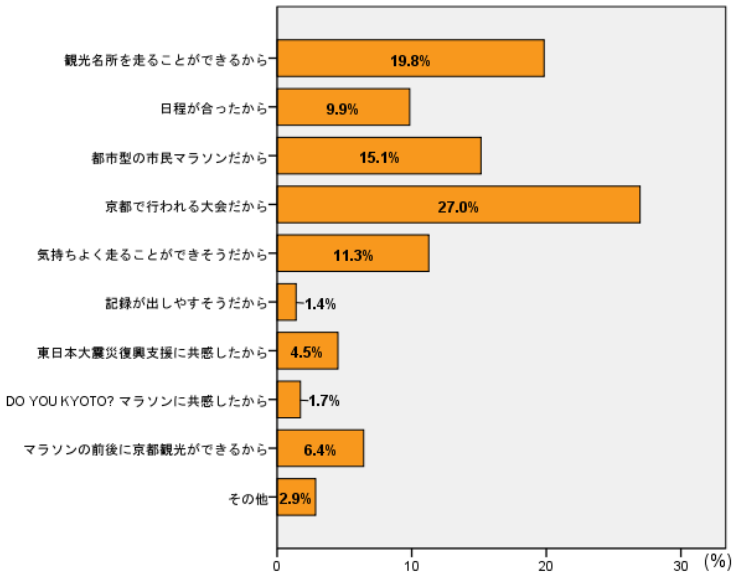
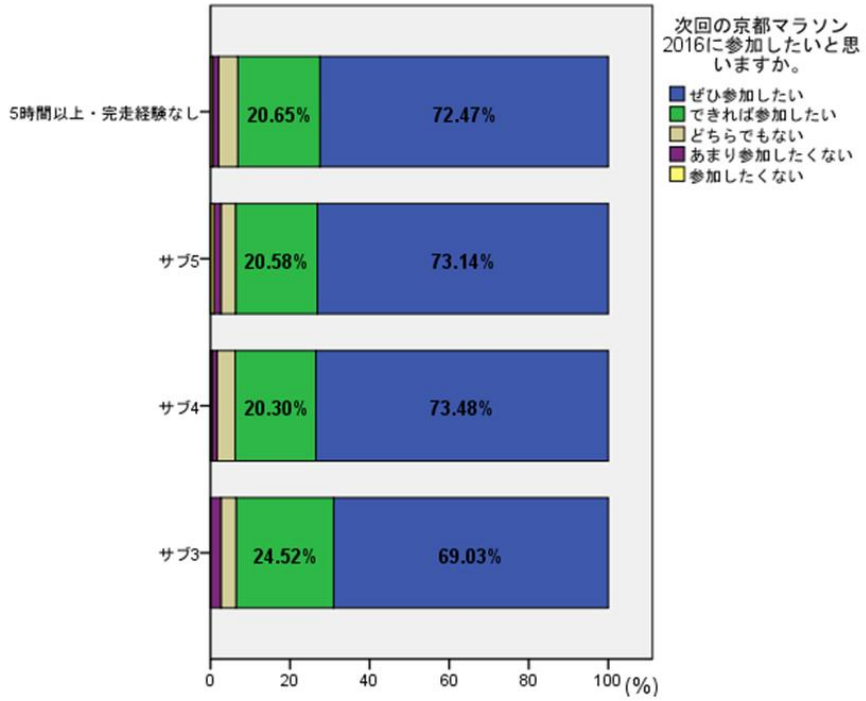


表 4-4)、図 4-4)は、京都マラソン 2015 の参加理由についての分布を示している。京都で行われる大会だから、観光名所を走ることができるから、という回答が多くみられたことから、寺社仏閣などの観光名所が多い京都という土地に魅力を感じて参加したランナーが多かったと考えられる。

4-5) 京都マラソン 2016 の参加予定

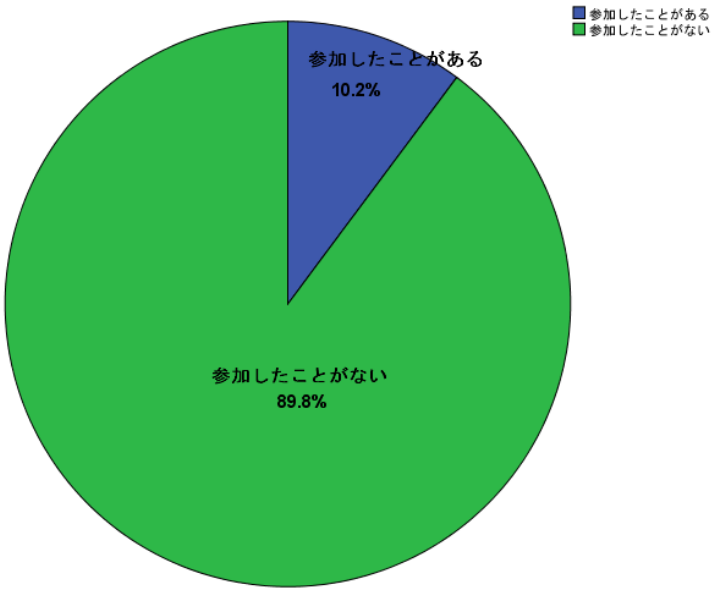


ランナータイプと京都マラソン2016参加予定 のクロス表

			次回の京都マラソン2016に参加したいと思いますか。					
			ぜひ参加したい	できれば参加したい	どちらでもない	あまり参加したくない	参加したくない	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	107	38	6	4	0	155
		ランナータイプ の %	69.0%	24.5%	3.9%	2.6%	0.0%	100.0%
	サブ4	度数	970	268	60	16	6	1320
		ランナータイプ の %	73.5%	20.3%	4.5%	1.2%	0.5%	100.0%
	サブ5	度数	814	229	41	20	9	1113
		ランナータイプ の %	73.1%	20.6%	3.7%	1.8%	0.8%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	358	102	24	7	3	494
		ランナータイプ の %	72.5%	20.6%	4.9%	1.4%	0.6%	100.0%
合計		度数	2249	637	131	47	18	3082
		ランナータイプ の %	73.0%	20.7%	4.3%	1.5%	0.6%	100.0%

表 4-5)、図 4-5)は、ランナータイプと次回京都マラソン 2016 への参加予定を示している。ぜひ参加したい、できれば参加したいが約 9 割を占めており、今大会に満足したランナーが多かったと考えられる。

4-6)京都シティハーフマラソンの参加経験

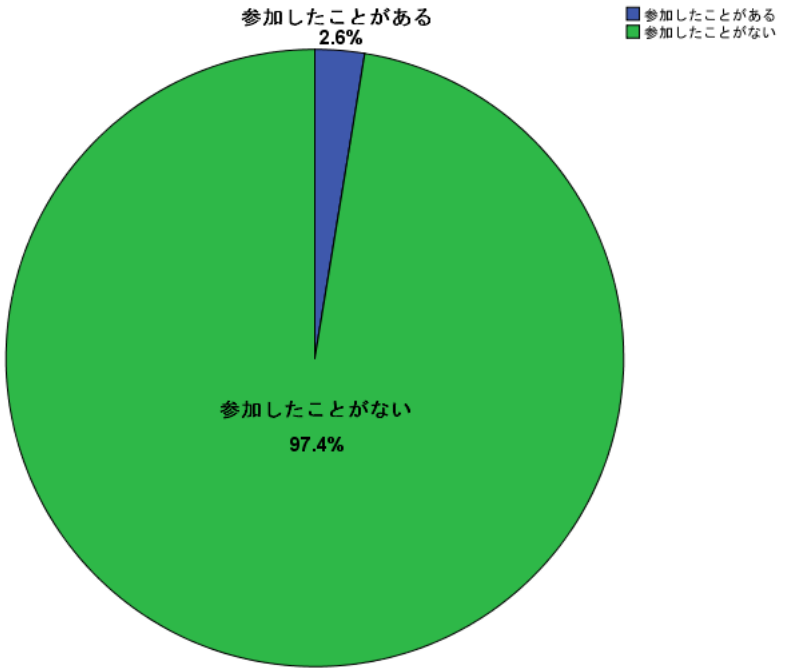


京都シティーハーフマラソン（1994年～2009年）に参加したことはありますか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	参加したことがある	312	10.1	10.2	10.2
	参加したことがない	2749	89.1	89.8	100.0
	合計	3061	99.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	26	.8		
合計		3087	100.0		

表 4-6)、図 4-6)は、京都シティハーフマラソンの参加経験の有無についての度数分布である。参加したことがあると回答したランナーは、約１割という結果であった。

4-7)京都マラソンボランティアの参加経験



過去に京都マラソンのボランティア（スタッフ）として参加したことがありますか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	参加したことがある	79	2.6	2.6	2.6
	参加したことがない	2974	96.3	97.4	100.0
	合計	3053	98.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	34	1.1		
合計		3087	100.0		

表 4-7)、図 4-7)は、過去の京都マラソンにおけるボランティアの参加経験についての度数分布である。ボランティアに参加したことのあるランナーは 2.6%と少なく、ほとんどのランナーはボランティア参加の経験がなかった。

4-8)都市型市民マラソンへの参加経験

ランナータイプと都市型市民マラソンの参加経験のクロス表

			東京マラソン	大阪マラソン	神戸マラソン	奈良マラソン	福知山マラソン	北海道マラソン
ランナータイプ	サブ3	度数	56	75	55	42	41	41
		% 合計	1.0%	1.4%	1.0%	0.8%	0.7%	0.7%
	サブ4	度数	417	617	502	399	253	173
		% 合計	7.6%	11.3%	9.2%	7.3%	4.6%	3.2%
	サブ5	度数	246	404	342	239	126	58
		% 合計	4.5%	7.4%	6.2%	4.4%	2.3%	1.1%
	5時間以上・完走経験なし	度数	72	130	113	72	27	7
		% 合計	1.3%	2.4%	2.1%	1.3%	0.5%	0.1%
合計		度数	791	1226	1012	752	447	279
		% 合計	14.4%	22.4%	18.5%	13.7%	8.2%	5.1%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

ランナータイプと都市型市民マラソンの参加経験のクロス表

			長野マラソン	NAHAマラソン	泉州国際マラソン	高知龍馬マラソン	熊本城マラソン	青梅マラソン
ランナータイプ	サブ3	度数	30	14	27	3	2	24
		% 合計	0.5%	0.3%	0.5%	0.1%	0.0%	0.4%
	サブ4	度数	151	132	93	20	37	113
		% 合計	2.8%	2.4%	1.7%	0.4%	0.7%	2.1%
	サブ5	度数	50	84	19	22	24	53
		% 合計	0.9%	1.5%	0.3%	0.4%	0.4%	1.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	9	30	7	6	3	15
		% 合計	0.2%	0.5%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%
合計		度数	240	260	146	51	66	205
		% 合計	4.4%	4.7%	2.7%	0.9%	1.2%	3.7%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

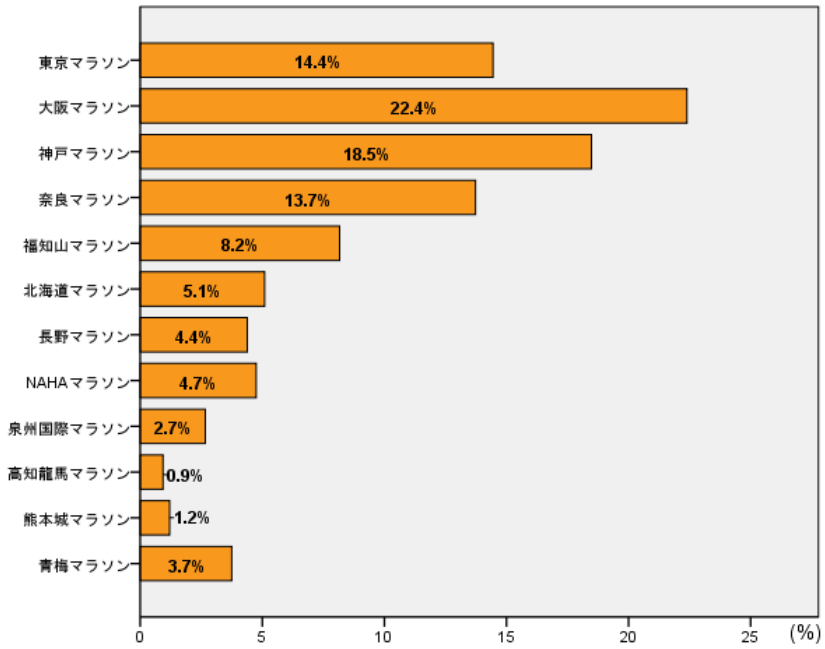


表 4-8)、図 4-8)は、京都マラソンではない都市型市民マラソンの参加経験についての分布を示している。大阪マラソン、神戸マラソン、奈良マラソンという関西圏で行われたマラソンに参加したことのあるランナーが多くみられたほか、東京マラソン参加者も 14.4%と、3 番目に多い結果となった。

4-9)競技会場までの交通手段

ランナータイプと競技会場までの交通手段のクロス表

			新幹線	飛行機	長距離バス	路線バス	船舶（フェリーなど）
ランナータイプ	サブ3	度数	47	11	12	21	0
		% 合計	1.0%	0.2%	0.2%	0.4%	0.0%
	サブ4	度数	424	90	75	183	4
		% 合計	8.8%	1.9%	1.6%	3.8%	0.1%
	サブ5	度数	335	56	51	145	0
		% 合計	7.0%	1.2%	1.1%	3.0%	0.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	102	17	24	90	2
		% 合計	2.1%	0.4%	0.5%	1.9%	0.0%
合計		度数	908	174	162	439	6
		% 合計	18.9%	3.6%	3.4%	9.1%	0.1%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

ランナータイプと競技会場までの交通手段のクロス表

			電車（新幹線以外）	自家用車	レンタカー	タクシー	自転車	徒歩のみ
ランナータイプ	サブ3	度数	103	32	0	8	12	5
		% 合計	2.1%	0.7%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%
	サブ4	度数	941	202	3	64	49	50
		% 合計	19.6%	4.2%	0.1%	1.3%	1.0%	1.0%
	サブ5	度数	814	166	0	77	49	43
		% 合計	17.0%	3.5%	0.0%	1.6%	1.0%	0.9%
	5時間以上・完走経験なし	度数	353	73	0	27	16	25
		% 合計	7.4%	1.5%	0.0%	0.6%	0.3%	0.5%
合計		度数	2211	473	3	176	126	123
		% 合計	46.1%	9.9%	0.1%	3.7%	2.6%	2.6%

パーセンテージと合計はケース数を基に計算されます。

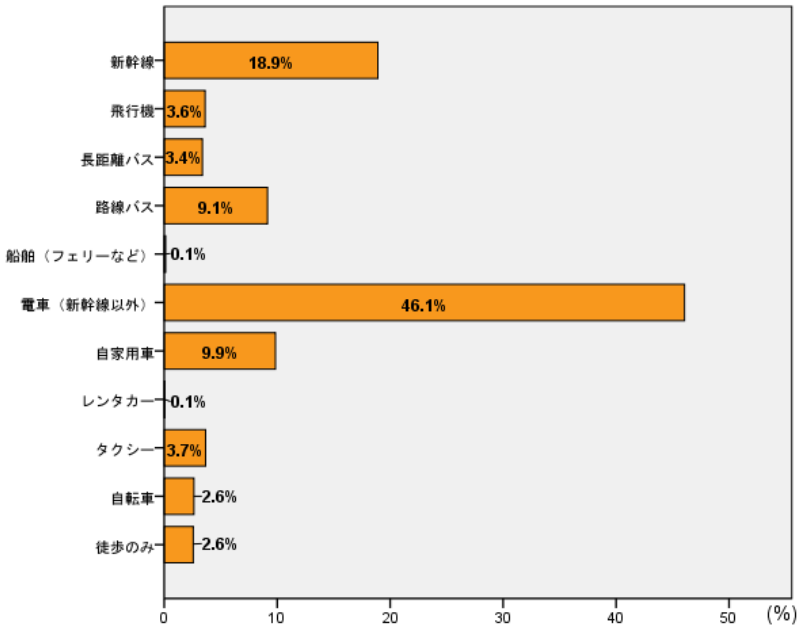


表 4-9)、図 4-9)は、競技会場までの交通手段についての分布を示している。46.1%と、約半数のランナーが新幹線以外の電車を使用したことがわかった。また、約 2 割のランナーが新幹線を利用していた。

4-10)自宅から競技場までの所要時間

ランナータイプと競技場までの所要時間のクロス表

			30分以内	1時間以内	1時間30分以内	2時間以内	2時間30分以内	3時間以内
ランナータイプ	サブ3	度数	17	29	25	13	10	14
		ランナータイプの％	11.0%	18.7%	16.1%	8.4%	6.5%	9.0%
	サブ4	度数	144	233	188	143	106	146
		ランナータイプの％	11.0%	17.8%	14.4%	10.9%	8.1%	11.2%
	サブ5	度数	299	331	241	177	78	101
		ランナータイプの％	18.9%	21.0%	15.3%	11.2%	4.9%	6.4%
合計		度数	460	593	454	333	194	261
		ランナータイプの％	15.1%	19.5%	14.9%	10.9%	6.4%	8.6%

ランナータイプと競技場までの所要時間のクロス表

			3時間30分以内	4時間以内	4時間30分以内	5時間以内	5時間1分以上	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	4	10	5	11	17	155
		ランナータイプの％	2.6%	6.5%	3.2%	7.1%	11.0%	100.0%
	サブ4	度数	69	118	24	56	81	1308
		ランナータイプの％	5.3%	9.0%	1.8%	4.3%	6.2%	100.0%
	サブ5	度数	76	124	27	57	68	1579
		ランナータイプの％	4.8%	7.9%	1.7%	3.6%	4.3%	100.0%
合計		度数	149	252	56	124	166	3042
		ランナータイプの％	4.9%	8.3%	1.8%	4.1%	5.5%	100.0%

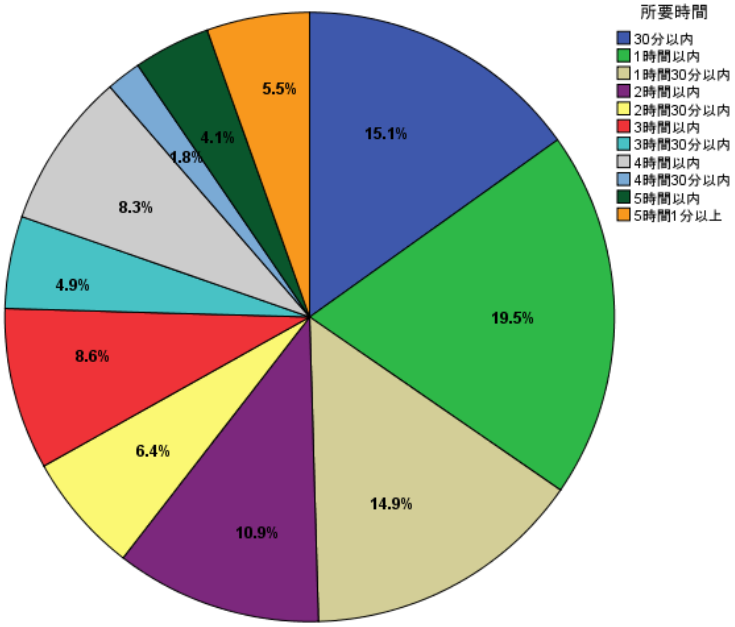


表 4-10)、図 4-10)は、自宅からの所要時間の分布である。およそ半数のランナーが 1 時間 30 分以内に会場に到着している一方、約 25%のランナーが 3 時間以上かけて会場まで赴いていることがわかった。

4-11)宿泊の有無

ランナータイプと宿泊の有無のクロス表

			宿泊しなかった（自宅から日帰りの参加）	1泊2日の宿泊	2泊3日の宿泊	3泊4日の宿泊	4泊5日以上の宿泊	合計
ランナータイプ	サブ3	度数	64	65	19	5	1	154
		ランナータイプの %	41.6%	42.2%	12.3%	3.2%	0.6%	100.0%
	サブ4	度数	572	485	217	30	10	1314
		ランナータイプの %	43.5%	36.9%	16.5%	2.3%	0.8%	100.0%
	サブ5	度数	566	327	185	18	13	1109
		ランナータイプの %	51.0%	29.5%	16.7%	1.6%	1.2%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	287	135	62	8	3	495
		ランナータイプの %	58.0%	27.3%	12.5%	1.6%	0.6%	100.0%
合計		度数	1489	1012	483	61	27	3072
		ランナータイプの %	48.5%	32.9%	15.7%	2.0%	0.9%	100.0%

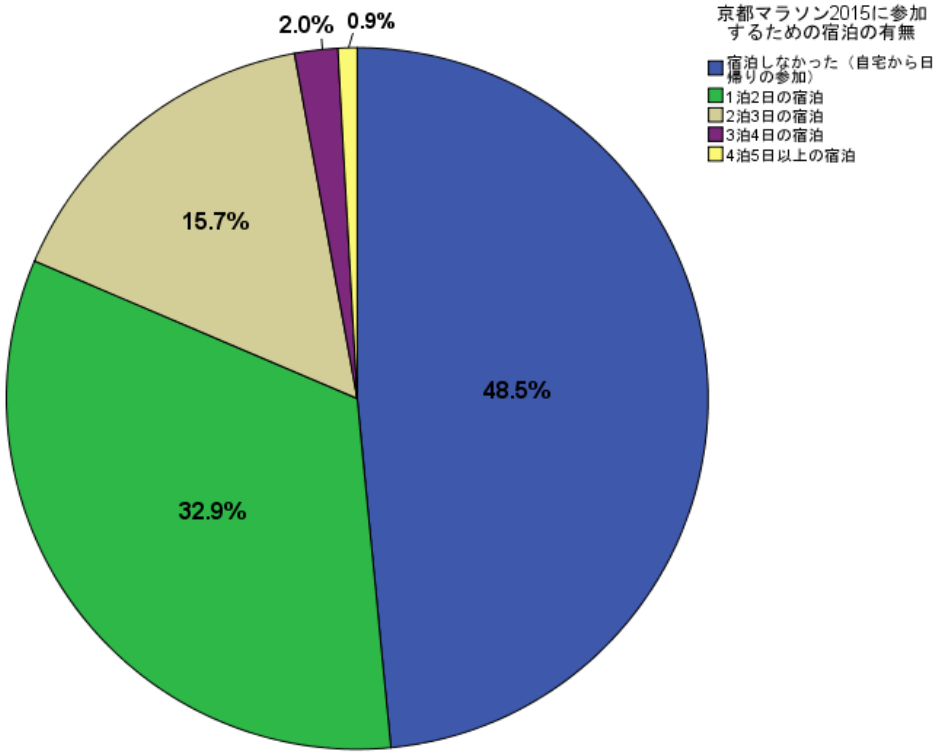


表 4-11)、図 4-11)は、京都マラソン参加に伴う宿泊の有無の分布を示している。約半数にあたる 48.5%のランナーが日帰りで参加している結果となった。また、20%弱のランナーは 2 泊以上の宿泊をしていることから、マラソン以外にも、観光などを楽しんでいると考えられる。

5. ランニング関連

5-1)ランニングへの取組

ランナータイプとランニングへの取り組みの平均値(1)

			私は自分の人生に幸せを感じている。	ランニングが好きであることを自ら進んで変えることはない。	ランニングに対する私の信念を変えることは難しい。	よほど考え直すようなことがない限り、ランニングが好きであることは変わらない。	私はランニングをする際の障害を乗り越えることができる。	私は、走ろうとする時に直面する困難に立ち向かう術を知っている人々をすごいと思う。	過去に、ランニングをする妨げになることを無くすことができた。	ランニングは、私がどんな人間なのか他人に気づかせる。
ランナータイプ	サブ3	平均値	3.7	4.0	3.7	4.1	3.5	3.6	3.0	3.2
	サブ4	平均値	3.6	3.8	3.2	3.9	3.2	3.4	2.7	2.8
	サブ5	平均値	3.5	3.6	2.9	3.6	3.0	3.4	2.5	2.6
	5時間以上・完走経験なし	平均値	3.5	3.4	2.7	3.4	2.9	3.5	2.5	2.6
	合計	平均値	3.6	3.7	3.0	3.7	3.1	3.4	2.6	2.7

ランナータイプとランニングへの取り組みの平均値(2)

			ランニングをしている姿を見せることで、私は多くのことを伝えることができる。	走っている時に、私は本当の自分になる。	多くの自分の時間がランニングに関わっている。	ランニングは私の生活の中心的な役割を担う。	私の生活の大部分はランニングが中心となっている。	私は気持ちが良いから走る。	私は楽しいので走る。	私は好きだから走る。
ランナータイプ	サブ3	平均値	3.0	3.4	3.5	3.7	3.3	4.0	4.0	4.1
	サブ4	平均値	2.8	3.1	3.0	3.2	2.8	4.0	4.0	4.1
	サブ5	平均値	2.6	2.9	2.6	2.8	2.4	3.9	3.9	3.9
	5時間以上・完走経験なし	平均値	2.5	2.8	2.3	2.5	2.0	3.7	3.7	3.6
	合計	平均値	2.7	3.0	2.8	3.0	2.6	3.9	3.9	3.9

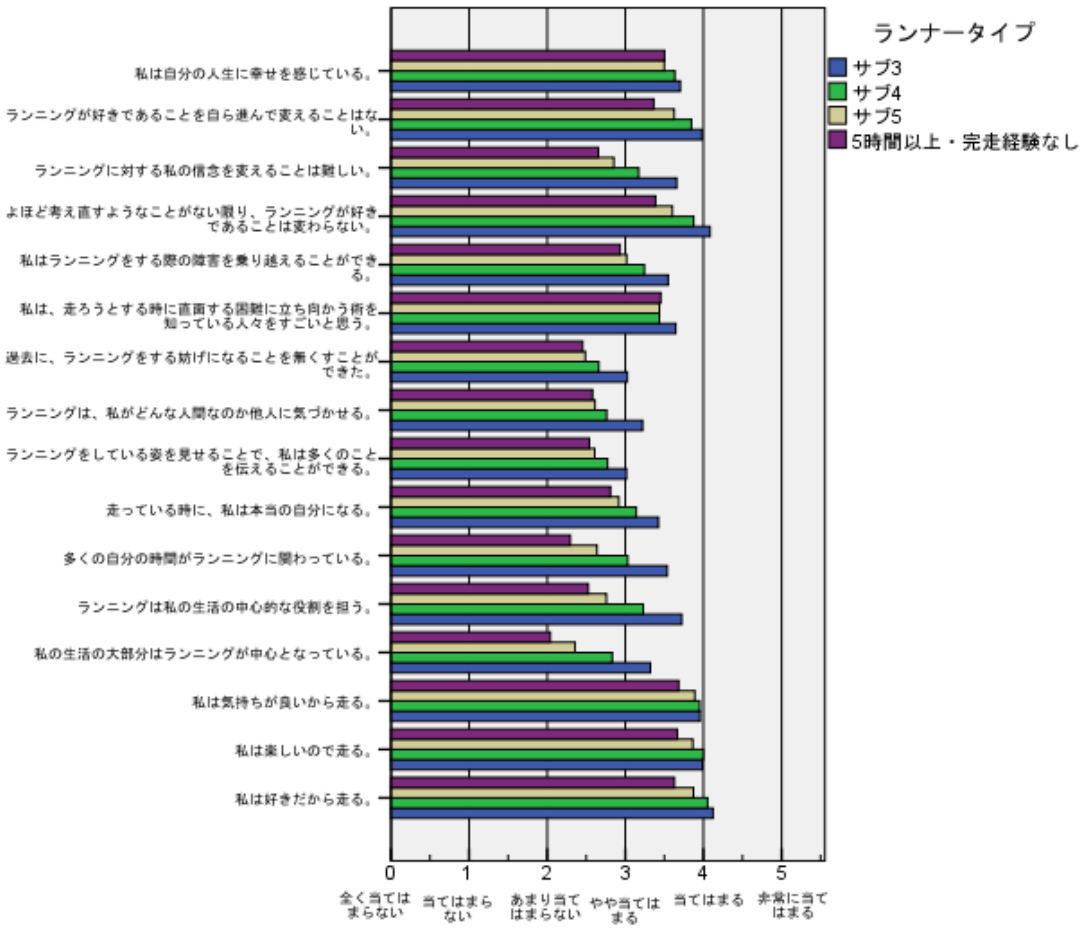


表 5-1)、図 5-1)は、ランナータイプとランニングへの取り組みの平均値をまとめたものである。全ての質問において、自己ベストタイムが早くなるにつれて、平均点が高くなる傾向がみられた。

5-2)人生満足度

ランナータイプと人生満足度の平均値

			私は自分の人生に幸せを感じている。	もう一度、人生をやり直せるとしても、ほとんど何も変えないだろう。	私はこれまで、自分の人生に求める大切なものを得てきた。	私は自分の人生に満足している。	私の人生は、とても素晴らしい状態だ。	ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い。
ランナータイプ	サブ3	平均値	3.3	2.1	3.0	3.0	2.8	2.4
	サブ4	平均値	3.2	2.2	2.9	3.0	2.8	2.4
	サブ5	平均値	3.2	2.1	2.9	2.9	2.8	2.4
	5時間以上・完走経験なし	平均値	3.2	2.2	2.9	2.9	2.8	2.3
	合計	平均値	3.2	2.2	2.9	2.9	2.8	2.4

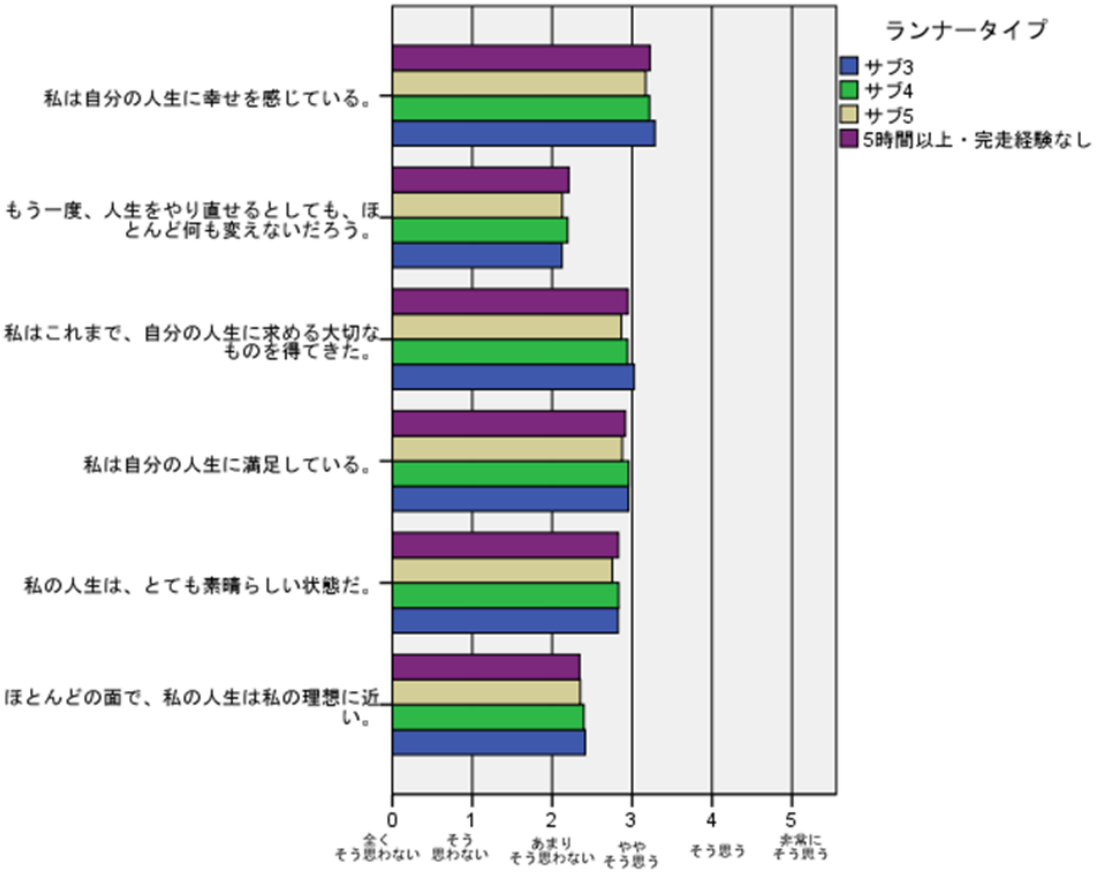
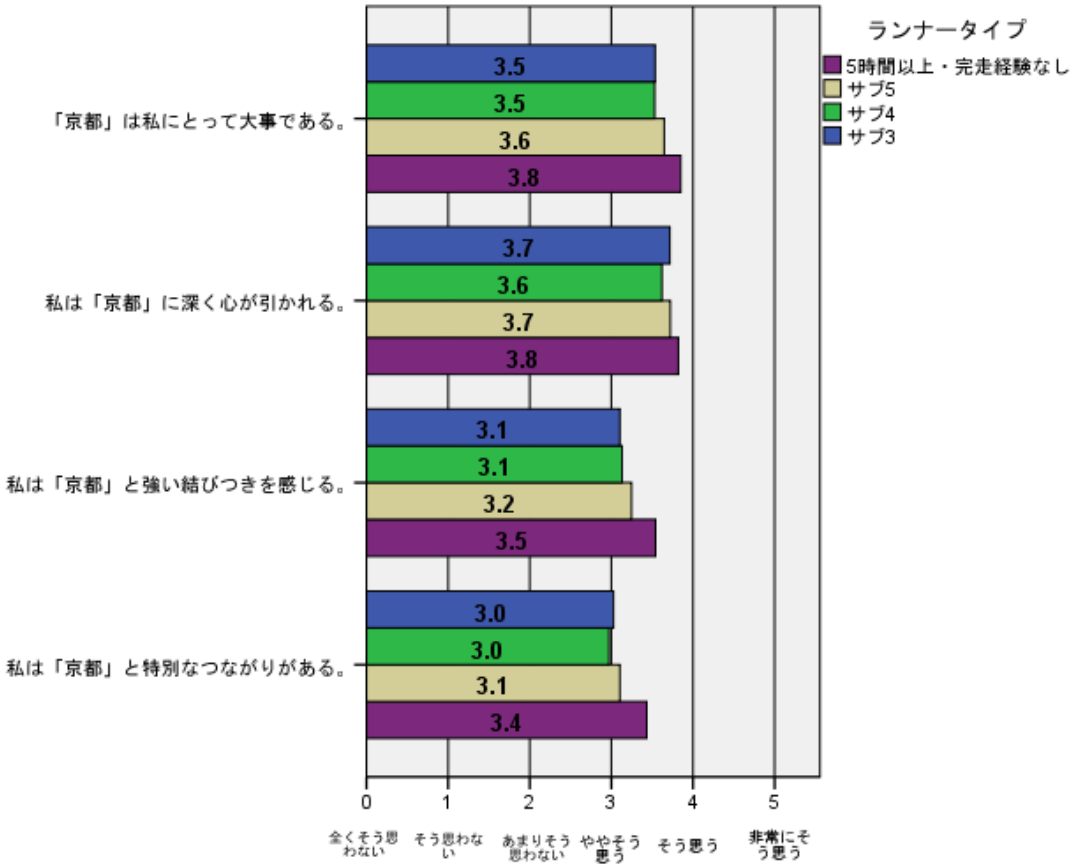


表 5-2)、図 5-2)、は、ランナータイプ別の人生満足度の平均をまとめたものである。「全くそう思わない」から「非常にそう思う」までの 6 段階で回答を求めた質問であった。ランナータイプ別に人生満足度の平均には大きな差はみられなかった。

6. 京都について

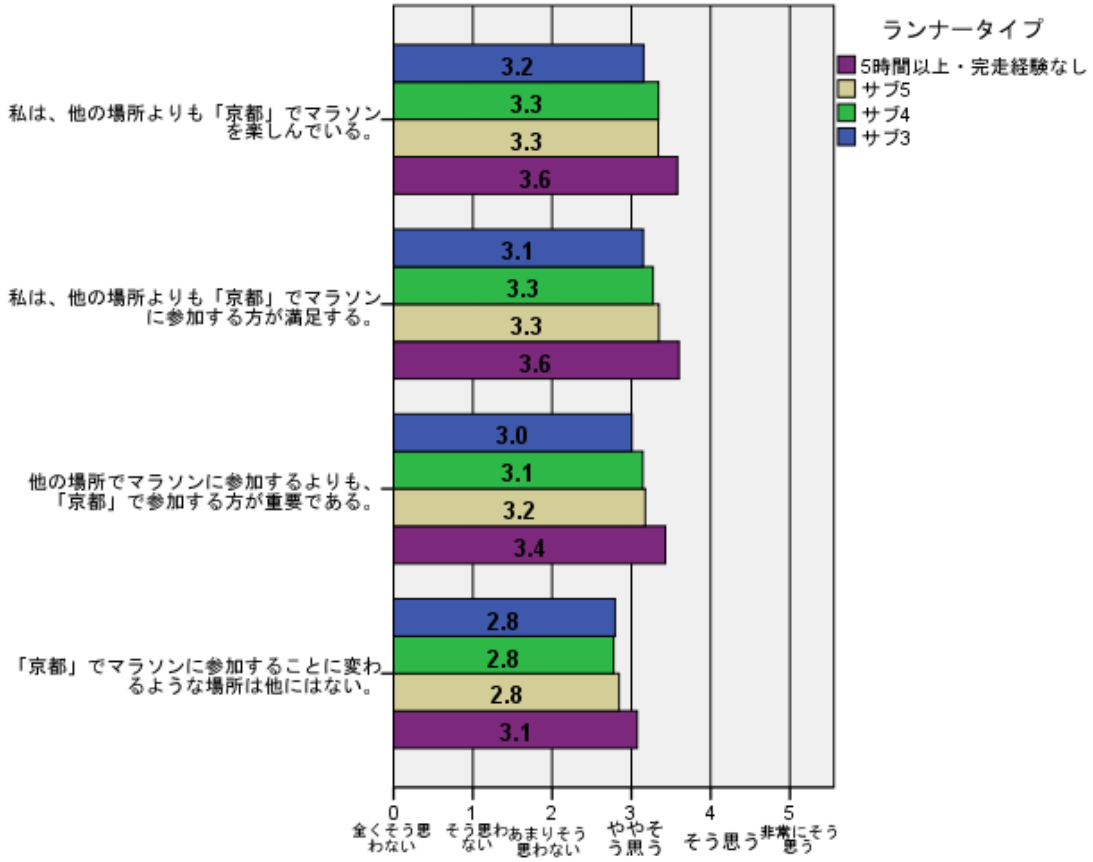
6-1)京都への愛着(1)



ランナータイプと京都への愛着の平均値(1)

			「京都」は私にとって大事である。	私は「京都」に深く心が引かれる。	私は「京都」と強い結びつきを感じる。	私は「京都」と特別なつながりがある。
ランナータイプ	サブ3	平均値	3.5	3.7	3.1	3.0
	サブ4	平均値	3.5	3.6	3.1	3.0
	サブ5	平均値	3.6	3.7	3.2	3.1
	5時間以上・完走経験なし	平均値	3.8	3.8	3.5	3.4
	合計	平均値	3.6	3.7	3.2	3.1

6-1)京都への愛着(2)

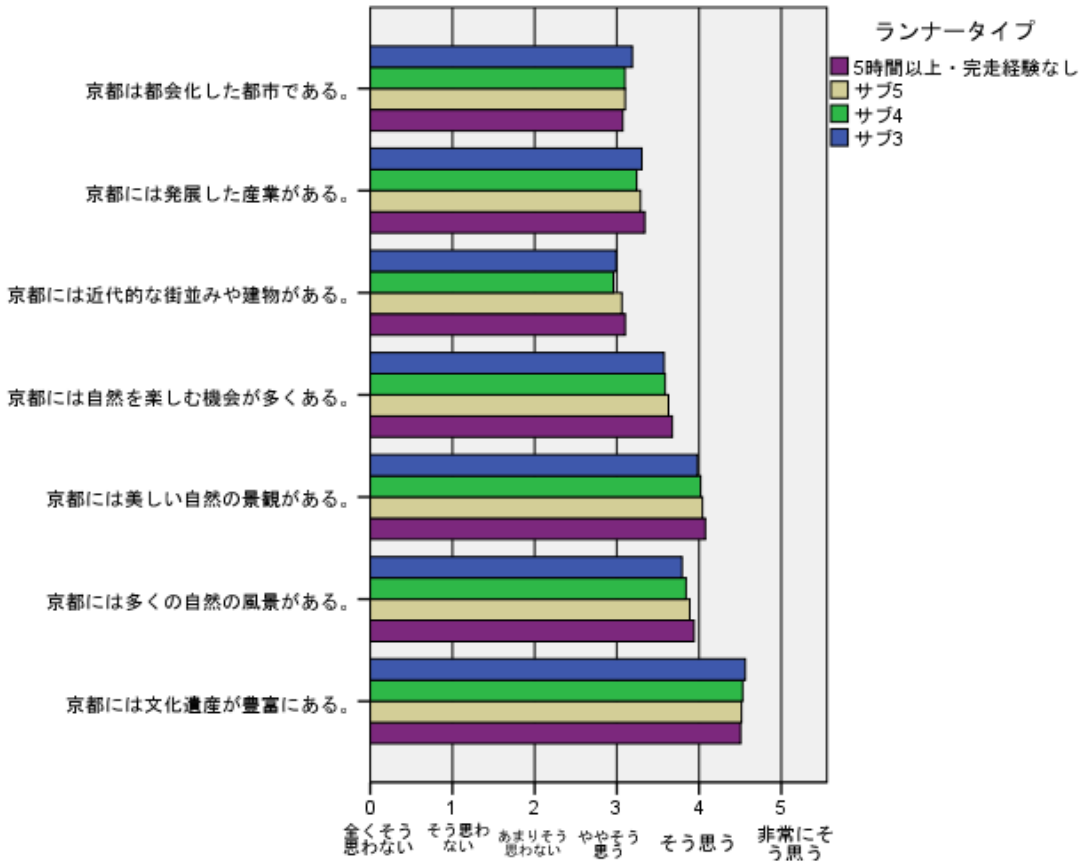


ランナータイプと京都への愛着の平均値(2)

			私は、他の場所よりも「京都」でマラソンを楽しんでいる。	私は、他の場所よりも「京都」でマラソンに参加する方が満足する。	他の場所でマラソンに参加するよりも、「京都」で参加する方が重要である。	「京都」でマラソンに参加することに変わるような場所は他にはない。
ランナータイプ	サブ3	平均値	3.2	3.1	3.0	2.8
	サブ4	平均値	3.3	3.3	3.1	2.8
	サブ5	平均値	3.3	3.3	3.2	2.8
	5時間以上・完走経験なし	平均値	3.6	3.6	3.4	3.1
	合計	平均値	3.4	3.3	3.2	2.8

表6-1)、図6-1)は、京都への愛着をランナータイプで分類した平均値である。どの項目もランナータイプが上がるほど低い数値となり、下がるほど高い数値となった。以上より京都マラソン2015に参加したランナーは、ランナータイプが下がるほど京都への愛着が強いということが分かった。

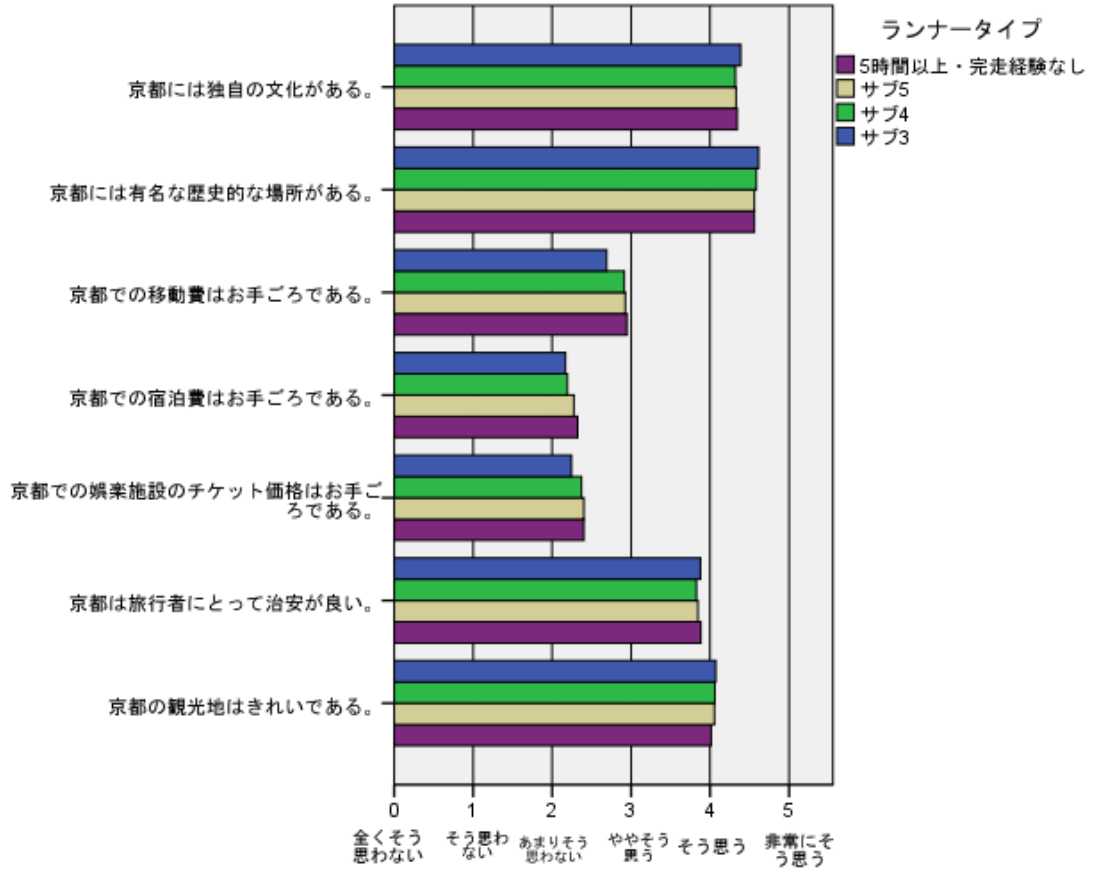
6-2)京都のイメージ(1)



ランナータイプと京都へのイメージの平均値(1)

			京都は都会化した都市である。	京都には発展した産業がある。	京都には近代的な街並みや建物がある。	京都には自然を楽しむ機会が多くある。	京都には美しい自然の景観がある。	京都には多くの自然の風景がある。	京都には文化遺産が豊富にある。
ランナータイプ	サブ3	平均値	3.2	3.3	3.0	3.6	4.0	3.8	4.6
	サブ4	平均値	3.1	3.2	3.0	3.6	4.0	3.8	4.5
	サブ5	平均値	3.1	3.3	3.1	3.6	4.0	3.9	4.5
	5時間以上・完走経験なし	平均値	3.1	3.3	3.1	3.7	4.1	3.9	4.5
	合計	平均値	3.1	3.3	3.0	3.6	4.0	3.9	4.5

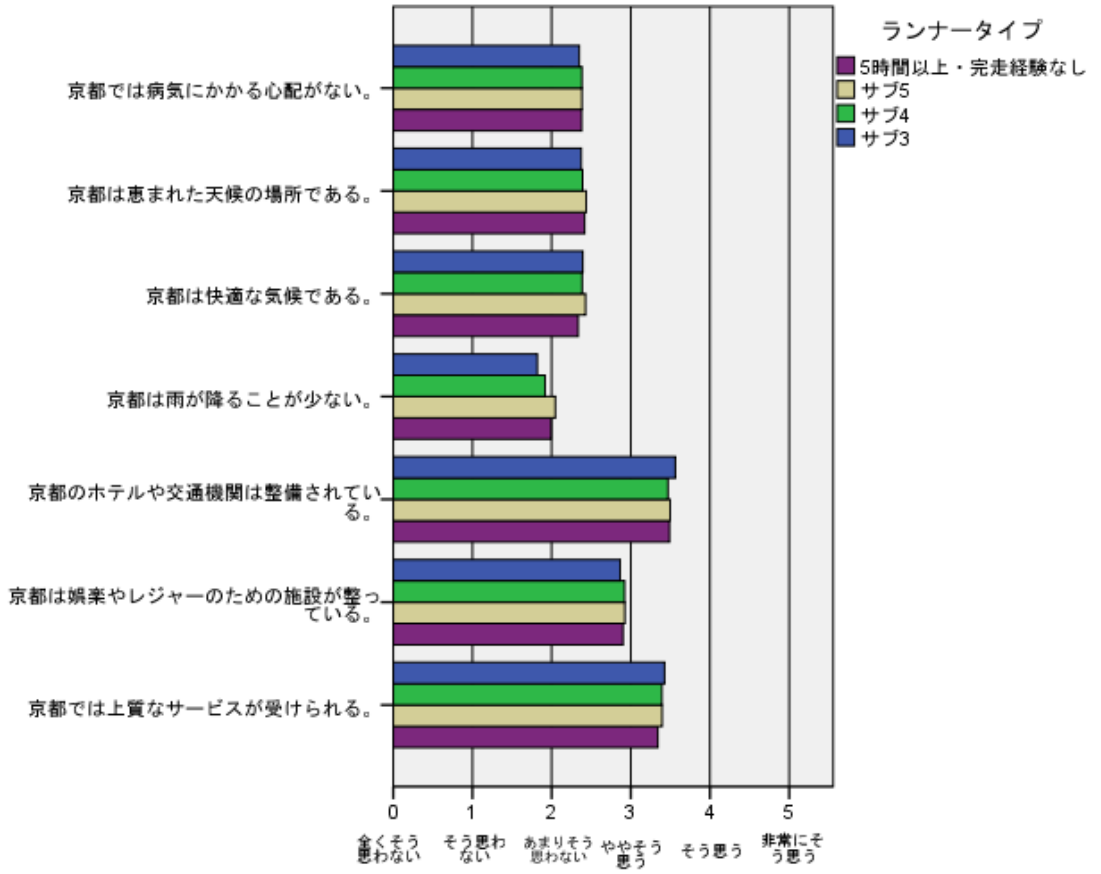
6-2)京都のイメージ(2)



ランナータイプと京都へのイメージの平均値(2)

			京都には独自の文化がある。	京都には有名な歴史的な場所がある。	京都での移動費はお手ごろである。	京都での宿泊費はお手ごろである。	京都での娯楽施設のチケット価格はお手ごろである。	京都は旅行者にとって治安が良い。	京都の観光地はきれいである。
ランナータイプ	サブ3	平均値	4.4	4.6	2.7	2.2	2.2	3.9	4.1
	サブ4	平均値	4.3	4.6	2.9	2.2	2.4	3.8	4.1
	サブ5	平均値	4.3	4.6	2.9	2.3	2.4	3.8	4.1
	5時間以上・完走経験なし	平均値	4.3	4.6	2.9	2.3	2.4	3.9	4.0
	合計	平均値	4.3	4.6	2.9	2.2	2.4	3.8	4.1

6-2)京都のイメージ(3)

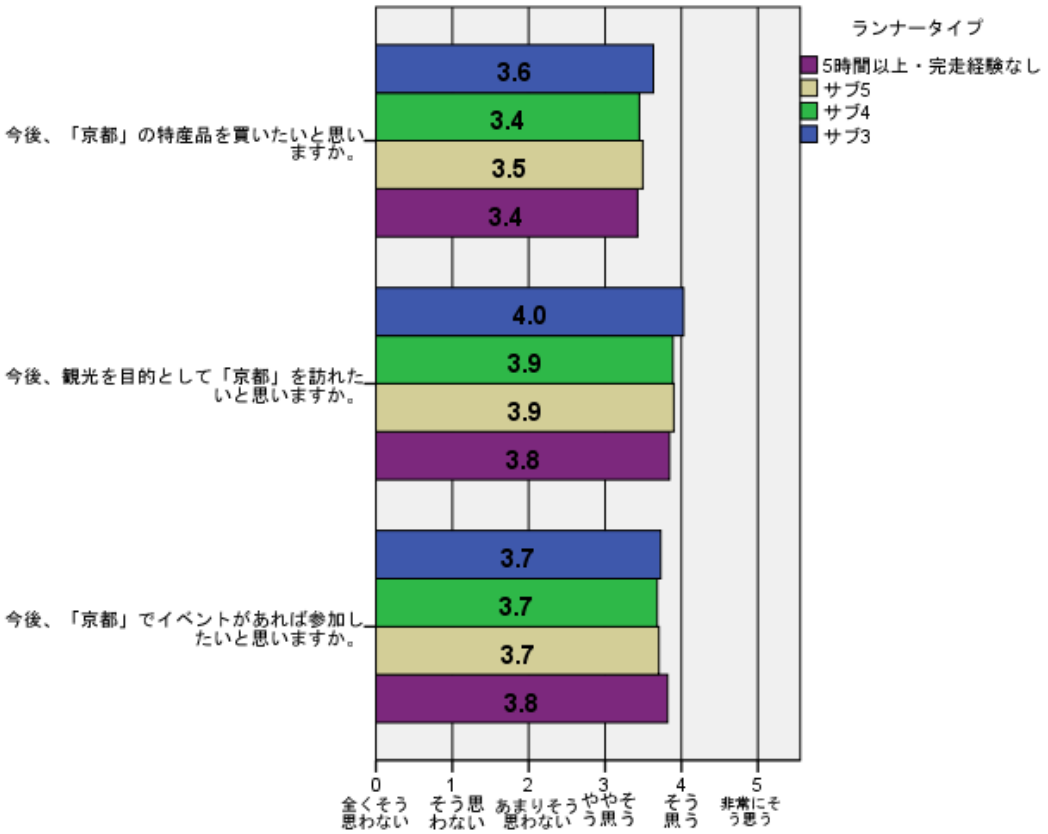


ランナータイプと京都へのイメージの平均値(3)

			京都では病気にかかる心配がない。	京都は恵まれた天候の場所である。	京都は快適な気候である。	京都は雨が降ることが少ない。	京都のホテルや交通機関は整備されている。	京都は娯楽やレジャーのための施設が整っている。	京都では上質なサービスが受けられる。
ランナータイプ	サブ3	平均値	2.3	2.4	2.4	1.8	3.6	2.9	3.4
	サブ4	平均値	2.4	2.4	2.4	1.9	3.5	2.9	3.4
	サブ5	平均値	2.4	2.4	2.4	2.0	3.5	2.9	3.4
	5時間以上・完走経験なし	平均値	2.4	2.4	2.3	2.0	3.5	2.9	3.3
	合計	平均値	2.4	2.4	2.4	2.0	3.5	2.9	3.4

表6-2)、図6-2)は、京都へのイメージをランナータイプで分類した平均値である。景観、文化遺産、歴史、独自の文化、観光地、ホテル・交通機関、サービスについての項目に対しては、どのランナータイプにおいてもイメージが強いということが分かった。しかし、移動費、宿泊費、娯楽施設のチケット価格、病気、天候、気候、雨についての項目において、イメージが弱いことが分かった。

6-3)京都への思い



ランナータイプと京都への思いの平均値

			今後、「京都」の特産品を買いたいと思いますか。	今後、観光を目的として「京都」を訪れたいと思いますか。	今後、「京都」でイベントがあれば参加したいと思いますか。
ランナータイプ	サブ3	平均値	3.6	4.0	3.7
	サブ4	平均値	3.4	3.9	3.7
	サブ5	平均値	3.5	3.9	3.7
	5時間以上・完走経験なし	平均値	3.4	3.8	3.8
	合計	平均値	3.5	3.9	3.7

表 6-3)、図 6-3)は、京都への思いをランナータイプで分類した平均値である。京都の特産品を買いたいと思いますかという項目については思いが強いという結果は得られなかったのに対し、観光目的で京都を訪れたいと思いますか、今後京都でイベントに参加したいと思いますかという項目においてはどのランナータイプにおいても強い思いを抱いているということが分かった。

6. 自由記述意見

回答者 3,087 人のうち、91.7%の 2,830 人から自由記述意見をいただいた。その中で、特徴的な意見を以下のとおり、20 のカテゴリーに分け列記する。また、より良い大会運営を目指し、次回大会に向けた対応策等についても併せて記載している。

（1）定員・エントリー

大会規模は適切で、参加人数が多すぎず、少なすぎず良いと思いました。
道路が狭いので現在の参加人数が精一杯ではないか。
多回数落選者に対する優先エントリー権を付与するなど、走りたくても走れなかった人への救済策を用意して頂ければ、より多くのランナーに支持されるのではないでしょうか。
エリート枠、準エリートの導入があるとうれしいです。
大会ボランティアに、貢献度に合わせたポイント制を設けて、大会エントリーへの優先権を授与してはいかがでしょうか。

【次回大会に向けて】

京都マラソンは、おもてなしの心と温かい声援を送ってくれる多くのボランティアに支えられております。こうしたボランティアに対するランナーからの感謝の声も多数寄せられており、第 5 回大会を記念して、参加申込み枠に新たに「ボランティア経験者枠」を新設した。

（2）大会ホームページ

ホームページも大変わかりやすくなってきて、更新も多くてすばらしく思います。
遠方から参加を希望（出場）するランナーにとって「大会の情報」はとても重要です。 どの大会と比べても見やすさ、使いやすさ、情報量が群を抜いていると思います。 とにかく更新がまめに行われており、細かな情報でも提供して頂けたので安心して当日を迎えることが出来ました。
ホームページで十分な情報を知ることができたので、不安なく大会に参加できました。

【次回大会に向けて】

2016 大会に向けたホームページでは、ランナー、ボランティア、応援の皆さまに必要な情報をお届けするのはもちろん、大会の機運を盛り上げるホームページ作りを目指してまいります。すでにアップしている「コース紹介動画」をはじめ、動画コンテンツを増やすなど、より臨場感のある情報をお届けしたいと考えています。なお、京都マラソンでは、Facebook や Twitter を通じての情報発信も行っております。ホームページには掲載し切れない情報もお届けしておりますので、是非、ファンやフォロワーになって、御活用ください。

（3）ランナー受付

できれば受付をなくして、事前にゼッケンを送付していただけるとありがたいです。
金曜日の受付時間をもっと延長してほしい。せめて関西圏の人が仕事を終わってからでも行ける時間まで延長してほしい。
当日受付や、ゼッケンの事前送付など検討をしてほしい。
今年は受付時間の延長を早めに発表されたので改善されているなと感じました。

【次回大会に向けて】

仕事帰りにお越しいただきやすくするため、金曜日の受付時間を、11：30～20：00 へと 1 時間後ろ倒しします。

ナンバーカードの事前送付については、安心・安全な大会運営のため、また代理出走を防ぐ観点から、本人確認書類を確認したうえでランナー本人にお渡しする必要があると考えております。

また、大会当日にスタート会場でランナー受付を行っている大会もありますが、定員 16,000 人の京都マラソンにおいては、西京極総合運動公園での受付は時間的、スペース的に困難であると考えております。

（4）オフィシャルグッズ

大会前日に受付に行ったら、記念 T シャツの販売が終了していたのが残念でした。
公式グッズの売り切れが多く、買いそびれてしまったのが、残念であった。 欲しいものがたくさんあった。
公式のグッズで T シャツを参加者だけに再販してほしい。
京都マラソン限定のグッズ、スポーツ関連グッズなどをもっと充実してほしい。

【次回大会に向けて】

希望するオフシャルグッズを購入していただけるよう、T シャツをはじめとするグッズの数量や種類の充実を図ってまいります。

（5）スタート会場

スタート会場の更衣室のオープン 7：00 開場を早めてほしい。早く着いたのにゲートで長い時間待たされた。
スタートの更衣室が分からなかった。駅から自然と流れるような形で更衣室に着く流れになれば良いと思います。
スタート会場のトイレの総数は多いが一つの場所にあるトイレの数は少ない。
体育館の男子更衣室はとてもよかったです。更衣室をはじめ、ランナー以外入場禁止の制限があるエリアが多かったおかげで、混雑が少なくスムーズに行動できました。
スタート会場に屋内更衣室を用意していただいたのは助かりました。

【次回大会に向けて】

会場到着後に屋外で待つ時間を短縮できるよう、屋内更衣室の開場時間を早めるよう検討してまいります。

また、簡易水洗型の仮設トイレや、洋式トイレの増設など、トイレの利用環境を改善するとともに、トイレの場所がより分かりやすくなるよう設置場所の変更などを検討してまいります。

（6）スタートセレモニー

スタートも最後尾からのスタートでした。スタートの様子やアナウンスはなんとなくしか聞こえなかったです。
サブトラックでの待機は音声しか聞こえなかったので、画面にメイン会場の様子も移して頂けると嬉しかったです。
スタートが補助競技場だったのでセレモニーで何をやっているのか全く見えなかった。
開始セレモニーが長く並んでから長く待つのを改善してほしい。
スタートセレモニーの出し物があまりよく見えなかったので、競技場のトラックの中の芝生などで やって欲しかった

【次回大会に向けて】

2016 大会では、メイン競技場に新たに設置される大型映像装置（予定）を活用し、スタートセレモニーをわかりやすくお伝えしていきたいと考えております。また、補助競技場につきましても、音響装置の増設などを検討してまいります。

（7）給水・給食

生八つ橋が最後の方のランナーにまであってとても嬉しかったです。
給食の後に必ず水のテーブルがあって、さすがでした。
給水所の水が大変おいしかった。
スポーツドリンクが全てのエイドにあれば、なお良かったです。 あと、給食の種類が増えると、もっと楽しみが増えると思います。
できればオレンジをひと口サイズにして皮も剥いて欲しかったです。
エイドでいただいた生八つ橋も京都らしくてよかったです。
給食に関して唯一の不満は、生八ツ橋の投入が 35km 付近と、遅かった事です。20km ぐらいで出してくれれば良いのに、と思いました。

【次回大会に向けて】

給食メニューの充実に努めるとともに、給食を提供させていただく場所の変更等を検討してまいります。

（8）トイレ

トイレの数はそれなりにあるので助かる。
トイレの案内が素晴らしい。トイレの数の表示があって利用するか否かの判断がしやすかった。さらに次のトイレまでの距離表示があって安心して走れました。他の大会では見たことがありません。
トイレは前半の大便用のトイレの数を増やしてほしいです。
沿道途中にあるトイレの数はもう少し増やして欲しいです。
トイレがコースから離れたところにあったので、近くにあればよかったと思った。

【次回大会に向けて】

都市型マラソン大会におけるトイレの利用環境の向上は、大変重要であると認識しており、トイレの台数確保等に努めてまいります。

特に、混雑が予想されるスタート直後のトイレを増設いたします。

また、トイレの利用環境の向上を図るため、簡易水洗型の仮設トイレの導入や、洋式トイレの増設を検討してまいります。

（9）時間制限関門・医療救護

関門時間が後半は時間的に余裕があり、余裕を持って完走する事が出来ました。
大規模都市型市民マラソンなのだから、東京マラソンや神戸マラソンのように、制限時間を 7 時間にすればいいと思います。
第 1 制限時間関門の制限時間に不安を感じたが､結果的に完走できてとても満足しています。
41km の関門はない方がいいと思う。
フィニッシュ後、突然足がつって会場で倒れたときに援護スタッフ（男性 2 名）がすぐに駆けつけて、両足の攣りを直していただき、更衣室まで運んでもらいました。その間も、優しい言葉をかけていただき、とても安心しました。
フィニッシュ直後、両足の痙攣で救護スタッフの皆様には大変お世話になり、感謝しております。看護師の皆様には最後まで献身的に介護頂き感謝､感謝で一杯です。
救命救急講習はとてもわかりやすく良かった。

【次回大会に向けて】

立体交差が少なく職住一体の都市である京都において、交通への影響を最小限に抑えながら大会を開催するため、制限時間を 6 時間にするとともに、スムーズは交通規制解除を実施するため、必要最低限の時間制限関門を設置させていただいております。

医療救護につきましては、引き続き救護体制の充実を図り、安心・安全な大会運営を目指すとともに、前回新たに実施した救急救命講習について、より多くの方に受講いただける手法を検討してまいります。

（１０）ニックネームゼッケン・仮装

ゼッケンに名前（ニックネーム）を入れられるのもいいですね。名前を呼んで応援していただけると、力になります。
ゼッケンに名前を入れるというのは、今回入れなかったのですが、他の人が入れているのを見て、いいアイディアだと思いました。
ゼッケンに名前が入れられるのは大変良い企画です。沿道の知らない方でも自分の名前で応援してくれました。しいて言うなら参加費に含む形で対応してもらえるといいです。
仮装禁止は別枠でもいいので、大会を盛り上げるためには必要ではないか。
なんで仮装がだめなのか理解できません。みんな似たような格好だから沿道の応援者も困っていました。
仮装好きランナーですが初めて京都マラソンを走り、何故、仮装が禁止なのかよく分かりました。禁止が妥当だと感じました。

【次回大会に向けて】

仮装したランナーが出場することにより、沿道の応援が盛り上がることは期待できますが、京都マラソンのコースは走路幅の狭い箇所もあり、16,000 人のランナーが安全に走行していただくことを優先し、仮装を禁止しております。ランナーにも応援者にも御好評いただいているニックネームゼッケンは、引き続き実施いたします。

（１１）コース変更

狐坂がなくなり、非常に寂しく思っておりましたが、新しいコースもまた別の良さがあり、大変楽しみながら走ることができました。
狐坂が無くなったことは良かったですが、U ターンが 5 ヶ所もあるのはスピードダウンになると思います。できれば街中の大通りを突っ切って走りたいものです。
コース設定がよく、景色を楽しみながら走れました。 つらい時にも変化に富んだ情景があり、気持ちを持ち直して走る事が出来たと思います。
コース変更は、市内中心部も走ることができ、脚に優しいコースになり、とても良かったと思います
前回までは、コースがきついとのうわさで参加をしませんでしたが、今回のコースは、見どころも走りやすさも満足のマラソンでした。
今回コース変更があり、街中を走ることができて良かったですが、もっともっと京都の街中を走るコースを設定してほしいです。神社仏閣もいいですが、綺麗な京都の町並みを走る設定をお願いしたいです
河原町、丸太町がコースに入ったのはよかったです。できればもっと街中にコース設定をしていただけるとうれしいです。たとえば女子駅伝コース。 折り返しが多いのが若干足腰に負担に感じました。

【次回大会に向けて】

立体交差が少なく、職住一体の都市である京都においては、交通への影響を抑制することが重要であると考えております。

引き続き、市民の皆さまの生活への影響を考慮しつつ、ランナーの皆さまにとっても更に魅力あるコースになるよう検討してまいります。

（１２）コース幅

コース設定も素晴らしかったのですが、北山通りのコースの狭さだけはいただけません、他のランナーの腕がぶつかることは当たり前で、追い抜くことも難しい。
第2回にも参加したのですが、そのときよりも改善されている箇所が多く、良い大会だと思う。コースが狭いこと、折り返しが多いことが難点でしょうか。
コース幅を広げるのは大変だと思いますが、もう少し余裕があるとありがたい… とにかく大変素晴らしい大会だったことは間違いないです。京都が大好きなので、今後も他県に、世界に誇れる町であって欲しいと思います
コースが狭くて走りにくかったところもあるけど、これこそ京都マラソンの良いところかも知れません。
コース幅に限界はあるのは理解できるのですが、あと少しだけ広げてください
一つ不満を言えば北山通の道幅が狭すぎて、前のランナーを追い抜くのにとても苦労しました。広く道幅を取ることは難しいかと思いますが、コースの設定をもう少し見直して頂けたらと思います。

【次回大会に向けて】

コース変更により、狐坂が廃止されたことに伴い、北山通のランナー密度が高くなり、ランナーの方から走りにくいとの御意見をいただいております。

2016 大会から北山通（下鴨中通以東（21.4 ㎞～25.1 ㎞の区間））の全車線走路化（2 車線ずつの折り返しコース）を実施いたします。

（１３）誘導案内看板

コースに観光名所の看板があって、気分転換が図れた。
看板だけでなく、「歩くランナーは右側」というアナウンスをもっとしてほしいです。
給食案内のイラストがすごく分かりやすく、この給水所で何を食べようか瞬時に判断できたので助かりました。
スタート前にトイレを探していた時、「トイレ空いています」というカードでトイレを誘導していたのが非常に役に立ちました。
コース途中のトイレを初めて利用しましたが、トイレ表示（個数や次回トイレまでの距離など）が分かりやすくて良かったです。

【次回大会に向けて】

案内誘導看板については、イラスト等を多用し、ランナーの方が一目でわかる表示に努めるとともに、誘導案内看板の多言語化など、海外から訪れるランナーの方への対応も充実してまいります。

（１４）フィニッシュ会場

フィニッシュ地点で荷物を受け取ってから更衣室への移動が少し長く感じました。走り終えて体力が低下して寒空の下を歩くのは少しこたえました。ストーブのあるテントはありがたかったです。
フィニッシュ後も、他大会では中々スムーズに着替えまで進まないと聞いていましたが、京都マラソンはとても素晴らしい段取りだと思いました。
平安神宮の大きい鳥居を最後にくぐってゴールできたら最高な気分になれそうです。
手荷物の受け渡しは屋内で出来ないものか？天気が良かったからよいものの、雨の場合は悲惨な事になる。
ゴール後の手荷物渡しの場所が更衣室から遠すぎる。完走して疲れ切っているのに、重たい手荷物を持って 100m 以上歩かせないでほしい。
手荷物については屋根の下にないのはいかがなものかと思います。せめてテントを立てるか、別の施設を使用するなど工夫が必要です。雨の際にはつらいと思います

【次回大会に向けて】

2016 大会の開催時には、「ロームシアター京都」（京都府内最大規模の客席数をもつ劇場）のオープンや、フィニッシュ地点である神宮道（冷泉通～二条通）と周辺の公園の再整備により、会場周辺の環境が大きく変わるため、手荷物返却場所や、ランナーサービスの動線などの見直しを検討してまいります。

（１５）おこしやす広場・おつかれさま広場

フィニッシュ後のお味噌汁、おつかれさま広場の屋台はとても良いサービスだった。味も良かった。
京都駅からのシャトルバスのチケットが枚数限定だったので焦っていたが購入できてよかった。遠方からのランナーには少し工夫が欲しい
おこしやす広場はランニング用品売り場に人が殺到するのだから、このブースのスペースを増やすべきだと思う。
舞妓さんとの撮影は良かった。他のマラソンではなく京都の個性がでている企画だと思います。
会場付近で家族や友人とくつろげる空間があれば良かったです。
無料のマッサージのサービスが制限時間に近い時間で走ったので、受けられることができず、ちょっと残念でした。

【次回大会に向けて】

京都マラソンには、遠方から参加される方も多いため、「京都らしさ」を味わっていただくとともに、マラソンに参加するワクワク感を醸成できるような会場作りを心掛けています。

2016 大会開催時には再整備されている岡崎地域全体やロームシアター京都の状況なども見極めながら、ランナーの皆さまにも、御家族・御友人の皆さまにも快適に過ごしていただけるよう、工夫してまいります。

（１６）メダル・完走証

完走メダルが立派で、一生懸命頑張った甲斐がありました。
完走メダルのデザインはかなり高く評価している。京都らしさ、「和」を感じるデザインとなっていて素晴らしい。
完走メダルのデザインを事前に発表して欲しくないです。
やはり記録証は当日頂ければ最高です。WEB の記録証はちょっと寂しいものがあります。
完走した記録は大変重要なものであるから、ダウンロードではなくて、文書(表彰状のような)で郵送して欲しい。
自然に優しいをうたうのはいいいが、せめて完走証はその場でもらいたい。

【次回大会に向けて】

2015 大会では、いち早くランナーの方のお手元に完走証が届くよう、WEB 完走証を導入いたしましたが、2016 大会から更に、WEB 完走証の発行に加えて、当日完走証（速報値を記載）を発行いたします。

（１７）宿泊

京都マラソン開催日前日はどの宿泊先もいっぱいで、手配が大変でした。 京都マラソンでエントリー同様抽選でもいいので、ある程度宿泊先も遠方からのランナー枠が確保されると嬉しいです。
宿泊施設が多いので助かります。
会場の周辺に安い宿泊できる場所が欲しい。
宿泊施設や街中の施設などマラソンに対して全体的に協力していてマラソンに集中できる環境を作っていただいたので初めての京都でしたが迷うことなく何事もできたのでよかったです。
市内のホテルも協力して、大会当日の朝食時間を早めたり、完走後に部屋でシャワーを使えるようにしてもらえたら助かります。

【次回大会に向けて】

大会ホームページでは、京都マラソン専用の宿泊案内をしております。ランナーのために朝食時間を早めたり、リーズナブルな料金設定をしていただいているホテルもございますので、御確認ください。

次回大会では、より手配していただきやすくするため、宿泊予約の受付時期を約２箇月早めてまいります。

（１８）沿道盛り上げ隊・沿道応援

コース際の応援は太鼓の演奏や仮装などあってたいへん充実していました。
和太鼓演奏や吹奏楽、チアガールなど大会を盛り上げて下さり、素晴らしい協力だったと思います。
京都市民の方々の声援や盛り上げ隊の応援など、非常にすばらしくいい大会でした。
沿道の応援が素晴らしく、感動しました。 応援に後押しされて、自己ベストを出す事が出来ました
沿道の応援が年々盛り上がっていて、他の大会に比べたら、距離が近く、ランナーとしてはとてもパワーをもらえる。
初マラソンで心配でした。 京都の沢山の方が応援してくれて、辛いことを忘れ楽しく走ることができました。本当に感謝しています
ボランティアやスタッフの対応がとても暖かいと感じました。 沿道の誘導や応援も活発で、今後も参加したいと思います。

【次回大会に向けて】

おかげさまで、京都マラソンでは、毎年「応援がすばらしかった！」と御好評をいただています。今回は、第 5 回記念として新設した「ボランティア経験者枠」により、ボランティア経験のあるランナーも増えることから、「走る人」「応援する人」「支える人」の相互交流が一層盛んになり、ますます大会も盛り上がると期待しています。

2016 大会も、京都ゆかりの著名人からなる「応援大使」、沿道の大学生などによる「沿道盛り上げ隊」により、皆さまの走る力の源となるよう、応援を盛り上げてまいります。

（１９）被災者枠ランナー

今回は被災地枠で走らせていただき、街中を楽しく走ることができました。 フルマラソンをいつまでやるかはわかりませんがまた機会がありましたら参加したいと思います。
震災被災者枠で参加できました。 沿道の応援もたくさんいただき京都のパワーを感じました。 楽しく走れて感謝しています。 世界遺産の特別公開等も見学でき 4 泊 5 日の冬の京都を満喫しました。 また参加できたらと思います。復興に向けて頑張りましょう。 ありがとうございました。

被災地枠ではじめて走りましたが、東日本大震災復興への取り組みに感銘を受けました。ボランティアの方々のご尽力、市長自らのイベントのご参加、そして、大会後のマッサージに感動しました。
東日本大震災枠で参加させていただきました。京都マラソンのみが震災枠があり感謝しています。走っていても、ゼッケンには 3.11 や忘れない等のメッセージも印刷しており震災を経験した私たちには温かく感じました。本当にありがとうございます。是非、次回も出来れば参加したいです。

【次回大会に向けて】

第 1 回大会からメインコンセプトの 1 つに掲げている「東日本大震災復興支援」の取組を更に推進し、現地の方々との交流、被災地の現状についての理解の深まりを目指して、京都マラソン 2016 大会出走者のうち、抽選で 5 名を次回の「仙台国際ハーフマラソン大会」に派遣する取組を新たに実施いたします。

（２０）大会運営全般

京都は世界中の人のあこがれの地。今回は外国の人の参加がすごく多かったと思います。制限時間ギリギリの私ですが、美しい景色を見ながら京都の街を走れたことは、とてもうれしかったです。沿道の皆さんの応援もあたたかく、途切れることなく続いていました。スタッフ他皆さんの「いい大会にしよう」という気持ちがすごく伝わりました。
全てにおいて素晴らしい、日本を代表するマラソン大会だと思います。コース・施設・景観・ボランティアスタッフ・仮装禁止ルール・運営など。 京都の街並みも素敵なため、何度でも参加したくなる大会である上に、沿道の応援が実にあたたかく、沢山の元気を貰える大会と感じています。
京都マラソンはこれまで参加した大会の中でも最高レベルの満足度でした。 大会規模が大きいにもかかわらず、ほとんど全てがスムーズで、考えられるストレスを感じることがありませんでした。 前回までに参加した人に聞いても、毎年どんどん良くなっている大会と評判で、スタッフやボランティアの方々の努力とご苦労の賜物なんだと思います。

【次回大会に向けて】

ランナーの皆さまからいただいた御意見を踏まえつつ、引き続き「走る人」、「応援する人」、「支える人」それぞれが主役となる大会として運営するとともに、より多くの方に御満足いただける大会を目指し，更に魅力ある大会へと進化するよう全力で取り組んでまいります。

京都マラソン 2015 マネジメント・リサーチ・チーム

同志社大学スポーツ健康科学部　教授　二宮浩彰

龍谷大学経営学部　教授　松永敬子

立命館大学スポーツ健康科学部　教授　長積　仁

データ分析チーム

同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ・マーケティング研究室

マラソン調査研究チーム

研究代表　二宮浩彰

＜大学院スポーツ・マーケティング・リサーチ特講受講生＞

：胡威　　辻和真　　前田元　　古川拓也

＜二宮研究室ゼミ学部生＞

：松本悠介　　魚谷卓生